

令和8度

# 仕 様 書

事業名： 特定都市河川浸水被害対策推進事業

工事場所： 竹原市 本町

工事名： 大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（4期工事）

工事概要： 調整地整備 1式  
掘削工 V=8,300m<sup>3</sup>  
水路工 N=1式  
付帯道路工 N=1式  
管推進工 L=9.3m

【添付書類】  
特記仕様書  
工事数量総括表  
図面 等

# 特記仕様書（個別事項）

## 第1章 総則

### 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、大王地区浸水対策事業大王調整地整備工事（4期工事）に適用する。
  - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
    - ・ **土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**
    - ・ **特記仕様書（共通事項）（令和7年10月）広島県**
- ※ 土木工事共通仕様書、特記仕様書（共通事項）は「広島県の調達情報」に掲載している。  
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
- ※ 主任技術者等の兼務制限の緩和について（別紙1）は、「竹原市の入札・契約」に掲載している。  
<https://www.city.takehara.lg.jp/soshikikarasagasu/zaiseika/gyomuannai/3/kensetsukonsaru/2/1619.html>

### 第2節 中間検査

本工事は、中間検査の対象工事とし、実施については特記仕様書（共通事項）第1章 総則 第2節 中間検査に従うこと。

### 第3節 情報共有システム

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については土木工事共通仕様書1-1-1-25 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

### 第4節 完全週休2日（土日）適用工事

本工事は、完全週休2日（土日）適用工事（受注者希望型）であり、「竹原市週休2日適用工事等実施要領（令和7年6月1日一部改正）」に従うこと。  
なお、工事着手までに「休日取得計画表」を記載した施工計画書を監督職員に提出するものとし、対象期間を明確にするため、工事着手日と工事完了日を計画表に明記するものとする。  
※竹原市週休2日適用工事等実施要領については、「竹原市の入札・契約」に掲載している。

[https://www.city.takehara.lg.jp/material/files/group/4/syukyu2katekiyokouzi\\_zissiyorvo.pdf](https://www.city.takehara.lg.jp/material/files/group/4/syukyu2katekiyokouzi_zissiyorvo.pdf)

※様式「休日取得計画表」は「広島県の調達情報HP>公共工事等の情報\_様式集>建設工事関係\_その他契約関係様式」に掲載している。

### 第5節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
  - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
  - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
  - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

### 第6節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コン

クリーン土塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

## 2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page\\_03060101credas1top.htm](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm)

## 3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

## 4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

## 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項  
ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。  
イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

## 6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

## 7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

## 8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

## 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
  - (4) 建設発生土の搬出量
  - (5) 建設発生土の搬出が完了した日
  - 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付  
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
  - 11 受領書の内容確認  
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
  - 12 受領書の保管  
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。
  - 13 建設発生土の最終搬出先までの確認  
受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。
- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
  - (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
  - (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
  - (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

## 第2章 材料

### 第1節 材料費

見積りにより決定した単価については、参考図書を参照のこと。その他資材については、公表単価による。

## 第3章 施工条件

### 第1節 工程

#### 1 関連する別途工事

工事名	大王地区浸水対策事業 大王調整地ゲート施設整備工事
他工事の内容	ゲート施設1式, 流入可動堰N=1門, 流出ゲートN=1門
時期	令和8年3月13日～令和8年12月31日
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事区域内において上記工事が進行中であるため、工程調整を円滑に行い、工事間調整による工程遅延がないよう努めること。</li> <li>・ポンプや流入可動堰等の機械設備工事に関連する工種については、当該施設工事の受注業者と工程調整を密に行い、機械設備の据付に遅延が生じないよう関連する工事を完了しておくこと。</li> <li>・その他、今後発注が見込まれる関連工事についても同様に、円滑な工程調整に努めること。</li> </ul>

#### 2 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	地下埋設物
調査時期	適宜（支障物件が発見された場合は、監督職員と協議すること。）
移設期間	適宜

### 第2節 安全対策

#### 1 交通安全施設

内容	夜間において現道の迂回等が必要な場合は、赤色灯等の保安施設を設置すること。
期間	市道の迂回が必要な期間。

### 第3節 盛土

#### 1 流用土 (工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、488m<sup>3</sup> (地山土量) については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

### 第4節 建設副産物

#### 1 建設発生土 (搬出) (建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地) (指定処分 (A))

当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地に搬出するものとする。

また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用 (単価) は変更しない。

搬出場所 有限会社エス・エス朝日山残土処理場 (竹原市下野町字朝日山)

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

#### 2 コンクリート殻 (搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻の処分先については、次の処分先条件を想定している。

(コンクリート殻 (無筋))

運搬距離 4.6 キロメートル

受入費用 1,500 円/t

なお、積算上の搬出先として、再資源化施設のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用 (単価) は変更しない。

### 第5節 薬液注入

#### 1 薬液注入 次の条件を見込んでいる。

工法区分 二重管スレーナ (複相式)

材料 溶液型

削孔数量 数量計算参照

#### 2 周辺環境調査

施工前・中1回・後の3回地下水の水質を調査すること。

### 第6節 その他

#### 1 支給・貸与品 次のとおり支給品を使用すること。

品名 仕様書確認のこと。

数量 仕様書確認のこと。

引渡場所 現場にて

現場内における支給品の積込、荷卸、運搬については受注者の負担で行うこと。

### 第4章 その他

- ・工事中において、周辺の環境対策のため適宜、散水等の粉塵対策を実施すること。
- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

参考資料

・本工事は、次の材料費、損料費により工事請負費を算定している。

名 称	規 格 ・ 摘 要	登録単価 コード	単位	単価
フラットパネル (パットウォール)	Dウォール (標準) 石積タイプ 500*500	F0201	枚	3,010
フラットパネル (パットウォール)	滑面タイプ 500*500	F02010	枚	1,910
フラットパネル 専用接続金物		F0202	m2	4,670
【支給品】フラットパネル (パットウォール)	【支給品】Dウォール (標準) 石積タイプ 500*500	F02011	枚	2,780
【支給品】フラットパネル 専用接続金物	【支給品】	F02021	m2	4,410
4Mテープリフトキャタピラー		F02030	日	8,000
補償料		F02031	日	300
納入・引取		F02032	回	8,000
笠コンフレーム	600×700×2000	F0301	本	67,200
笠コンフレーム	600×700×1200	F0302	本	67,200
笠コンフレーム	600×700×1850	F0303	本	89,100
笠コンフレーム	600×700×1700	F0304	本	84,000
笠コンフレーム	600×700×1382	F0305	本	73,300
笠コンフレーム	600×700×1632	F0306	本	81,700
笠コンフレーム	600×700×1661	F0307	本	82,800
笠コンフレーム	600×700×1310/1344	F0308	本	85,000
笠コンフレーム	600×700×1239/1273	F0309	本	69,200
笠コンフレーム	600×700×1371/1405	F0310	本	87,000
笠コンフレーム	600×700×1316/1350	F0311	本	85,200
GベースB,C種 T型GBT1	700x1500x2000	F0401	本	83,300
GベースB,C種 T型GBT1	700x1500x1000	F0402	本	83,300
GベースB,C種 T型GBT1	700x1500x1500 端部右	F0403	本	83,300
GベースB,C種 T型GBT1	700x1500x1500 端部左	F0404	本	83,300
GベースB,C種 T型GBT1	700x1500カット品	F0405	本	131,300
GベースB,C種 T型GBT1	700x1800x2000	F0406	本	92,000
GベースB,C種 T型GBT1	700x1800カット品	F0407	本	145,500
コア型ﾌﾞﾛｯｸ基礎(連結ﾀｲﾌﾟ)	φ500型 6連型	F0501	基	33,900
コア型ﾌﾞﾛｯｸ基礎(単独ﾀｲﾌﾟ)	φ500型 単独型	F0502	基	5,650
集水桝 1,2 (A), 3号	300*300*600 ボルト固定細目	F0601	基	84,900
集水桝 3号	300*300*800 ボルト固定細目	F0602	基	93,400
集水桝 4号	1000*1000*1135 ボルト固定細目	F0603	基	651,700
集水桝 5号 (A)	400*400*800 ボルト固定細目	F0604	基	138,700
集水桝 6号 (B)	400*400*1200 ボルト固定細目	F0605	基	161,200
自由勾配側溝 1号	300*300*2000	F0000000701	個	15,500
自由勾配側溝 1号	300*300*1000	F0000000702	個	11,600
自由勾配側溝 1号	300*300*500~1000	F0000000703	個	44,000
自由勾配側溝 1号	300*300*1000~1500	F0000000704	個	46,800
自由勾配側溝 1号	300*400*2000	F0000000705	個	19,300
自由勾配側溝 1号	300*400*1000	F0000000706	個	14,500
自由勾配側溝 1号	300*400*500~1000	F0000000707	個	52,100
自由勾配側溝 1号	300*400*1000~1500	F0000000708	個	55,600
自由勾配側溝 1号	300*600*2000	F0000000709	個	27,100
自由勾配側溝 1号	300*600*1000	F0000000710	個	20,400
自由勾配側溝 1号	300*600*500~1000	F0000000711	個	68,500
自由勾配側溝 1号	300*600*1000~1500	F0000000712	個	73,400

名 称	規 格 ・ 摘 要	登録単価 コード	単位	単価
自由勾配側溝 2号	300*300*2000	F0000000800	個	31,100
自由勾配側溝 2号	300*300*1000	F0000000802	個	16,800
自由勾配側溝 2号	300*300*1600	F0000000803	個	59,900
自由勾配側溝 2号	300*300*1300	F0000000804	個	53,100
自由勾配側溝 2号	300*300*1100	F0000000805	個	53,100
自由勾配側溝 2号	300*400*2000	F0000000806	個	31,100
自由勾配側溝 2号	300*400*1500	F0000000807	個	25,000
自由勾配側溝 2号	300*400*1000	F0000000808	個	18,700
自由勾配側溝 2号	300*400*1800	F0000000809	個	71,900
自由勾配側溝 2号	300*400*1700	F0000000810	個	71,900
自由勾配側溝 2号	300*400*1600	F0000000811	個	71,900
自由勾配側溝 2号	300*400*1300	F0000000812	個	63,500
自由勾配側溝 2号	300*400*1200	F0000000813	個	63,500
自由勾配側溝蓋 2号	L=2000 細目グレーチング	F0000000815	枚	48,400
自由勾配側溝蓋 2号	L=1500 細目グレーチング	F0000000816	枚	37,400
自由勾配側溝蓋 2号	L=1000 細目グレーチング	F0000000817	枚	25,500
自由勾配側溝蓋 2号	L=1800 細目グレーチング	F0000000818	枚	64,800
自由勾配側溝蓋 2号	L=1700 細目グレーチング	F0000000819	枚	64,800
自由勾配側溝蓋 2号	L=1600 細目グレーチング	F0000000820	枚	64,800
自由勾配側溝蓋 2号	L=1300 細目グレーチング	F0000000821	枚	53,800
自由勾配側溝蓋 2号	L=1200 細目グレーチング	F0000000822	枚	53,800
メッシュフェンス片開き門扉 材料費	H=1800 W=1000 UN (A型) 同等品	F0802	基	100,720
メッシュフェンス片開き門扉 材料費	H=1800 (50) W=1200	F0803	基	114,980
メッシュフェンス片開き引戸 材料費	H=1800 (50) W=6000	F0804	基	1,497,900
メッシュフェンス片開き引戸 組立費	H=1800 (50) W=6000	F08040	基	67,450
メッシュフェンス片開き引戸 材料費	H=1800 (50) W=3000	F0805	基	796,690
メッシュフェンス片開き引戸 組立費	H=1800 (50) W=3000	F08050	基	56,460
手摺 (2号階段)		F0810	組	218,860
組立費	手摺 (2号階段)	F0811	基	33,630
手摺 (1号階段)		F0812	組	218,860
組立費	手摺 (1号階段)	F0813	基	33,630
手摺 (傾斜路)		F0814	組	698,660
組立費	手摺 (傾斜路)	F0815	基	123,320
スパンシールグリーン	10*20	F4000	m	1,400
サンタックボンド	PB-50	F4001	缶	3,600
流入可動堰MH ボックスカルバート	1800*1500*680 T-25	F1101	個	520,900
流入可動堰MH ボックスカルバート	1800*1500*1800 T-25	F1102	個	702,500
流入可動堰MH ボックスカルバート	1800*1500*1640 T-25	F1103	個	649,800
流入可動堰MH 簡易床版	2100*1040*150 開口φ114	F1104	個	150,500
流入可動堰MH グレーチング蓋	1787*625*44	F1105	個	85,800
昇降手摺	スカイグリップ同等品	F1107	組	67,800
流入可動堰 ボックスカルバート	1000*1200*1309 T-25	F0000001108	個	346,400
流出ゲート ボックスカルバート	500*500*1463 T-25	F1300	個	194,000
流入固定堰 ボックスカルバート	1000*500*940 T-25反転90	F0000001201	個	257,600
流入固定堰 集水柵	500*500*1000 ボルト固定細目	F1202	個	191,300
流入固定堰 集水柵	500*1000*1000 ボルト固定細目	F1203	個	428,000
推進用鋼製さや管	呼び径550	F1700	m	78,167
スペーサー	φ400	F1703	個	10,000
止水器	φ550	F1719	個	213,000
汚泥再生資源化施設受入費		F1722	m3	20,000
家屋調査費 木造建物A (70-130m2)	外壁調査1面	F0010	棟	45,593

# 工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
築堤・護岸		式	1	レベル1
河川土工		式	1	レベル2
掘削工		式	1	レベル3
掘削	【土質, 施工方法, 押土の有無】 【障害無し, 5,000m3以上10,000m3未満】	m3	8,300	レベル4
床掘工		式	1	レベル3
床掘り	【土砂】	式	1	レベル4
埋戻し		式	1	レベル3
埋戻し	【土砂】	式	1	レベル4
盛土工		式	1	レベル3
路体(築堤)盛土	【施工幅員2.5m未満】	m3	140	レベル4
残土処理工		式	1	レベル3
土砂等運搬	【土砂】	m3	8,580	レベル4
残土等処分		式	1	レベル4
矢板護岸工		式	1	レベル2
笠コンクリート工		式	1	レベル3
プレキャスト笠コンクリート	【H600*W700】	m	180	レベル4
矢板工		式	1	レベル2

# 工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
壁面パネル		式	1	レベル3
壁面パネル設置工		m2	347	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
足場		式	1	レベル3
作業用足場		式	1	レベル4
水替工		式	1	レベル3
水替工		式	1	レベル4
擁壁護岸工		式	1	レベル2
場所打擁壁工(構造物単位)		式	1	レベル3
重力式擁壁		m3	34	レベル4
コマ型コンクリート基礎工		m2	48	レベル4
場所打擁壁工(1号管理用階段)		式	1	レベル3
コンクリート	【18-8-40BB】 【養生費, コンクリート夜間割増の有無】	m3	21	レベル4
型枠	【一般型枠】	式	1	レベル4
段鼻部		m	17	レベル4
特殊ブロック設置工		m2	0.6	レベル4
コマ型コンクリート基礎工		m2	69	レベル4
場所打擁壁工(2号管理用階段)		式	1	レベル3

# 工事数量総括表

頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
コンクリート	【18-8-40BB】 【養生費、コンクリート夜間割増の有無】	m3	23	レベル4
型枠	【一般型枠】	式	1	レベル4
段鼻部		m	15	レベル4
特殊ブロック設置工		m2	0.6	レベル4
コマ型コンクリート基礎工		m2	15	レベル4
場所打擁壁工(3号管理用階段)		式	1	レベル3
コンクリート	【18-8-40BB】 【一般養生】	m3	2	レベル4
型枠	【一般型枠】	式	1	レベル4
コンクリート	【18-8-40BB】 【一般養生】	m3	0.2	レベル4
型枠	【一般型枠】	式	1	レベル4
基礎碎石	【RC-40】	m2	3	レベル4
段鼻部		m	4	レベル4
特殊ブロック設置工		m2	0.8	レベル4
調整地底張工		式	1	レベル2
調整地底張工		式	1	レベル3
均しコンクリート		m3	235	レベル4
底張コンクリート		m3	469	レベル4
付帯道路工		式	1	レベル2

# 工事数量総括表

頁0 -0004

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
防護柵基礎工		式	1	レベル3
プレキャストガードレール基礎	【700H×1500B×2000L】 【700H×1800B×2000L】	m	192	レベル4
現場打ガードレール基礎	【SD295_D13/16】	m	28	レベル4
路側防護柵工		式	1	レベル3
ガードレール	【各種】	m	231	レベル4
手摺工		式	1	レベル3
手摺工		式	1	レベル4
転落防止柵工		式	1	レベル3
メッシュフェンス基礎工		基	101	レベル4
メッシュフェンス設置工		m	212	レベル4
メッシュフェンス門扉基礎工		箇所	4	レベル4
メッシュフェンス門扉設置工		基	2	レベル4
門扉工		式	1	レベル3
門扉基礎工		式	1	レベル4
門扉設置工		基	2	レベル4
アスファルト舗装工		式	1	レベル3
下層路盤(車道・路肩部)	【RC-40, t=100】	m2	840	レベル4
上層路盤(車道・路肩部)	【RM-30, t=120mm】	m2	840	レベル4

# 工事数量総括表

頁0 -0005

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
表層(車道・路肩部)	【AS, t=3cm】	m2	840	レベル4
コンクリート舗装工		式	1	レベル3
下層路盤(車道・路肩部)	【RC-40, t=150mm】	m2	93	レベル4
コンクリート舗装	【18-8-25(20)BB, t=150】	m2	14	レベル4
張りコンクリート		式	1	レベル3
張りコンクリート	【18-8-20】	m2	276	レベル4
側溝工		式	1	レベル3
L型側溝	【W=500, H=190】	m	15	レベル4
自由勾配側溝	【各種】	m	312	レベル4
側溝蓋	【各種】	枚	244	レベル4
暗渠排水管	【作業区分, 管種別, 管径】	m	9	レベル4
既設水路接続工	φ250, φ300	式	1	レベル4
既設水路閉塞工		式	1	レベル4
集水柵工		式	1	レベル3
プレキャスト集水柵	【各種】 【Co規格, 基礎Co規格】	箇所	21	レベル4
樋門・樋管		式	1	レベル1
水路工(調整池内)		式	1	レベル2
側溝工		式	1	レベル3

# 工事数量総括表

頁0 -0006

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
自由勾配側溝	【各種】	m	110	レベル4
集水柵工		式	1	レベル3
プレキャスト集水柵	【集水柵各種】 【Co規格, 基礎Co規格】	箇所	12	レベル4
水路工(流入可動堰)		式	1	レベル2
短形マンホール工		式	1	レベル3
コマ型コンクリート基礎工		m2	5.5	レベル4
短形マンホール設置		個	3	レベル4
簡易床版		個	1	レベル4
嵩上げコンクリート		m3	0.09	レベル4
底張コンクリート		m3	0.6	レベル4
裏込コンクリート		m3	0.9	レベル4
防護コンクリート		m3	2	レベル4
階段コンクリート		m3	1	レベル4
暗渠工		式	1	レベル3
プレキャストボックス	【W1000*H1200】	m	4	レベル4
昇降用設備設置		式	1	レベル3
昇降用設備設置		式	1	レベル4
構造物取壊し工		式	1	レベル3

# 工事数量総括表

頁0 -0007

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
鋼材切断	【鋼矢板】	箇所	1	レベル4
水路工（流入固定堰）		式	1	レベル2
場所打擁壁工（構造物単位）		式	1	レベル3
重力式擁壁		m3	5	レベル4
側溝工		式	1	レベル3
自由勾配側溝	【500*1000*1000】	m	1	レベル4
側溝蓋	【500用 L=500】	枚	1	レベル4
集水樹工		式	1	レベル3
現場打ち集水樹（流入固定堰）	【18-8-40BB（固定堰本体）】 【Co規格, 基礎Co規格】	箇所	1	レベル4
蓋	【床用グレーチング 1B H44* t 5/3】	枚	1	レベル4
プレキャスト集水樹	【500*500/500*1000】 【Co規格, 基礎Co規格】	箇所	2	レベル4
暗渠工		式	1	レベル3
プレキャストボックス	【W1000*H500】	m	2	レベル4
水路工（流出ゲート）		式	1	レベル2
短形マンホール工		式	1	レベル3
コマ型コンクリート基礎工		m2	5.5	レベル4
短形マンホール設置		式	1	レベル4
簡易床版		個	1	レベル4

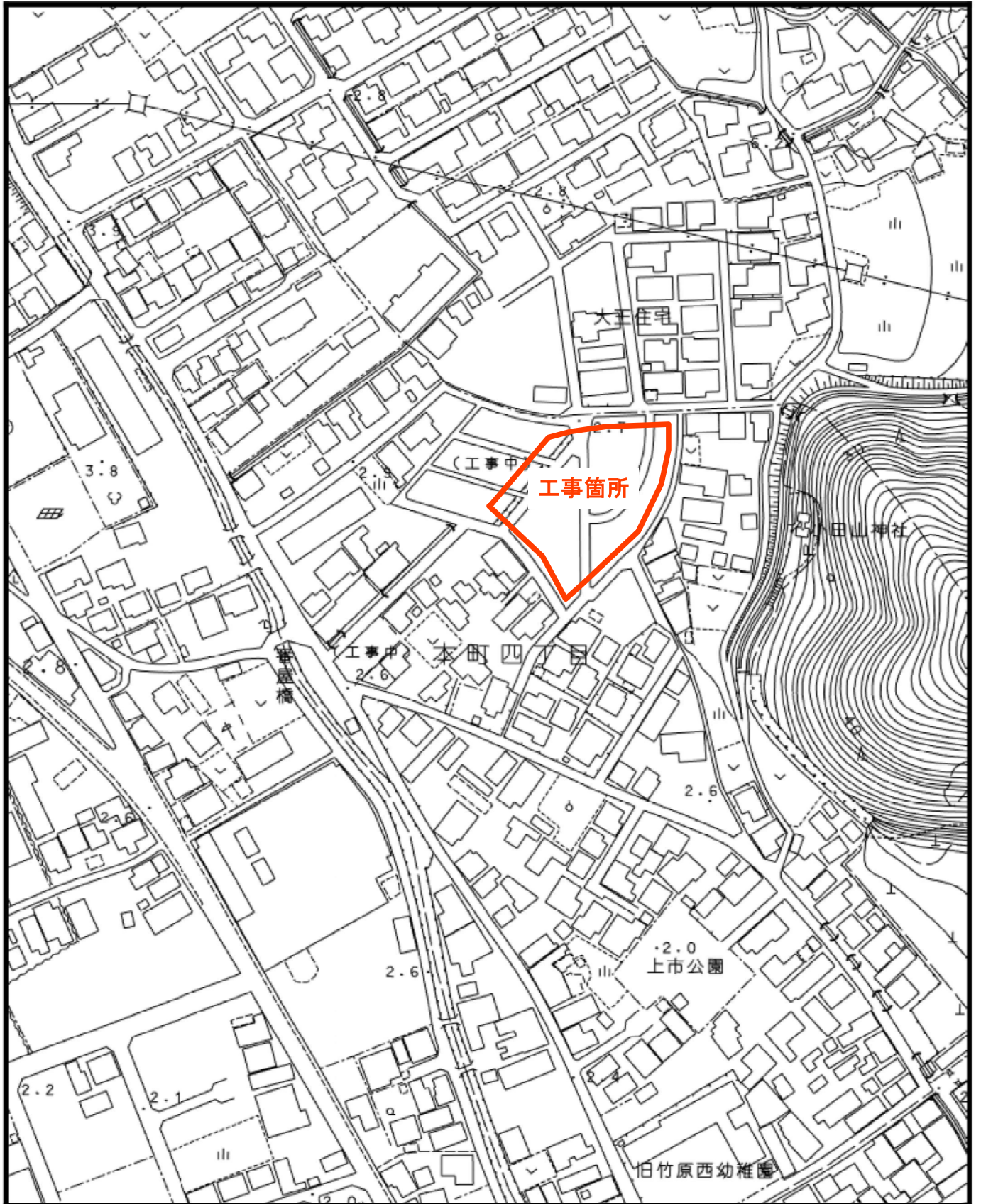
# 工事数量総括表

頁0 -0008

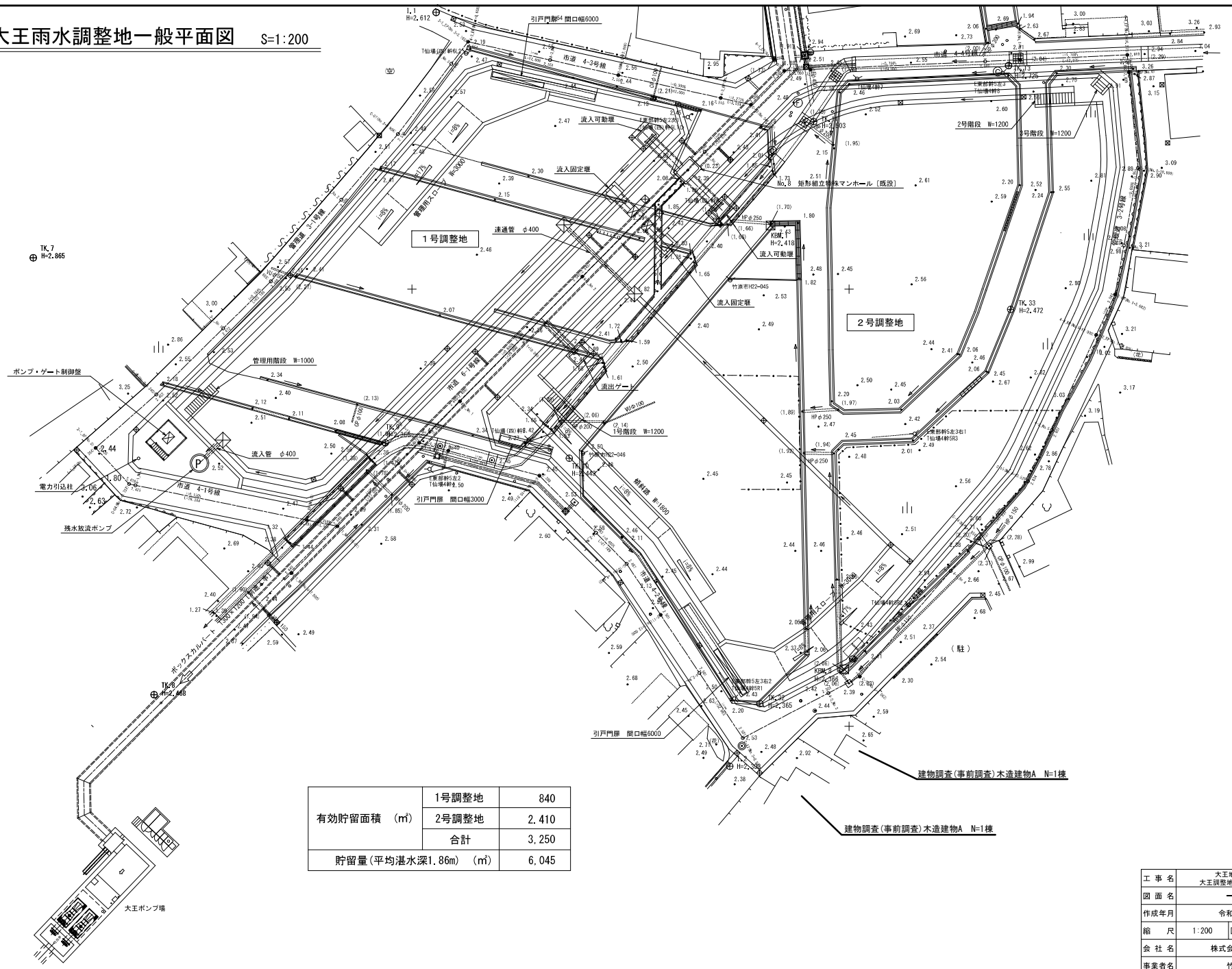
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
嵩上げコンクリート		m3	0.09	レベル4
底張コンクリート		m3	0.6	レベル4
裏込コンクリート		m3	0.9	レベル4
防護コンクリート		m3	3	レベル4
階段コンクリート		m3	1	レベル4
暗渠工		式	1	レベル3
プレキャストボックス	【W500*H500】	m	4	レベル4
構造物取壊し工		式	1	レベル3
鋼材切断	【鋼矢板】	箇所	1	レベル4
連通管		式	1	レベル2
補助地盤改良工		式	1	レベル3
薬液注入		式	1	レベル4
鋼製さや管ボーリング（一重ケーシング）推		式	1	レベル3
管推進工		式	1	レベル4
仮設備工		式	1	レベル4
発進部土工		式	1	レベル4
基礎工		式	1	レベル4
基礎撤去工		式	1	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
**直接工事費**				
事業損失防止施設費				
事業損失防止施設費		式	1	レベル2
事業損失防止施設費		式	1	レベル3
家屋調査費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
**共通仮設費計**				
**純工事費**				
現場管理費				
**工事原価**				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				
**工事価格**				
**消費税相当額**				
**工事費計**				
**契約保証費計**				



# 大王雨水調整地一般平面図 S=1:200



有効貯留面積 (m <sup>2</sup> )	1号調整地	840
	2号調整地	2,410
	合計	3,250
貯留量(平均湛水深1.86m) (m <sup>3</sup> )		6,045

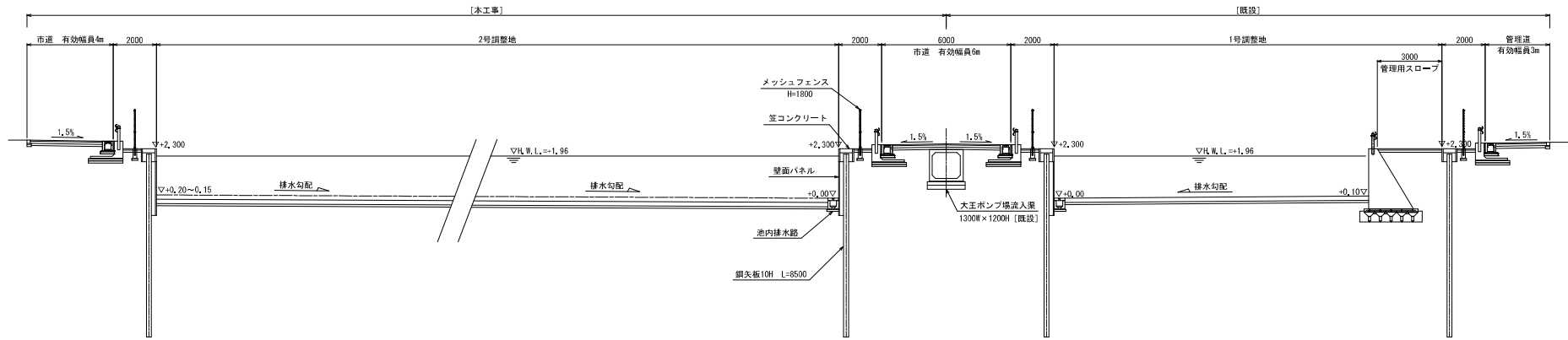
建物調査(事前調査)木造建物A N=1棟

建物調査(事前調査)木造建物A N=1棟

工事名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事(3期工事)		
図面名	一般平面図		
作成年月	令和6年9月		
縮尺	1:200	図面番号	1 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

【図面縮尺は表示の50%とする】

調整地標準断面図 S=1:100

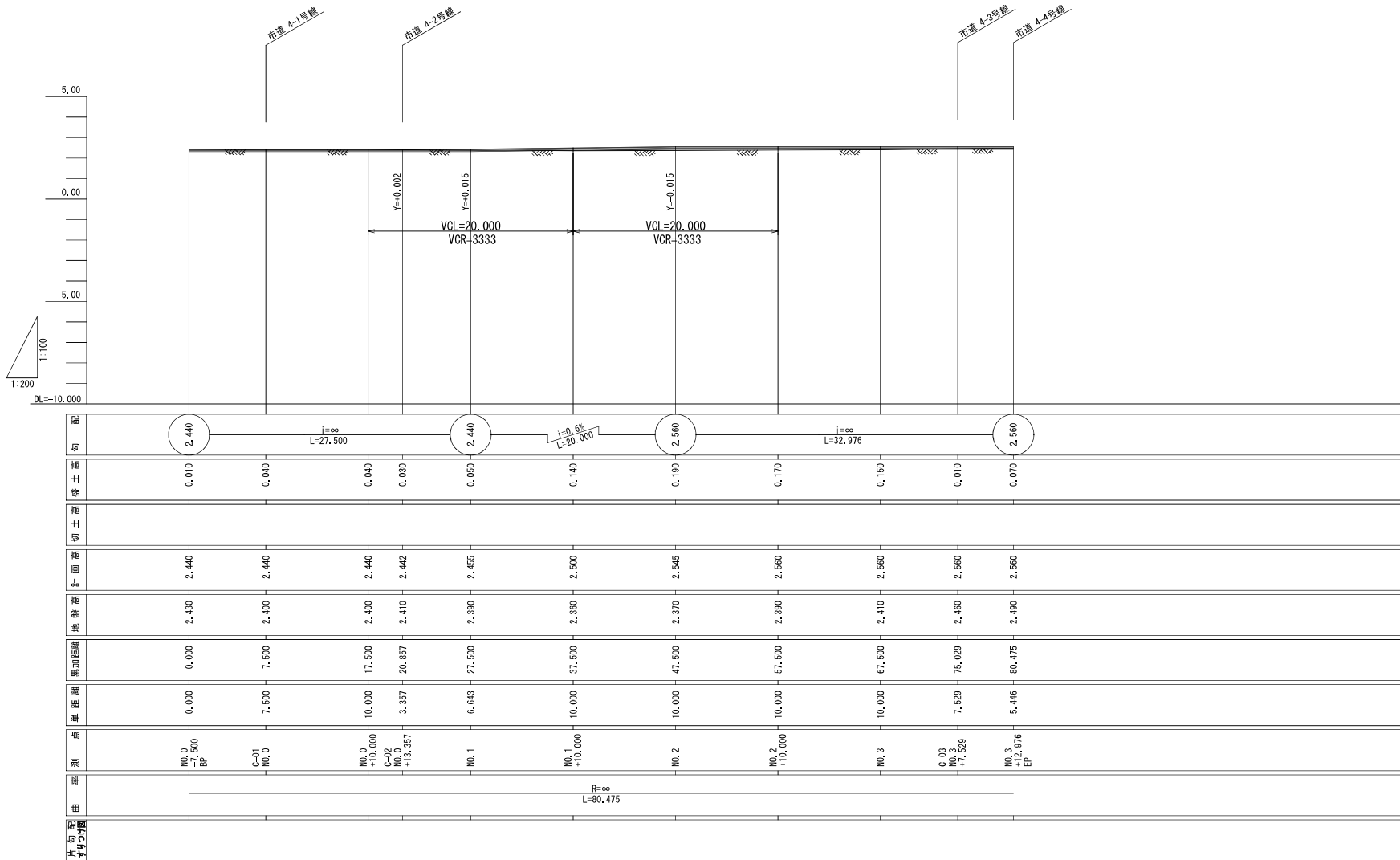


工事名	大王地区治水対策事業 大王調整地整備工事 (3期工事)		
図面名	調整地標準断面図		
作成年月	令和 6 年 9 月		
縮尺	1:100	図面番号	2 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

# 道路縦断図(1)

V=1:100  
H=1:200

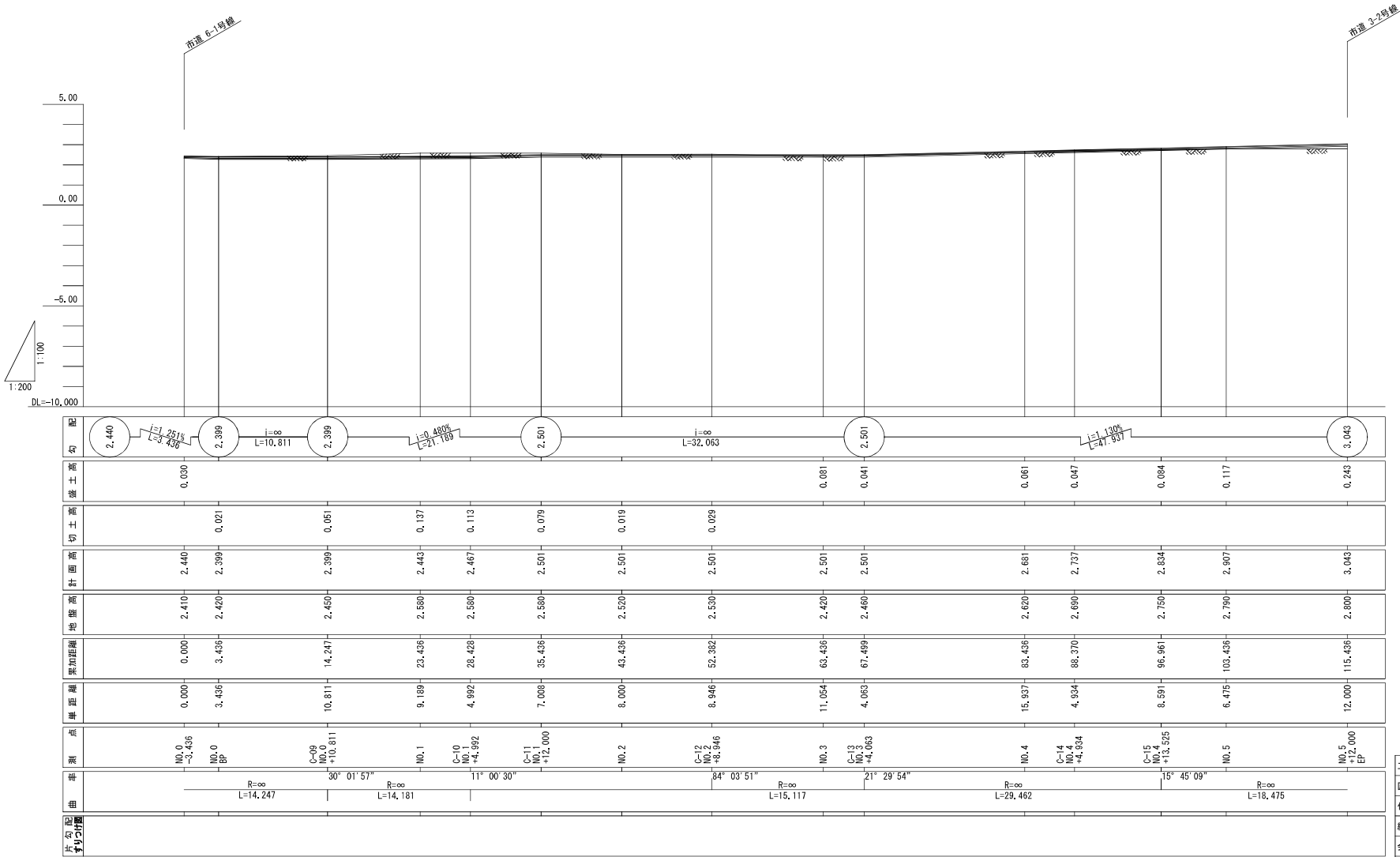
## [市道 6-1号線]



工事名	大王地区浸水対策事業 大王調整地盤工事(3期工事)		
図面名	道路縦断図(1)		
作成年月	令和6年9月		
縮尺	図示	図面番号	3 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

道路縦断面図(2) V=1:100  
H=1:200

[市道 4-2号線]

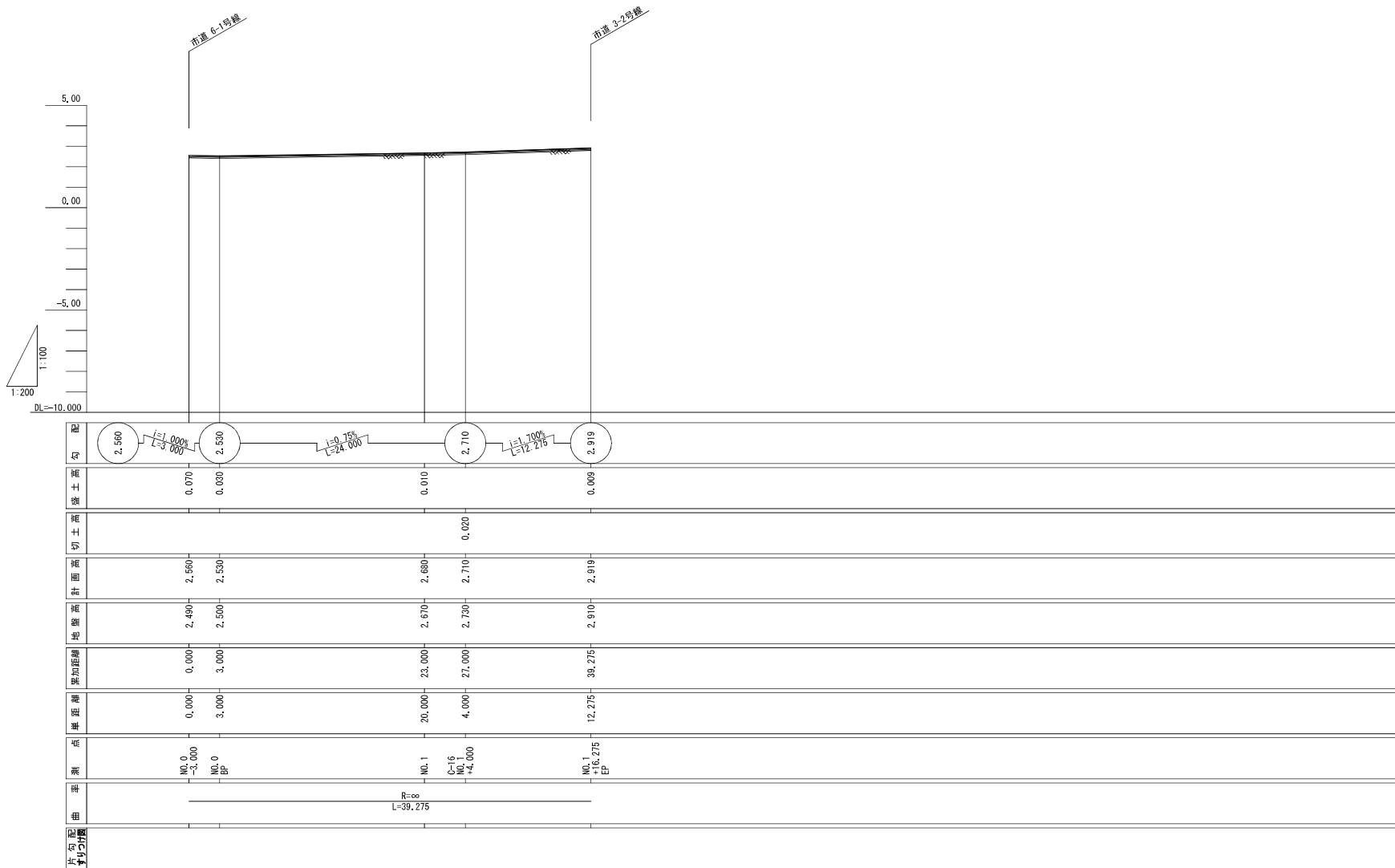


工事名	大正地区浸水対策事業 大正調整地盤工事(3期工事)		
図面名	道路縦断面図(2)		
作成年月	令和6年9月		
縮尺	図示	図面番号	4 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

# 道路縦断図(3)

V=1:100  
H=1:200

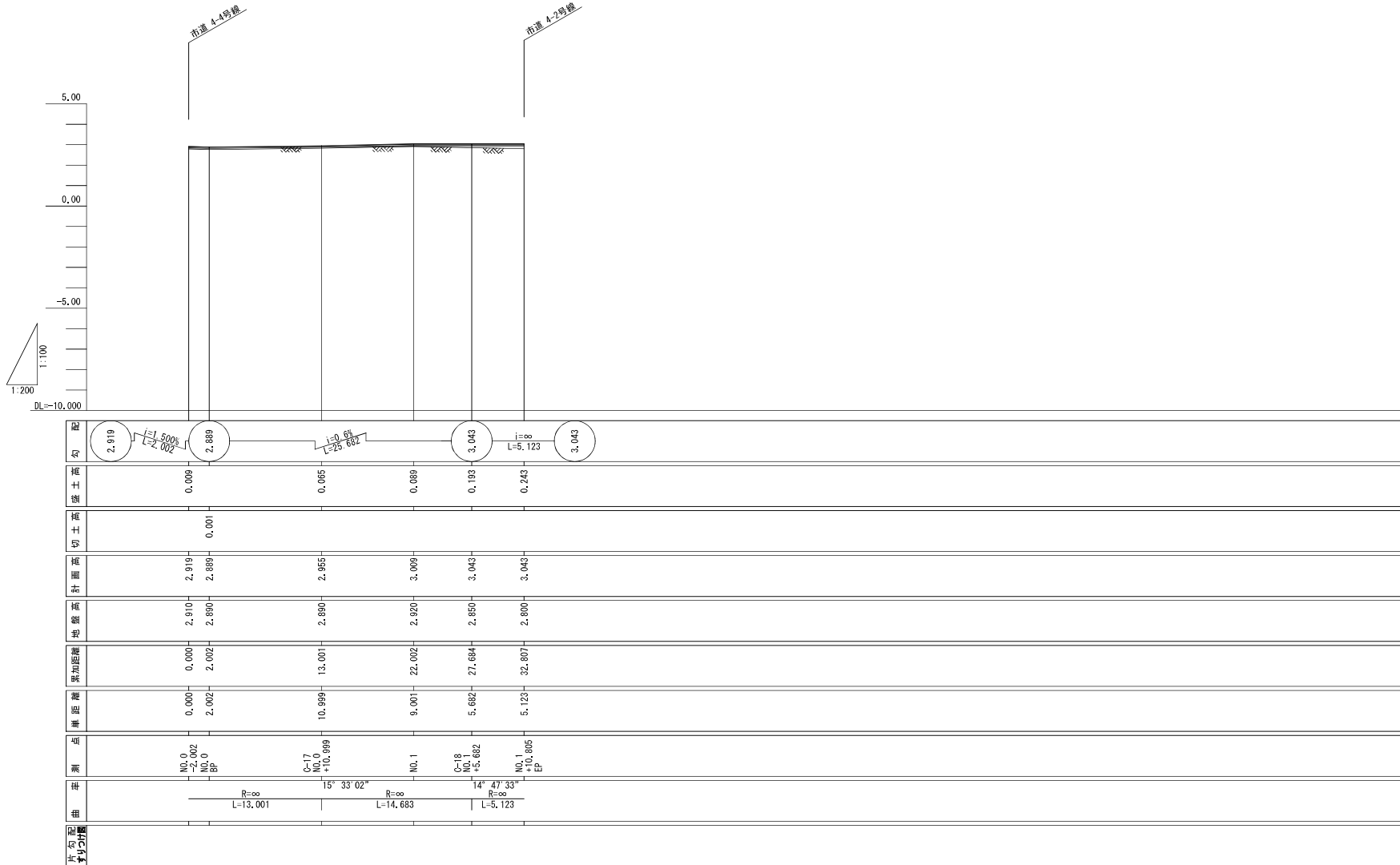
[市道 4-4号線]



工 事 名	大王地区治水対策事業 大王調整地盤工事業(3期工事)		
図 面 名	道路縦断図(3)		
作成年月	令和6年9月		
縮 尺	図示	図面番号	5 / 45
会 社 名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹 原 市		

# 道路縦断図(4) V=1:100 H=1:200

[管理道 3-2号線]



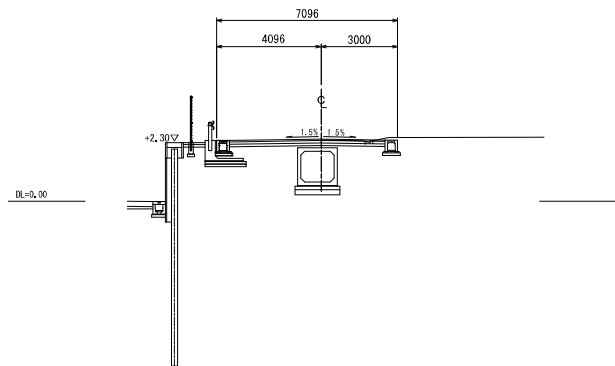
工事名	大玉地区浸水対策事業 大玉調整地整備工事(3期工事)
図面名	道路縦断図(4)
作成年月	令和6年9月
縮尺	図示 図面番号 6 / 45
会社名	株式会社イミプラン
事業者名	竹原市

# 道路横断図(1) S=1:100

[市道 6-1号線]

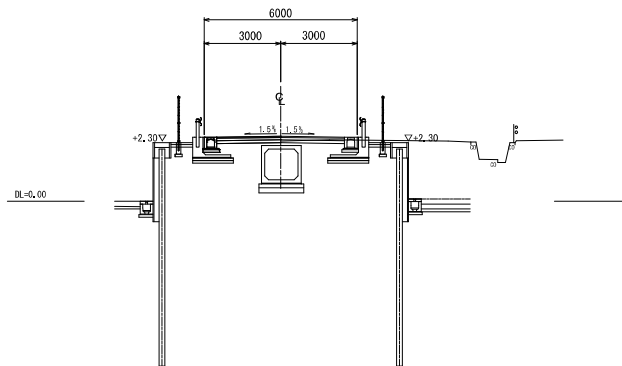
C-01\_ (No. 0)

GH=2.40  
FH=2.440



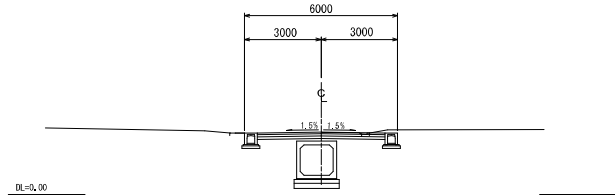
6-1\_ (No. 2)

GH=2.37  
FH=2.560



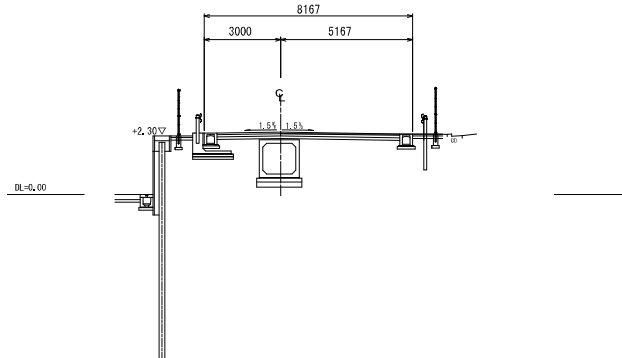
6-1\_BP (No. 0-7.500)

GH=2.43  
FH=2.440



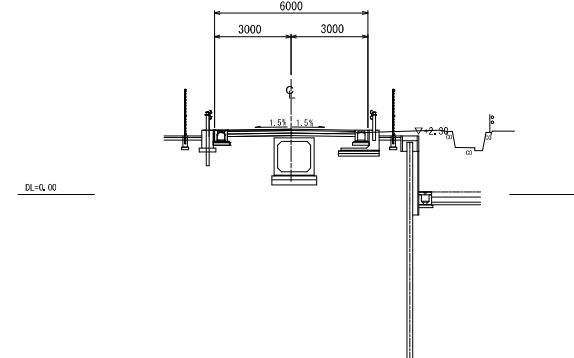
6-1\_ (No. 1)

GH=2.39  
FH=2.440



6-1\_ (No. 3)

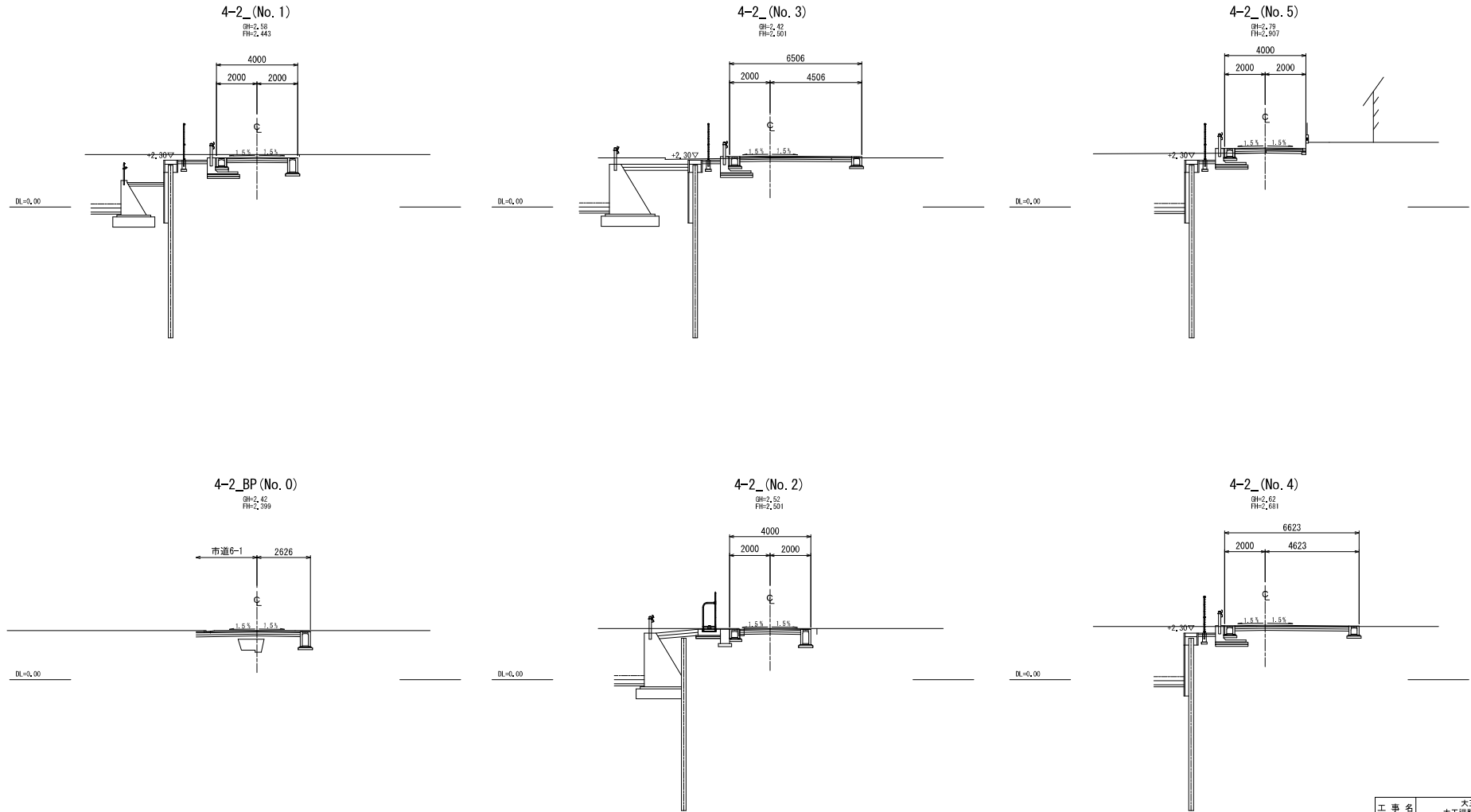
GH=2.41  
FH=2.560



工事名	大王地区浸水対策事業 大王調整地盤工事 (3期工事)		
図面名	道路横断図(1)		
作成年月	令和 6 年 9 月		
縮尺	図示	図面番号	7 / 44
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

# 道路横断図(2) S=1:100

[市道 4-2号線]

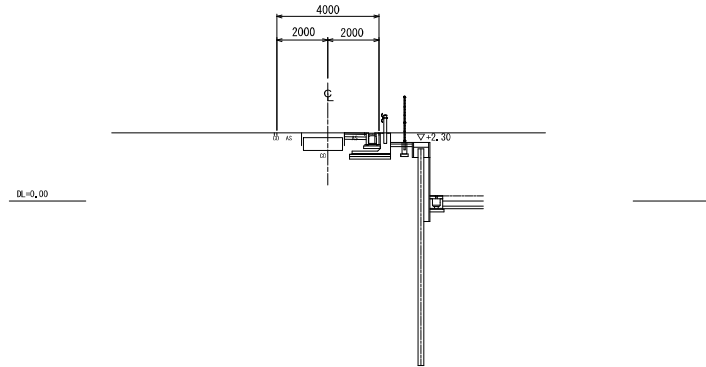


工事名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事(3期工事)		
図面名	道路横断図(2)		
作成年月	令和6年9月		
縮尺	図示	図面番号	8 / 43
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

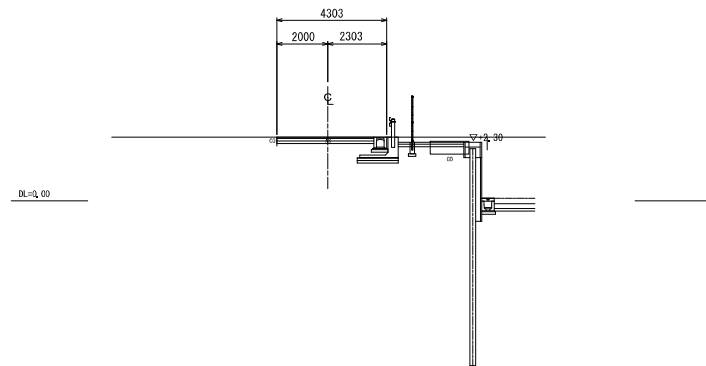
# 道路横断図(3) S=1:100

[市道 4-4号線]

4-4\_ (No. 1)  
GH=2.67  
 FH=2.680



4-4\_BP (No. 0)  
GH=2.50  
 FH=2.530



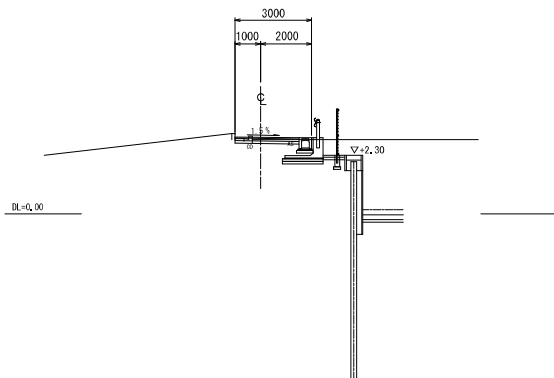
工事名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事 (3期工事)		
図面名	道路横断図(3)		
作成年月	令和6年9月		
縮尺	図示	図面番号	9 / 43
会社名	株式会社イミブラン		
事業者名	竹原市		

道路横断図(4) S=1:100

[管理道 3-2号線]

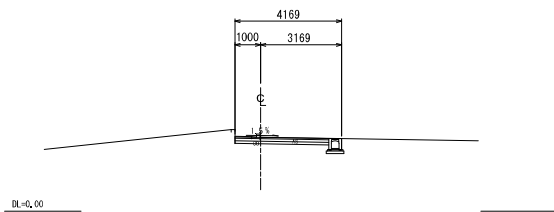
3-2\_(No. 1)

0H=2,89  
FH=3,009

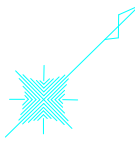


3-2\_BP (No. 0)

0H=2,89  
FH=2,889



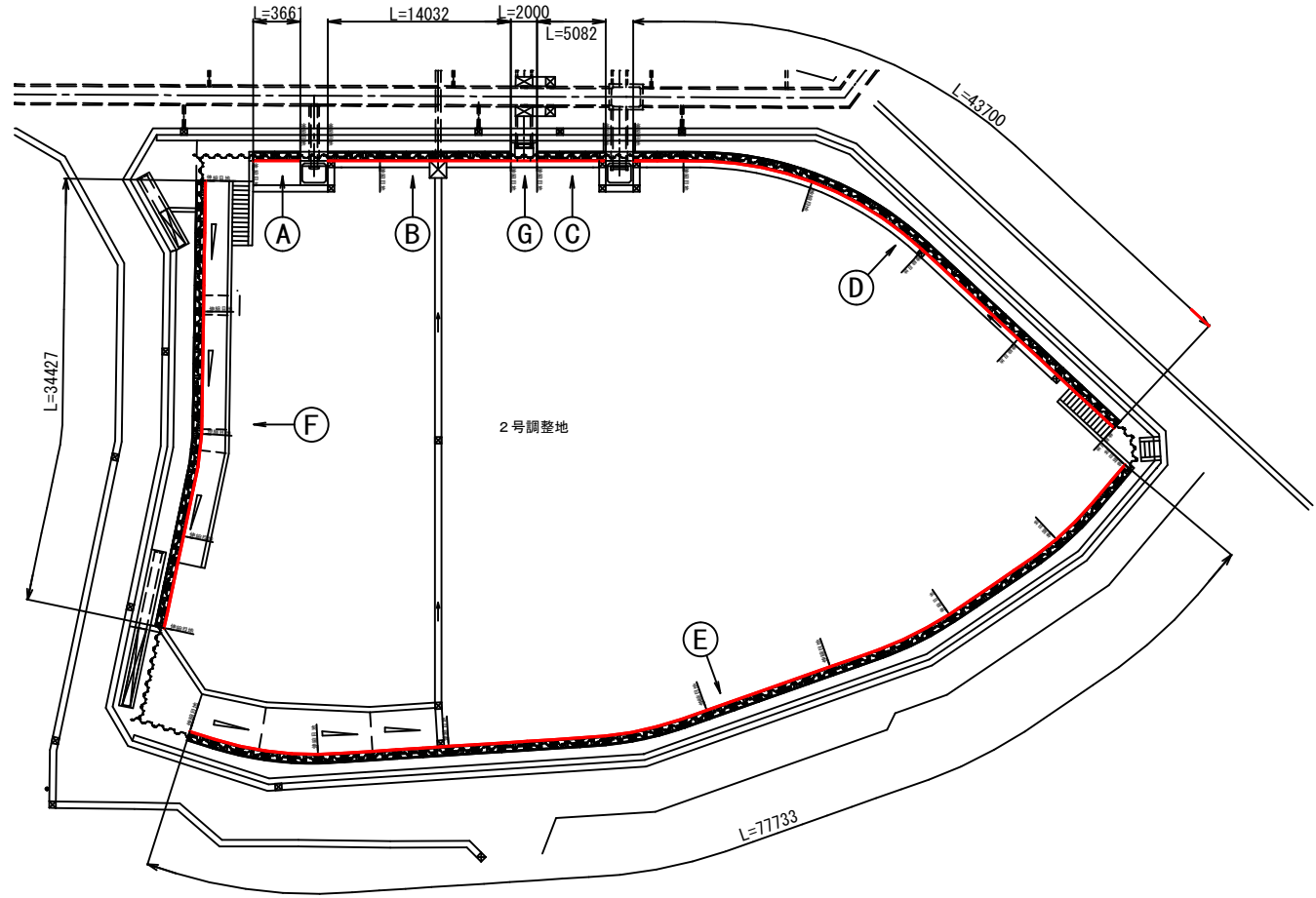
工事名	大正地区浸水対策事業 大王路整地整備工事(3期工事)		
図面名	道路横断図(4)		
作成年月	令和6年9月		
縮尺	図示	図面番号	10 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		



平面図  
S=1:400

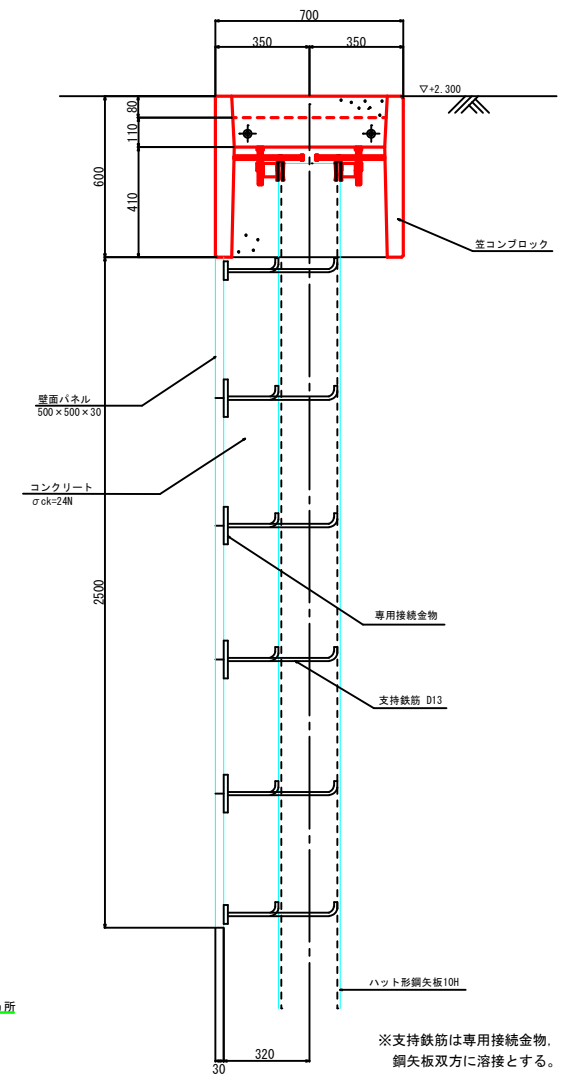
壁面パネル計画図(1)

2号調整地



壁面パネル断面構造図

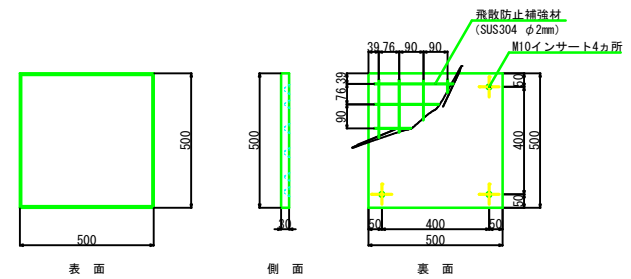
S=1:20



矢視	設置面積	化粧パネル			滑面パネル			専用接続金物				
		標準	切断	合計	標準	切断	合計	標準4点	標準2点	標準1点	切断2点	切断1点
	m	枚	枚	枚	枚	枚	枚	個	個	個	個	個
(A)	7.32	21	3	24	7	1	8	18	21	6	3	2
(B)	35.08	81	9	90	54	6	60	88	96	26	8	4
(C)	12.71	27	6	33	18	4	22	32	32	8	8	4
(D)	103.75	255	3	258	158	2	160	246	292	92	4	2
(E)	142.36	434	3	437	131	0	131	308	437	159	0	4
(F)	41.73	140	8	148	22	0	22	76	146	67	4	8
(G)	4.33	8	4	12	8	0	8	12	11	2	3	2
合計	347.28	966	36	1002	398	13	411	780	1035	360	30	26

壁面パネル製品図(参考)

S=1:20



工事名	大正地区浸水対策事業 大正調整地整備工事(3期工事)		
図面名	壁面パネル計画図(1)		
作成年月	令和6年9月		
縮尺	図示	図面番号	13 / 45
会社名	株式会社イミブラン		
事業者名	竹原市		

※支持鉄筋は専用接続金物。  
鋼矢板双方に溶接とする。

# 壁面パネル計画図(2)

2号調整地

パネル割付図

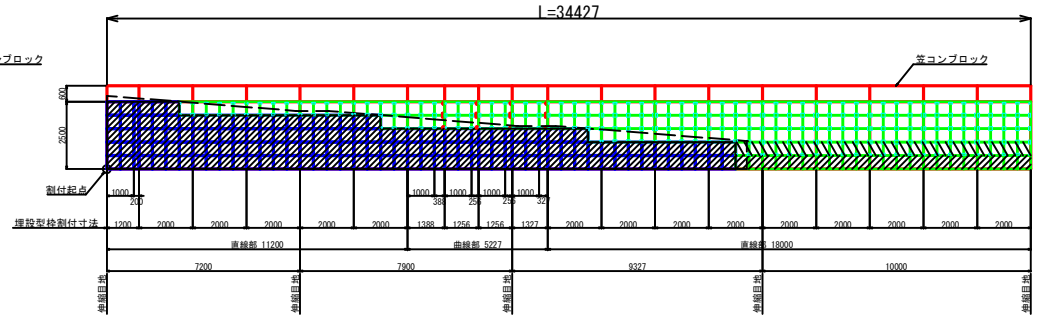
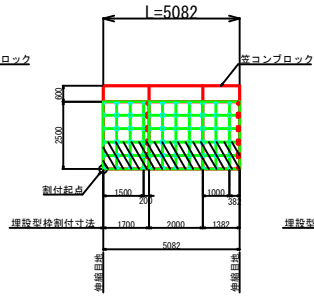
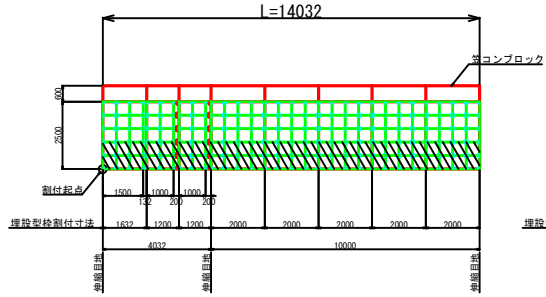
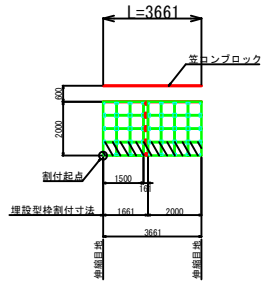
S=1:200

Ⓐ部

Ⓑ部

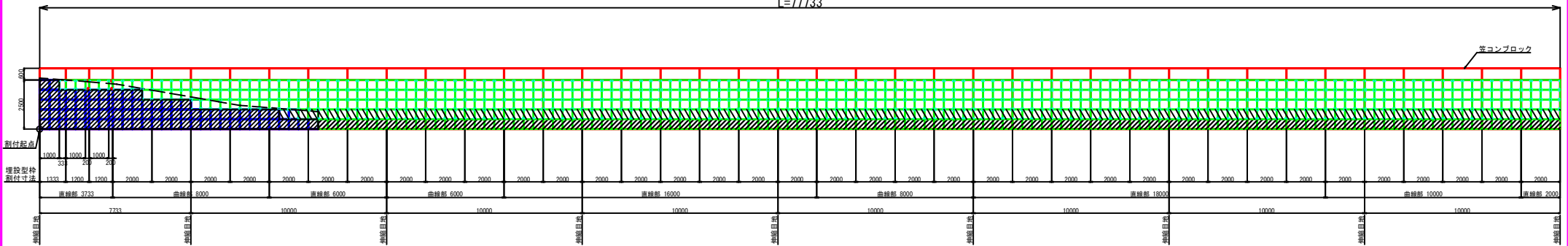
Ⓒ部

Ⓔ部



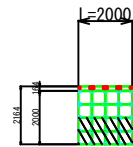
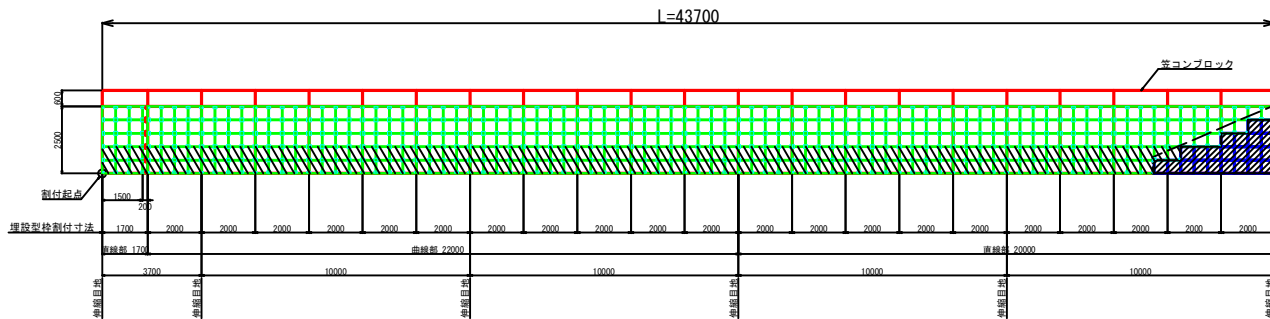
Ⓔ部

L=77733



Ⓓ部

Ⓖ部

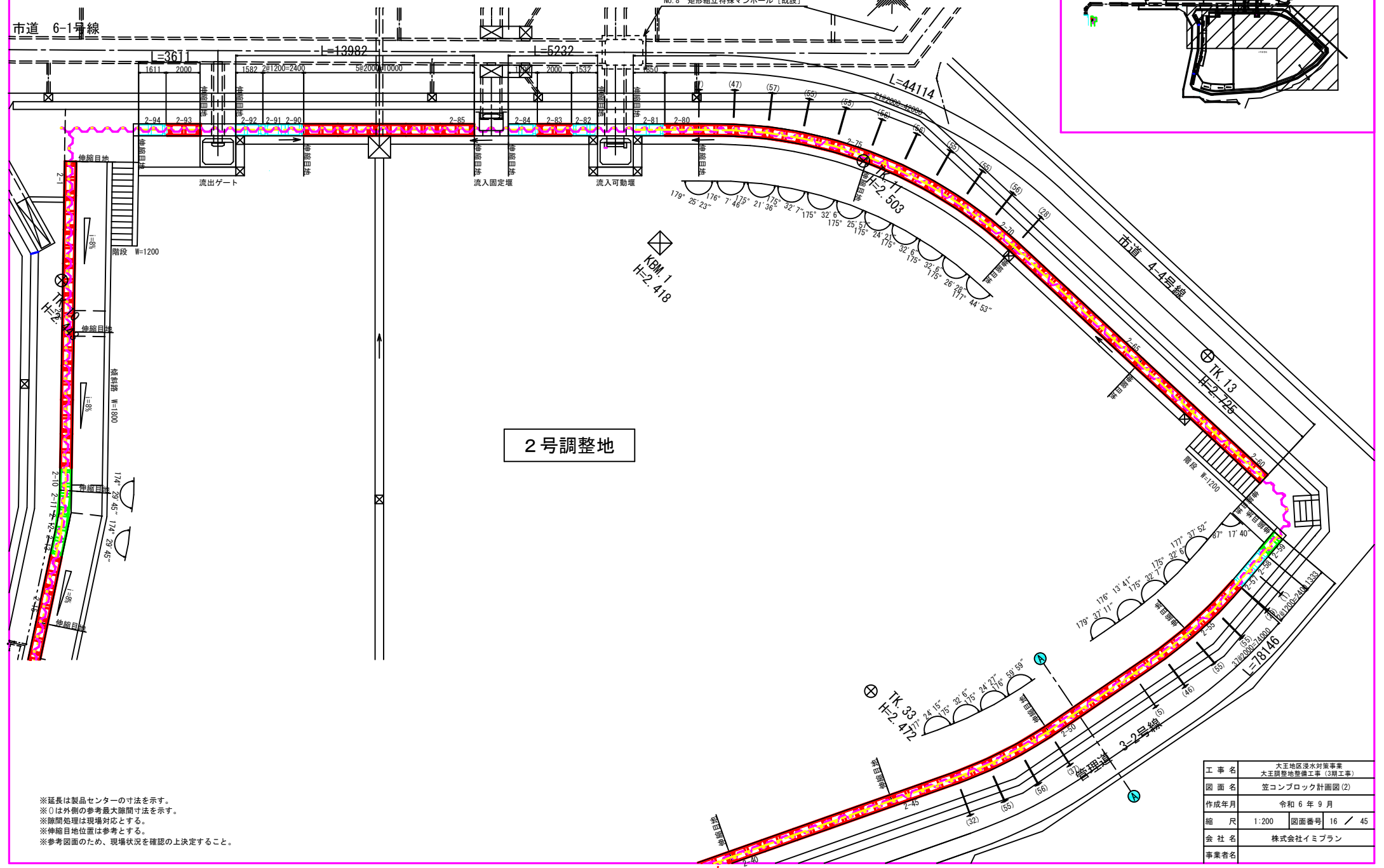
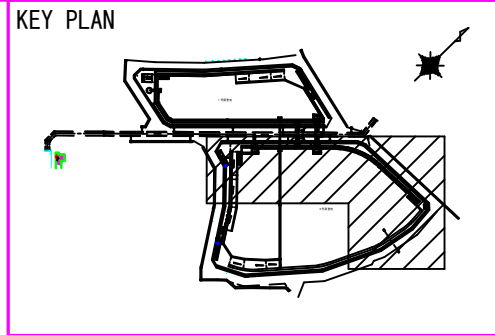


パネル・金物控除範囲  
 滑面パネル範囲

工事名	大正地区浸水対策事業 大王調整地整備工事(3期工事)		
図面名	壁面パネル計画図(2)		
作成年月	令和6年9月		
縮尺	1:200	図面番号	14 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		



笠コンブロック計画図(2) S=1:200

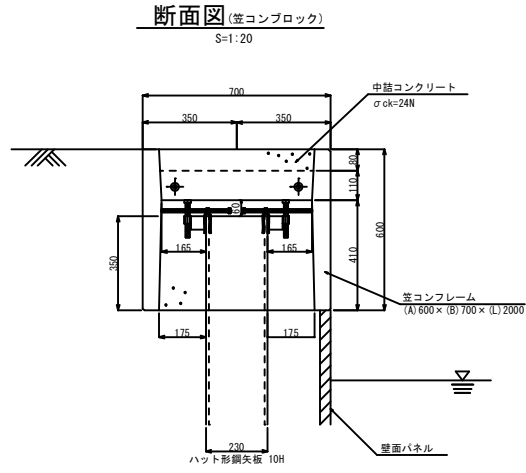


2号調整地

※延長は製品センターの寸法を示す。  
 ※○は外側の参考最大隙間寸法を示す。  
 ※隙間処理は現場対応とする。  
 ※伸縮目地位置は参考とする。  
 ※参考図面のため、現場状況を確認の上決定すること。

工事名	大王地区浸水対策事業		
図面名	大王調整地整備工事(3期工事)		
作成年月	令和6年9月	図面番号	16 / 45
縮尺	1:200	会社名	株式会社イミプラン
事業者名	株式会社イミプラン		

## 笠コンブロック構造図

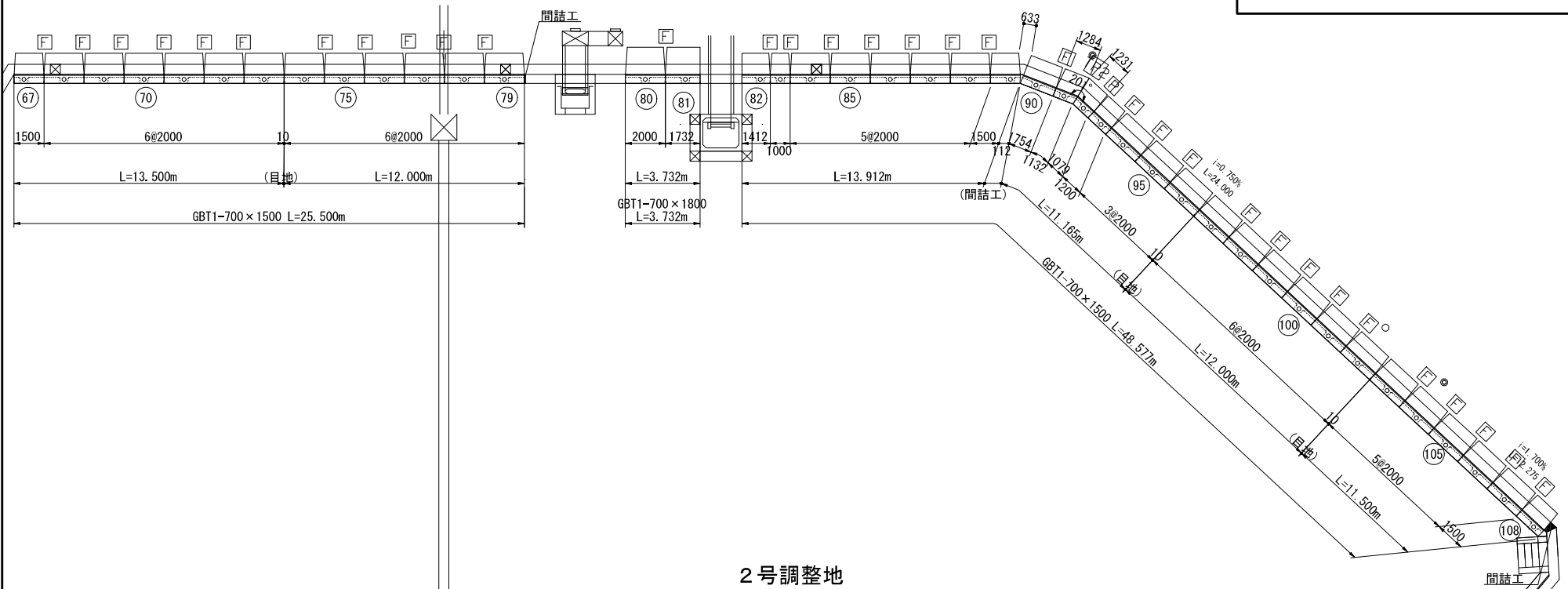
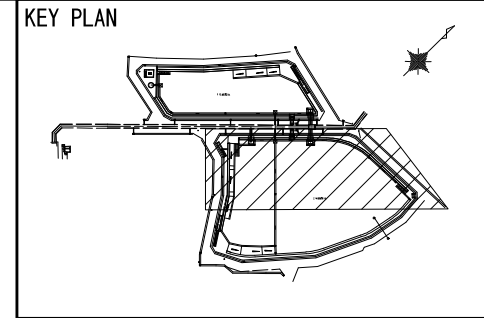


製品数量表 (2号調整地)

製品番号	サイズ			規格	数量	参考質量	摘要
	A	B	L				
笠コンフレーム 模様無し							
	600	700	2000	標準	79本	480kg	
2-19, 2-57 2-90		×	1200	調整用	3本	290kg	
2-58, 2-91		×	1200	調整用	2本	290kg	
2-81		×	1850	調整用	1本	380kg	
2-84		×	1700	調整用	1本	380kg	
2-82		×	1382	調整用	1本	330kg	
2-92		×	1632	調整用	1本	370kg	
2-94		×	1661	調整用	1本	380kg	
2-10		×	1310 1344	斜角	1本	310kg	
2-11		×	1239 1273	斜角	1本	300kg	
2-12		×	1239 1273	斜角	1本	300kg	
2-13		×	1371 1405	斜角	1本	330kg	
2-59		×	1316 1350	斜角	1本	320kg	
合計					94本		

工事名	大玉地区浸水対策事業 大玉調整地整備工事 (3期工事)		
図面名	笠コンブロック構造図		
作成年月	令和6年9月		
縮尺	1:20	図面番号	17 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

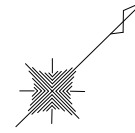
プレキャストガードレール基礎計画図(1) S=1:200



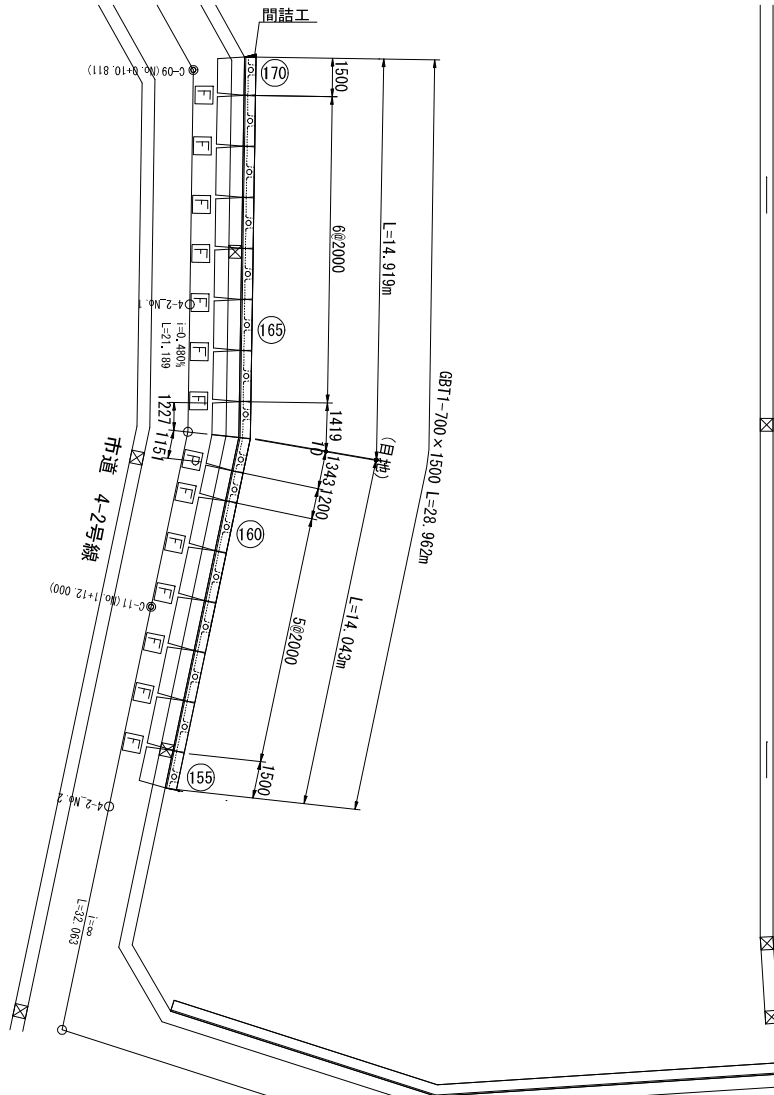
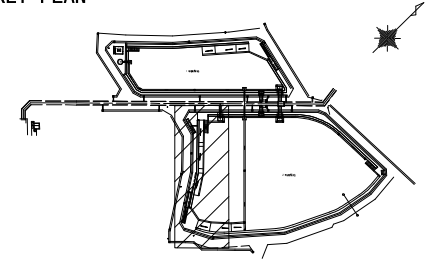
2号調整地

工事名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事(3期工事)		
図面名	プレキャストガードレール基礎計画図(1)		
作成年月	令和6年9月		
縮尺	1:200	図面番号	18 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名			

プレキャストガードレール基礎計画図(2) S=1:200



KEY PLAN



2号調整地

工事名	大王地区洪水対策事業 大王調整地整備工事 (3期工事)		
図面名	プレキャストガードレール基礎計画図(2)		
作成年月	令和 6 年 9 月		
縮尺	1:200	図面番号	19 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名			



プレキャストガードレール基礎計画図(4)

数量表(2号調整地)

呼び名	数量	延長(m)	備考	製品番号
700×1500×2000-BC	77	154.000		68-79, 84-88, 94-107, 110-112, 115-119, 123-132, 135-147, 150-153, 156-160, 164-169
700×1500×1000-BC	2	2.000		83, 120
700×1500×1500-BC	4	6.000	端部用 右	67, 109, 114, 155
700×1500×1500-BC	8	12.000	端部用 左	89, 108, 113, 121, 133, 148, 154, 170
700×1500×1412-BC	1	1.412	短切	82
700×1500×1754-BC	1	1.754	〃	90
700×1500×1200-BC	2	2.400	〃	93, 161
700×1500×1400-BC	1	1.400	〃	122
700×1500×1149-BC	1	1.149	〃	134
700×1500×1329-BC	1	1.329	〃	149
700×1500×1132/1284-BC	1	1.132	斜切	91
700×1500×1079/1231-BC	1	1.079	〃	92
700×1500×1343/1151-BC	1	1.343	〃	162
700×1500×1419/1227-BC	1	1.419	〃	163
700×1800×2000-BC	1	2.000		80
700×1800×1732-BC	1	1.732	短切	81
合計	104	192.149		

連結資材数量表

連結142箇所当り

種類	規格	数量						備考
		F	P	P6	TP1	TP2	合計	
六角ボルト	M16×60	82 (1)					82	F8.8相当
	M16×40		10 (2)			2 (2)	12	F8.8相当
六角ナット	M16	82 (1)					82	F8.8相当
角ワッシャ	M16用	164 (2)	20 (4)			4 (4)	188	S45C
ガイドピン	50×20	82 (1)	5 (1)				87	
間隔保持材	φ50, t=5mm+10mm	82 (1)					82	
連結プレート	340×70×9		5 (1)				5	
	340×70×9 折れ角度176°							
	340×70×9 折れ角度151°							特殊
	340×70×9 折れ角度159°					1 (1)	1	特殊
連結箇所数		82	5			1	88	

※( )は連結1箇所当りの数量

種類	記号	備考
フランジ連結	F	
プレート連結 (φ18×90)	ストレートタイプ	P
	折れ角度176°	P6
プレート連結 (特殊)	折れ角度151°	P1
	折れ角度159°	P2

※連絡の穴の位置が通常と異なる製品がありますのでご注意ください。

工事名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事 (3期工事)		
図面名	プレキャストガードレール基礎計画図(4)		
作成年月	令和6年9月		
縮尺	NSC	図面番号	21 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名			

# プレキャストガードレール基礎構造図

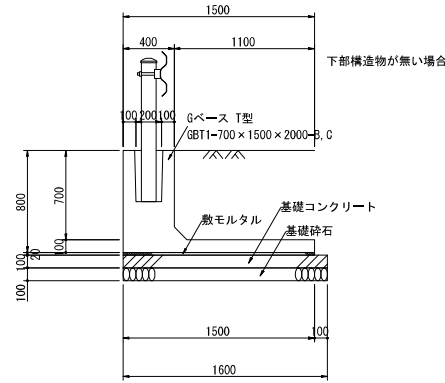
構造図  
§=1:40

700×1500×2000-B, C

標準材料表 10m当り

名称	規格	数量
基礎砕石	RC-40	16,000 m <sup>2</sup>
		1,600 m <sup>3</sup>
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	1,600 m <sup>3</sup>
基礎コンクリート型枠		2,000 m <sup>2</sup>
敷モルタル	(1:3)	0,300 m <sup>3</sup>
Gベース T型	GBT1-700×1500×2000-B, C	5 本

※基礎材の数量は下部構造物によって変わります。

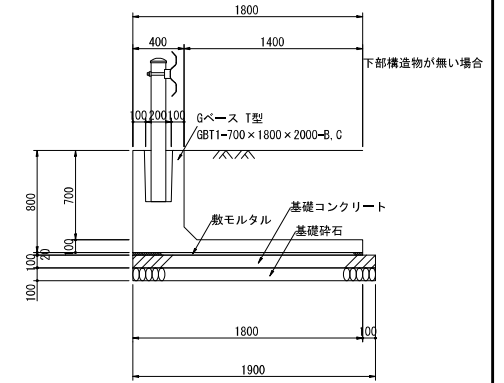


700×1800×2000-B, C

標準材料表 10m当り

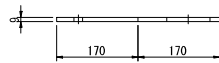
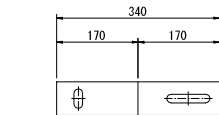
名称	規格	数量
基礎砕石	RC-40	19,000 m <sup>2</sup>
		1,900 m <sup>3</sup>
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	1,900 m <sup>3</sup>
基礎コンクリート型枠		2,000 m <sup>2</sup>
敷モルタル	(1:3)	0,360 m <sup>3</sup>
Gベース T型	GBT1-700×1800×2000-B, C	5 本

※基礎材の数量は下部構造物によって変わります。

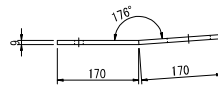
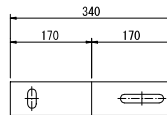


プレート 詳細図  
§=1:8

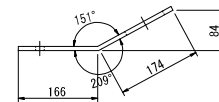
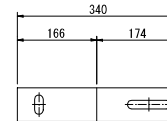
P 連結用プレート 340×70×9  
ストレートタイプ



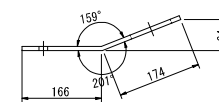
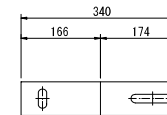
P6 連結用プレート 340×70×9  
(折れ角度176°)



TP1 連結用プレート 340×70×9  
(折れ角度151°)

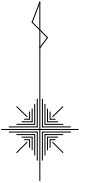
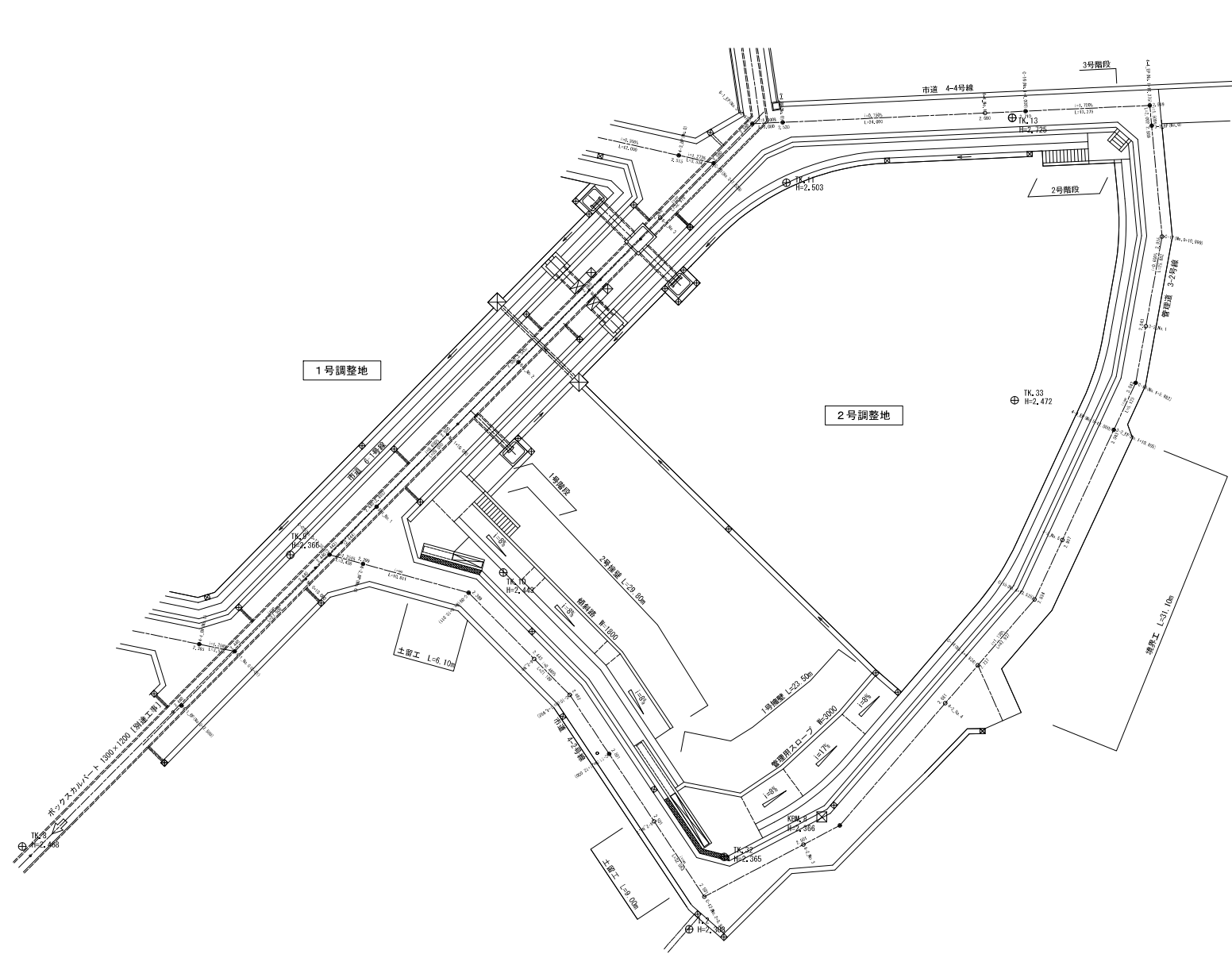


TP2 連結用プレート 340×70×9  
(折れ角度159°)



工事名	大王地区浸水対策事業		
図面名	プレキャストガードレール基礎構造図		
作成年月	令和 6 年 9 月		
縮尺	図示	図面番号	22 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

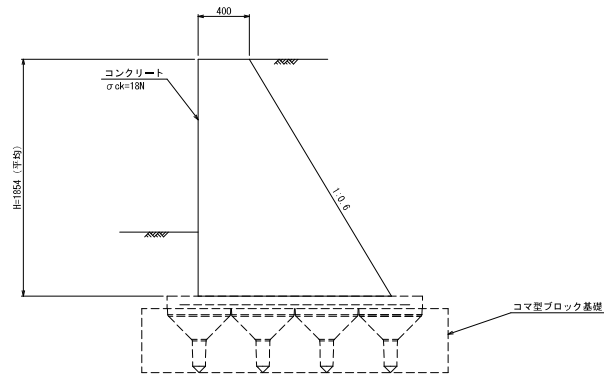
擁壁工計画平面図 S=1:200



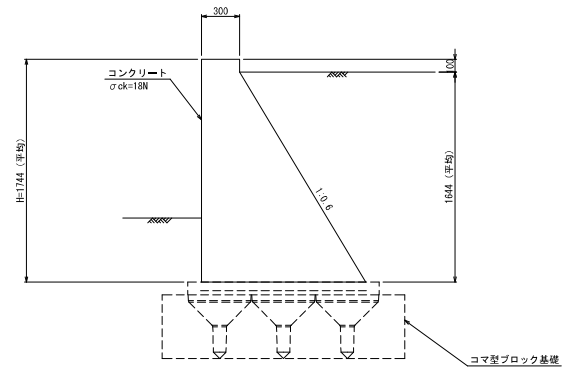
工事名	大正地区治水対策事業 大正調整地整備工事 (3期工事)		
図面名	擁壁工計画平面図		
作成年月	令和 6 年 9 月		
縮尺	1:200	図面番号	23 / 45
会社名	株式会社イミブラン		
事業者名	竹原市		

# 擁壁構造図

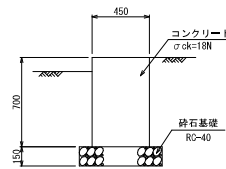
1号擁壁 S=1:20



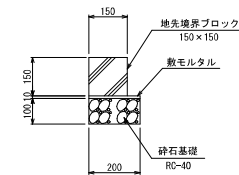
2号擁壁 S=1:20



土留工 S=1:20



境界工 S=1:10



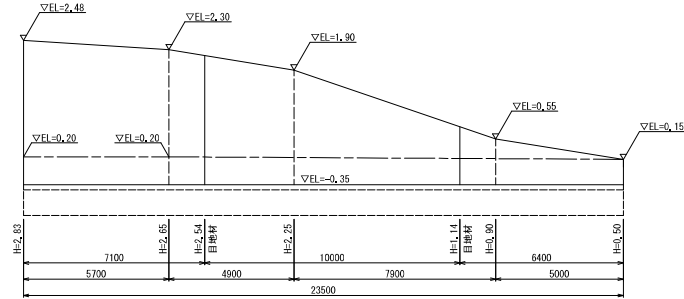
工事名	大王地区浸水対策事業 大王調整地盤工事（3期工事）		
図面名	擁壁構造図		
作成年月	令和 6 年 9 月		
縮尺	図示	図面番号	24 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

# 擁壁展開図

V=1:50  
H=1:100

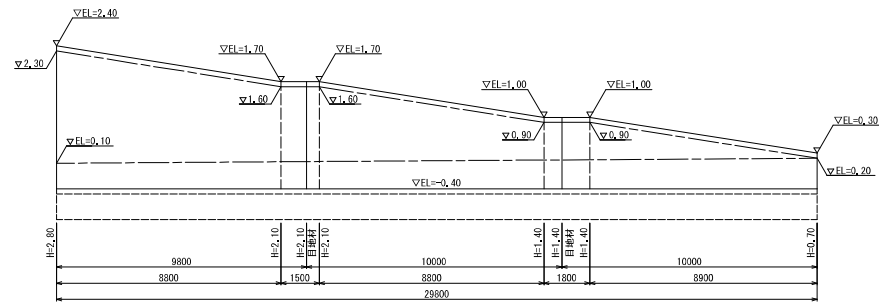
## 1号擁壁 展開図

(2号調整地 管理用スロープ路側)



## 2号擁壁 展開図

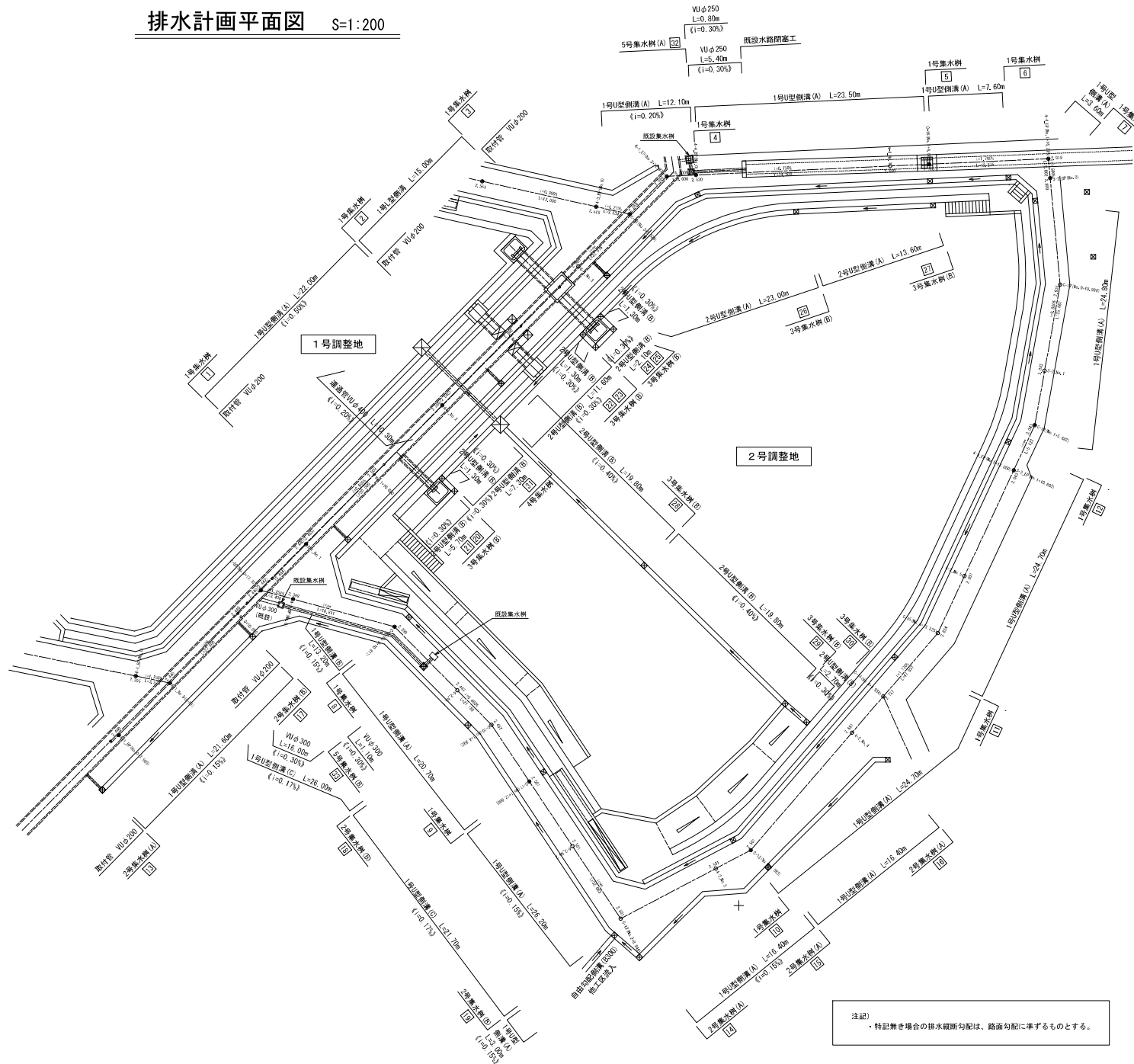
(2号調整地 傾斜路側)



工事名	大正地区浸水対策事業 大正調整地整備工事 (3期工事)		
図面名	擁壁展開図		
作成年月	令和 6 年 9 月		
縮尺	図示	図面番号	25 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

※擁壁の延長は天端中心位置の延長を示す。

排水計画平面図 S=1:200

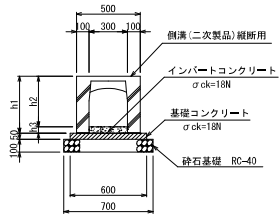


注記  
・特記無き場合の排水縦断勾配は、路面勾配に準ずるものとする。

工事名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（3期工事）		
図面名	排水計画平面図		
作成年月	令和 6 年 9 月		
縮尺	1:200	図面番号	26 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

排水工構造図(1) S=1:20

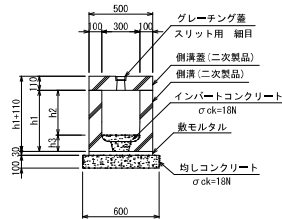
1号U型側溝



寸法表

種別	h1	h2	h3
1号U型側溝(A)	445	350~394	95~51
1号U型側溝(B)	545	367~420	178~125
1号U型側溝(C)	745	624~636	121~109

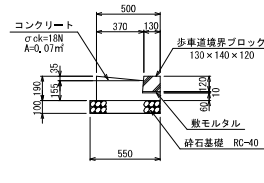
2号U型側溝



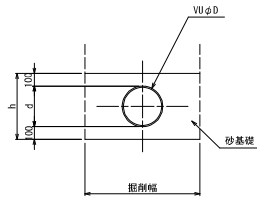
寸法表

種別	h1	h2	h3
2号U型側溝(A)	380	250	130
2号U型側溝(B)	480	250~264	230~216

1号L型側溝



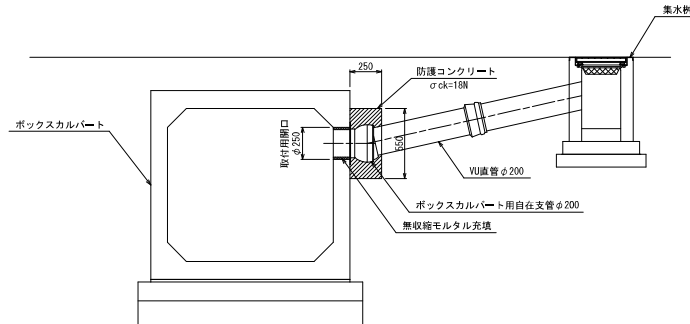
VU管布設断面図



寸法表

種別	d	h	備考
VU φ200	216	416	取付管
VU φ250	267	467	既設水路接続
VU φ300	318	518	既設水路接続

取付管VUφ200(参考図)



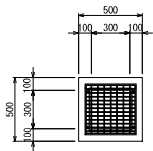
注記)

- 側溝の案内は参考とする。
- 取付管用開口は現場削孔とする。
- 取付管用開口位置は、ボックスカルバートのハンチ部を避ける位置とすること。
- 取付管用開口位置は、ボックスカルバート本体長さの中央付近とすること。

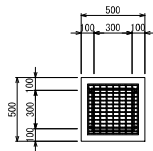
工事名	大王地区浸水対策事業 大王調整地盤工事(3期工事)		
図面名	排水工構造図(1)		
作成年月	令和6年9月		
縮尺	1:20	図面番号	27 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

排水工構造図(2) S=1:20

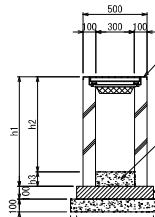
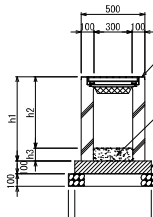
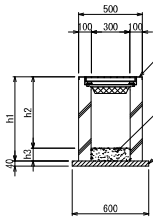
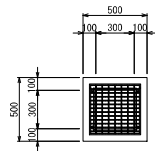
1号集水樹



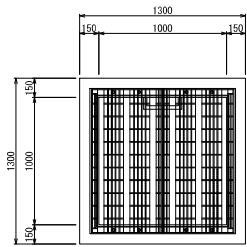
2号集水樹



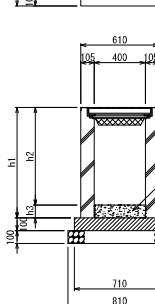
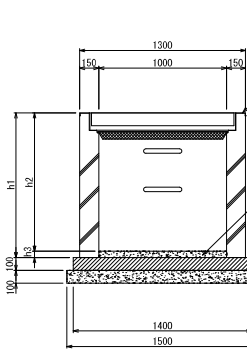
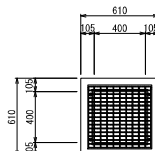
3号集水樹



4号集水樹



5号集水樹



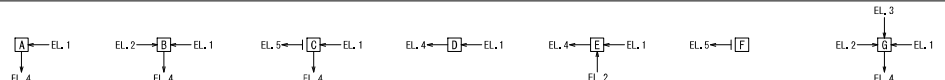
注記

- 集水樹のグレーチングはボルト固定とする。
- 集水樹のグレーチング目幅は細目とする。ただし、製品に細目仕様がない場合は協議とする。
- 集水樹の裏面は参考とする。

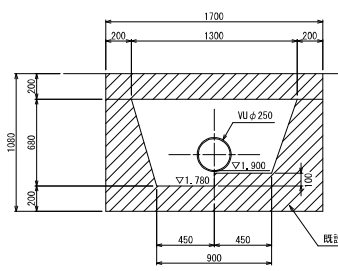
集水樹寸法表

種別	番号	形式	GL	流入				流出		起点流出		寸法					
				EL.1	概要	EL.2	概要	EL.3	概要	EL.4	概要	EL.5	概要	h.1	h.2	h.3	
1号集水樹	1	B	2,427	2,060	1号U型側溝(A)	2,007	1号U型側溝(B)	—	—	1,977	VUφ200 取付	—	—	660	600	60	
	2	C	2,520	—	—	1号L型側溝	—	—	—	—	2,060	VUφ200 取付	2,170	1号U型側溝(A)	660	600	60
	3	C	2,523	2,129	1号U型側溝(A)	—	—	—	—	2,063	VUφ200 取付	—	—	1号L型側溝	660	600	60
	4	D	2,503	2,153	1号U型側溝(A)	—	—	—	—	2,153	1号U型側溝(A)	—	—	—	660	500	160
	5	D	2,688	2,338	1号U型側溝(A)	—	—	—	—	2,338	1号U型側溝(A)	—	—	—	660	500	160
	6	D	2,825	2,475	1号U型側溝(A)	—	—	—	—	2,475	1号U型側溝(A)	—	—	—	660	500	160
	7	D	2,880	2,530	1号U型側溝(A)	—	—	—	—	2,530	1号U型側溝(A)	—	—	—	660	500	160
	8	D	2,377	2,027	1号U型側溝(A)	—	—	—	—	2,027	1号U型側溝(B)	—	—	—	660	500	160
	9	D	2,479	2,090	1号U型側溝(A)	—	—	—	—	2,090	1号U型側溝(A)	—	—	—	660	539	121
	10	D	2,479	2,129	1号U型側溝(A)	—	—	—	—	2,129	1号U型側溝(A)	—	—	—	660	500	160
	11	D	2,757	2,407	1号U型側溝(A)	—	—	—	—	2,407	1号U型側溝(A)	—	—	—	660	500	160
2号集水樹(A)	12	F	3,021	—	—	—	—	—	—	2,671	1号U型側溝(A)	2,671	1号U型側溝(A)	660	500	160	
	13	A	2,403	2,021	1号U型側溝(A)	—	—	—	—	1,953	VUφ200 取付	—	—	—	660	600	60
	14	A	2,479	2,092	1号U型側溝(A)	—	—	—	—	2,092	1号U型側溝(A)	—	—	—	660	537	123
	15	D	2,467	2,117	1号U型側溝(A)	—	—	—	—	2,117	1号U型側溝(A)	—	—	—	660	500	160
2号集水樹(B)	16	F	2,640	—	—	—	—	—	—	—	—	2,290	1号U型側溝(A)	660	500	160	
	17	C	2,403	1,767	1号U型側溝(C)	—	—	—	—	1,767	VUφ200 取付	2,053	1号U型側溝(A)	860	786	74	
	18	D	2,437	1,811	1号U型側溝(C)	—	—	—	—	1,811	1号U型側溝(C)	—	—	—	860	776	84
	19	E	2,479	2,088	1号U型側溝(A)	1,855	他工区流入	—	—	1,855	1号U型側溝(C)	—	—	—	860	774	84
3号集水樹(B)	20	A	0,100	-0,277	2号U型側溝(B)	—	—	—	—	-0,277	2号U型側溝(B)	—	—	—	660	527	136
	21	A	0,100	-0,281	2号U型側溝(B)	—	—	—	—	-0,281	2号U型側溝(B)	—	—	—	660	531	129
	22	A	0,000	-0,374	2号U型側溝(B)	—	—	—	—	-0,374	2号U型側溝(B)	—	—	—	660	524	136
	23	A	0,000	-0,370	2号U型側溝(B)	—	—	—	—	-0,370	2号U型側溝(B)	—	—	—	660	520	140
	24	A	0,000	-0,364	2号U型側溝(B)	—	—	—	—	-0,364	2号U型側溝(B)	—	—	—	660	514	146
	25	A	0,000	-0,360	2号U型側溝(A)	—	—	—	—	-0,360	2号U型側溝(A)	—	—	—	660	510	150
	26	D	0,118	-0,242	2号U型側溝(A)	—	—	—	—	-0,242	2号U型側溝(A)	—	—	—	660	510	150
	27	F	0,200	—	—	—	—	—	—	—	—	-0,160	2号U型側溝(A)	660	510	150	
	28	D	0,075	-0,297	2号U型側溝(B)	—	—	—	—	-0,297	2号U型側溝(B)	—	—	—	660	522	138
	29	D	0,150	-0,218	2号U型側溝(B)	—	—	—	—	-0,218	2号U型側溝(B)	—	—	—	660	518	142
4号集水樹	30	F	0,150	—	—	—	—	—	—	—	—	-0,210	2号U型側溝(B)	660	510	150	
	31	G	0,000 (0,200)	-0,406	2号U型側溝(B)	-0,376	2号U型側溝(B)	-0,303	2号U型側溝(B)	-0,500	VUφ400 連続	—	—	—	1135	1000	135
5号集水樹(A)	32	A	2,530	1,884	VUφ250	—	—	—	—	1,884	VUφ250	—	—	—	865	796	69
5号集水樹(B)	33	A	2,412	1,488	VUφ300	—	—	—	—	1,488	VUφ300	—	—	—	1265	1064	201

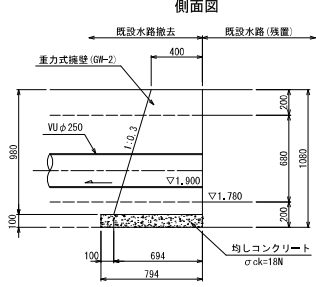
形式区分



正面図



既設水路閉塞工



側面図

- ※1 各「EL」は、流入、流出計画高を示す。
- ※2 符号無き「EL」は、TP±0.000以上を示す。
- ※3 2号調整地内のGLは地面仕上り高(付表)を示す。
- ※4 本工程における既設工計画高とは、地面仕上り高(付表)±0.200mとする。
- ※5 4号集水樹の( )内GLは樹天端高を示す。

工事名	大王地区浸水対策事業		
図面名	大王調整地整備工事(3期工事)		
作成年月	令和6年9月	図面番号	28 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

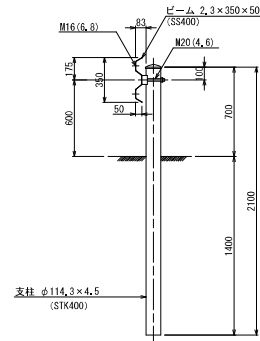


【図面縮尺は表示の50%とする】

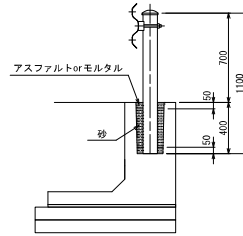
## 防護柵構造図 S=1/20

(ガードレール)

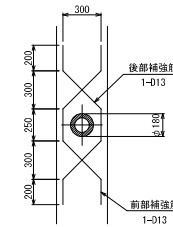
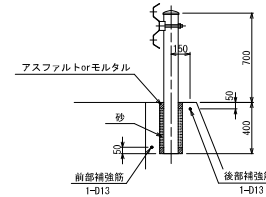
土中用 Gr-C-4E



構造物用 Gr-C-2B (A)  
(プレキャストガードレール基礎部)

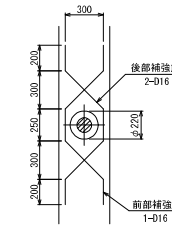
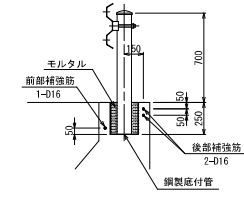


構造物用 Gr-C-2B (B)  
(場所打ち基礎部)



※補強筋はSD295A

構造物用 Gr-C-2B-2  
(流入固定堰路側補強壁部)



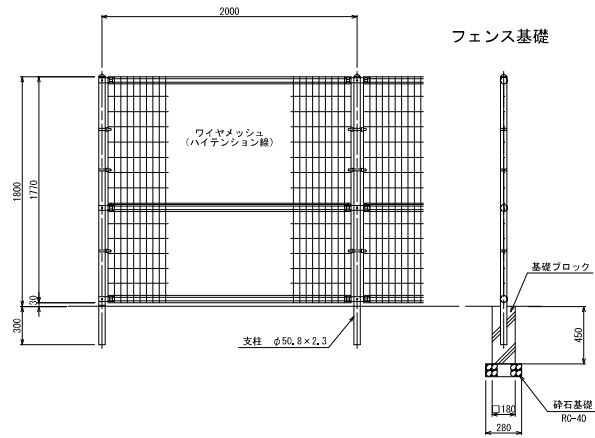
※補強筋はSD295A

工事名	大正地区治水対策事業 大正調整地盤工事 (3期工事)		
図面名	防護柵構造図		
作成年月	令和 6 年 9 月		
縮尺	1:20	図面番号	30 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

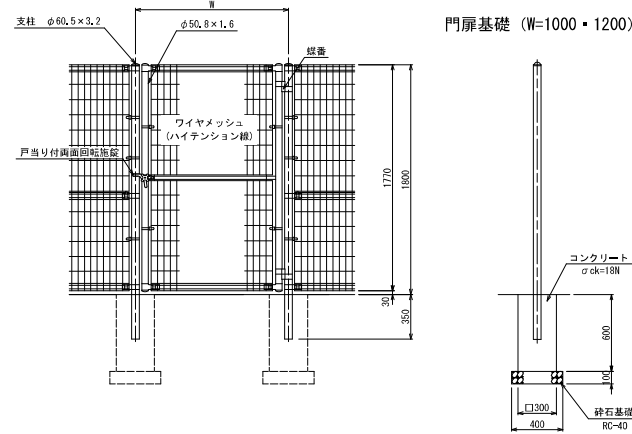
【図面縮尺は表示の50%とする】

# メッシュフェンス構造図 S-1:20

### メッシュフェンス H1800



### メッシュフェンス門扉 W=1000・1200 (片開き)



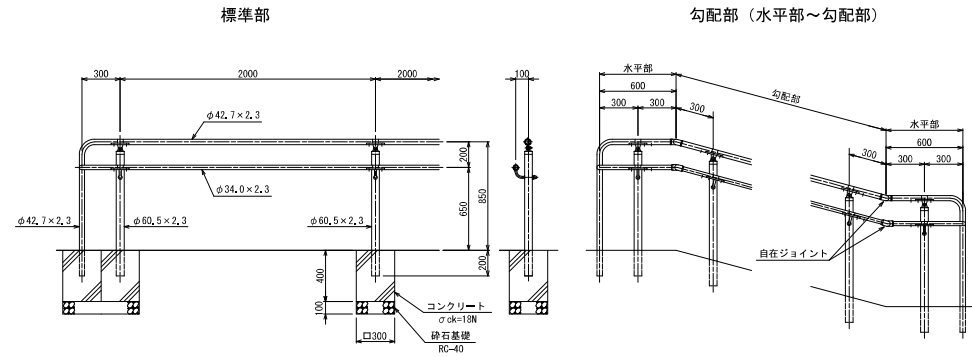
注記)  
・メッシュフェンス (開き門扉・引き戸門扉を含む) の設計荷重は昭和57年改正の建築基準法・同施行例に基づく風圧力による。  
・フェンス開き門扉は施設型とする。  
・メッシュフェンス、開き門扉等の姿図は参考とする。

工事名	大王地区治水対策事業 大王調整池整備工事 (3期工事)		
図面名	メッシュフェンス構造図		
作成年月	令和 6 年 9 月		
縮尺	1:20	図面番号	31 / 45
会社名	株式会社イミブラン		
事業者名	竹原市		

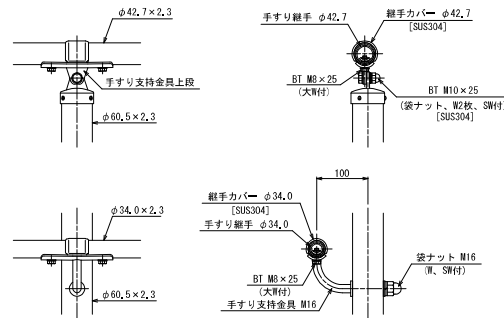


安全柵構造図 S=1:20

手摺



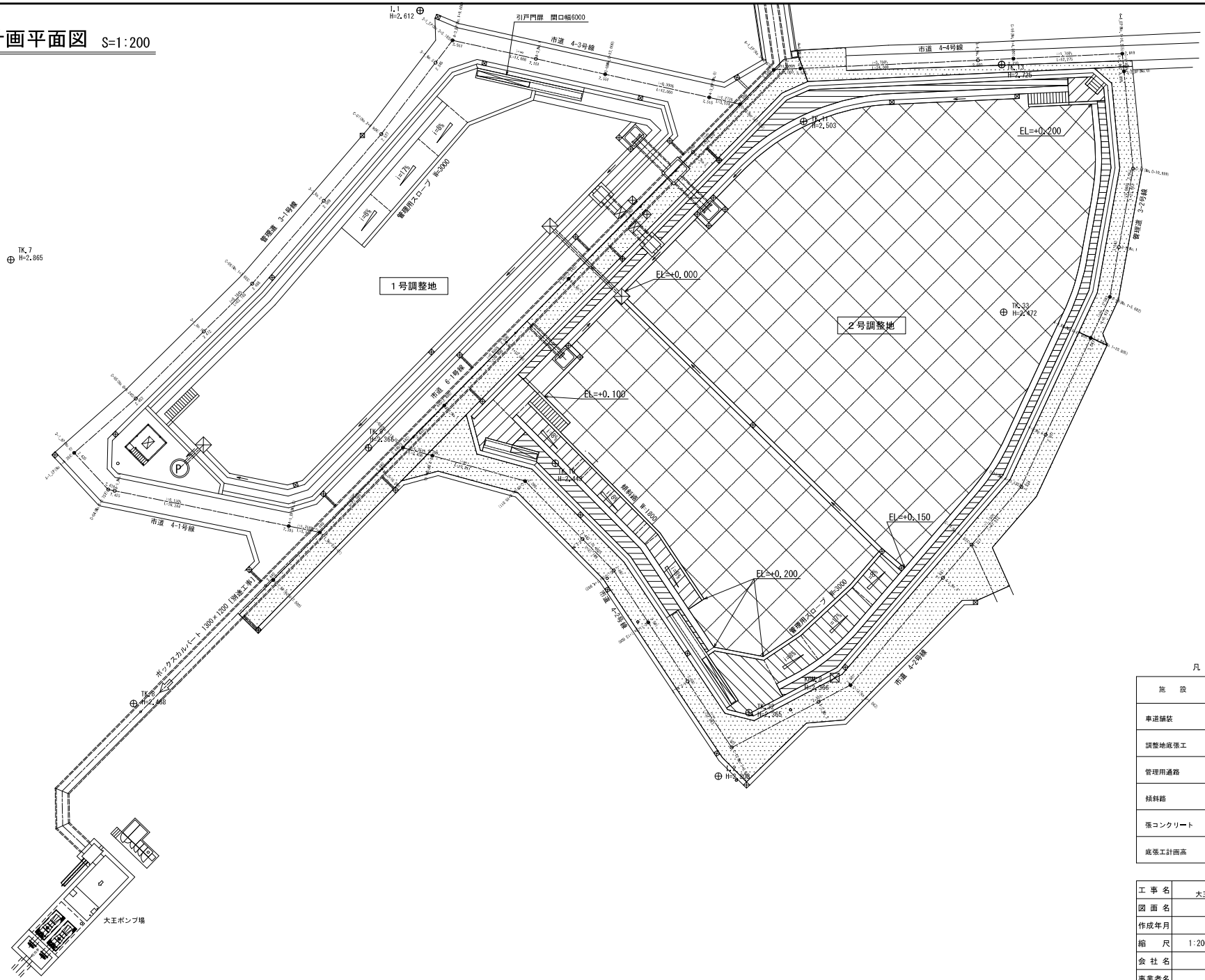
取付図



注記)  
 ・設計荷重は、防護柵の設置基準・同解説のP種の荷重に依る  
 ・本体の塗装の仕様、および色は協議とする。  
 ・手摺の詳細図については、承認図を提出する。  
 ・手摺、転落防止柵の要図は参考とする。

工事名	大正地区治水対策事業 大正調整地整備工事 (3期工事)		
図面名	安全柵構造図		
作成年月	令和 6 年 9 月		
縮尺	1:20	図面番号	33 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

舗装計画平面図 S=1:200



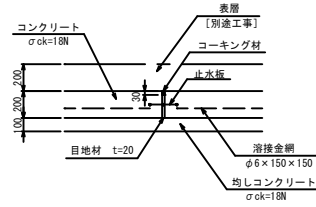
凡例

施設	記号
車道舗装	
調整地底張工	
管理用通路	
傾斜路	
張コンクリート	
底張工計画高	EL=+0.000

工事名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（3期工事）		
図面名	舗装計画平面図		
作成年月	令和 6 年 9 月		
縮尺	1:200	図面番号	34 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

舗装工構造図 S=1:20

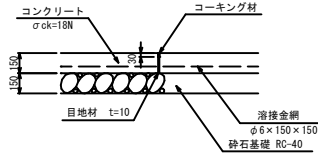
調整地底張工



注記)

- 目地材の設置間隔は、縦横5mを目安とする。
- 他の構造物との境界部には目地材を設置すること。
- 目地材は発泡樹脂系（発泡倍率15倍以下）、厚さ20mmとする。
- コーキング材は変成シリコン系とする。
- 止水板は塩ビ製、センターバルフ型とする。
- 止水板は厚さ5mm以上、幅200mm以上とする。

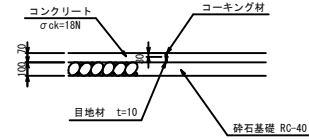
管理用通路



注記)

- 目地材の設置間隔は、5mを目安とする。
- 他の構造物との境界部には目地材を設置すること。
- 目地材は発泡樹脂系（発泡倍率15倍以下）、厚さ10mmとする。
- コーキング材は変成シリコン系とする。

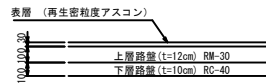
傾斜路・張コンクリート



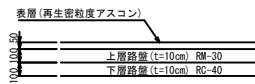
注記)

- 目地材の設置間隔は、5mを目安とする。
- 他の構造物との境界部には目地材を設置すること。
- 目地材は発泡樹脂系（発泡倍率15倍以下）、厚さ10mmとする。
- コーキング材は変成シリコン系とする。

車道舗装工（今回）



車道舗装工（計画）

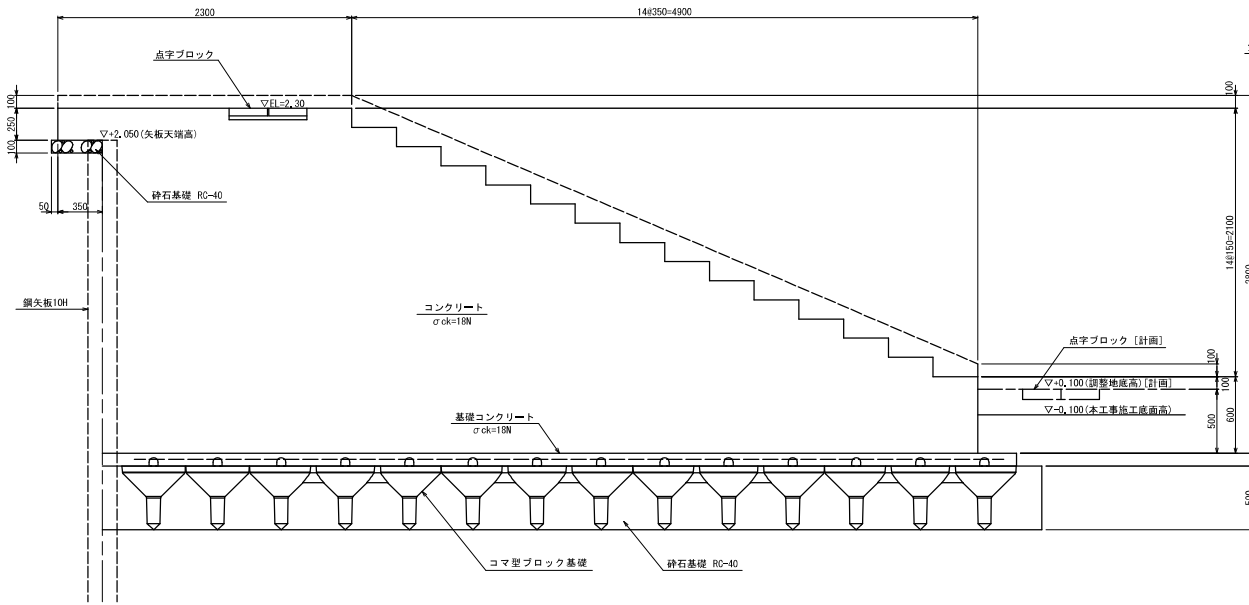


工事名	大王地区浸水対策事業 大王調整地盤工事（3期工事）		
図面名	舗装工構造図		
作成年月	令和 6 年 9 月		
縮尺	1:20	図面番号	35 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

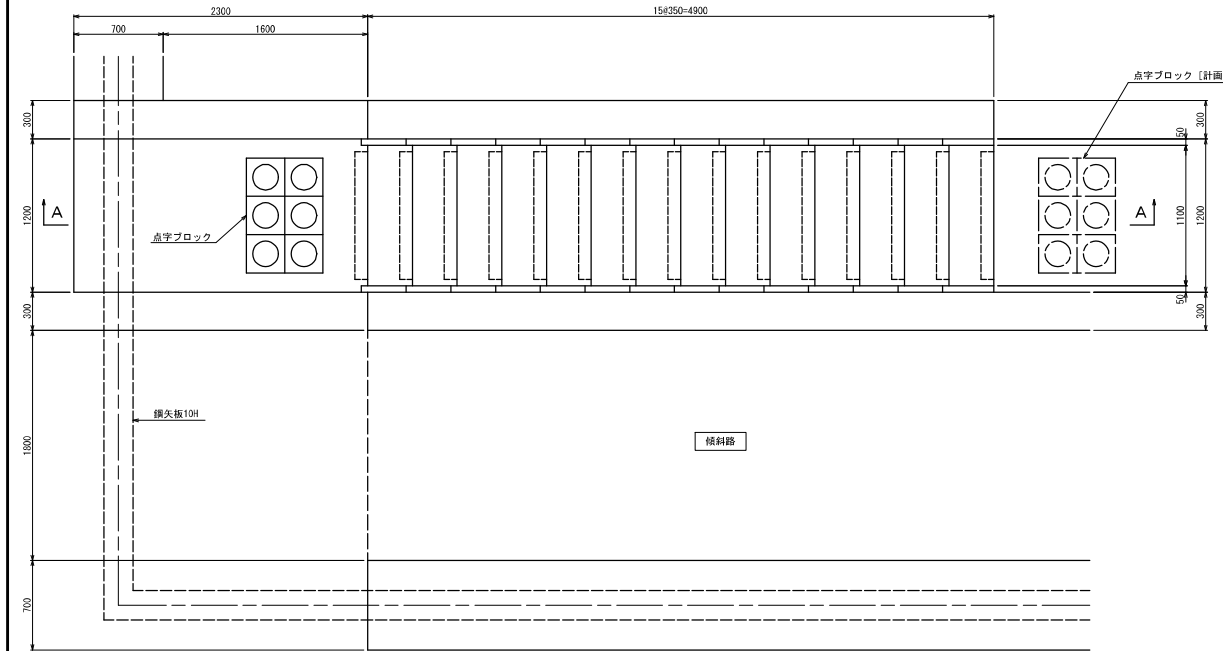
階段構造図(1) S=1:20

[1号階段]

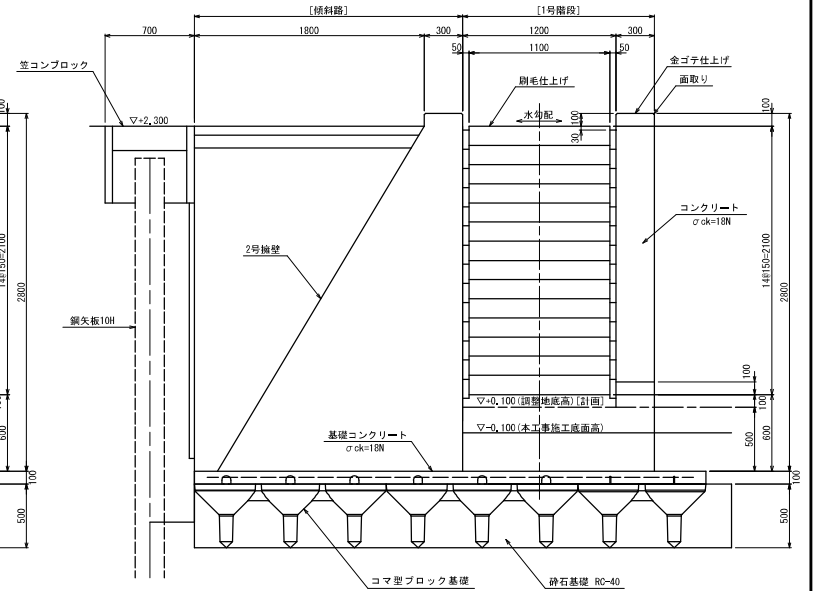
A-A



平面図

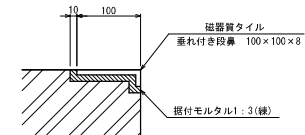


断面図

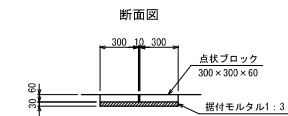


※基礎コンクリート、コマ型ブロック基礎は別途図面とする。

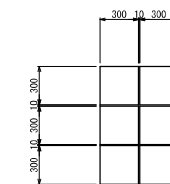
階段段鼻部 S=1/5



点字ブロック敷設図



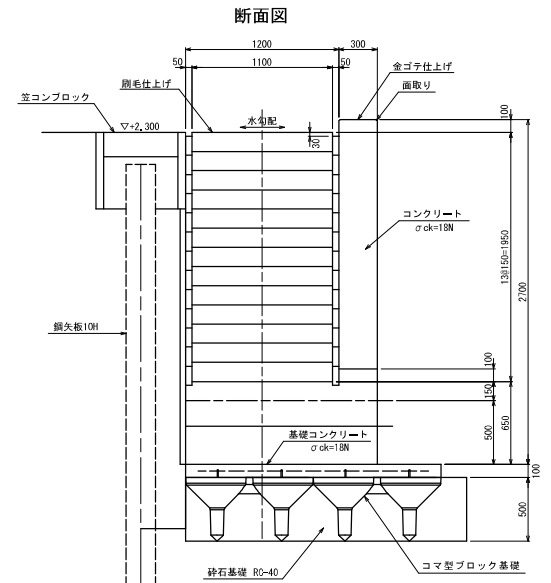
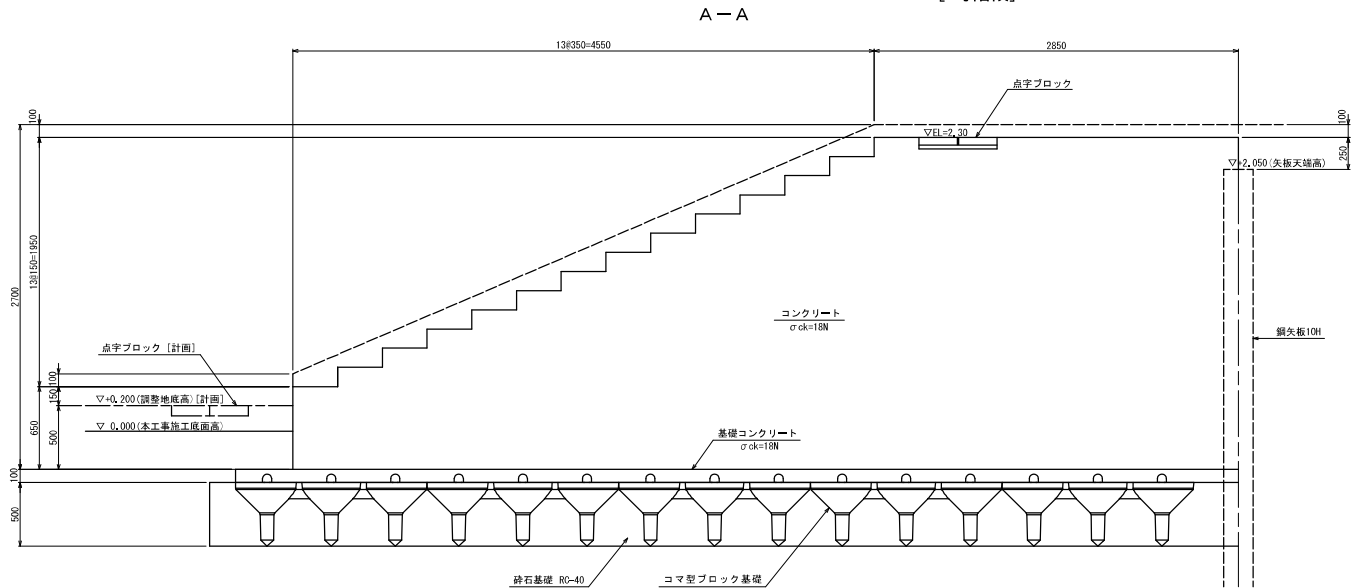
平面図



工事名	大正地区洪水対策事業 大正調整地整備工事(3期工事)		
図面名	階段構造図(1)		
作成年月	令和6年9月		
縮尺	1:20	図面番号	36 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

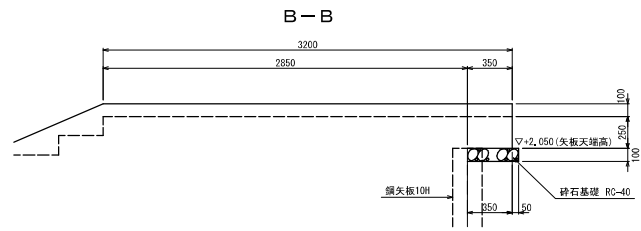
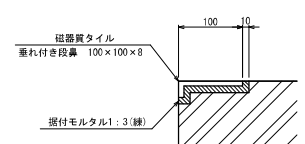
階段構造図(2) S-1.20

[2号階段]

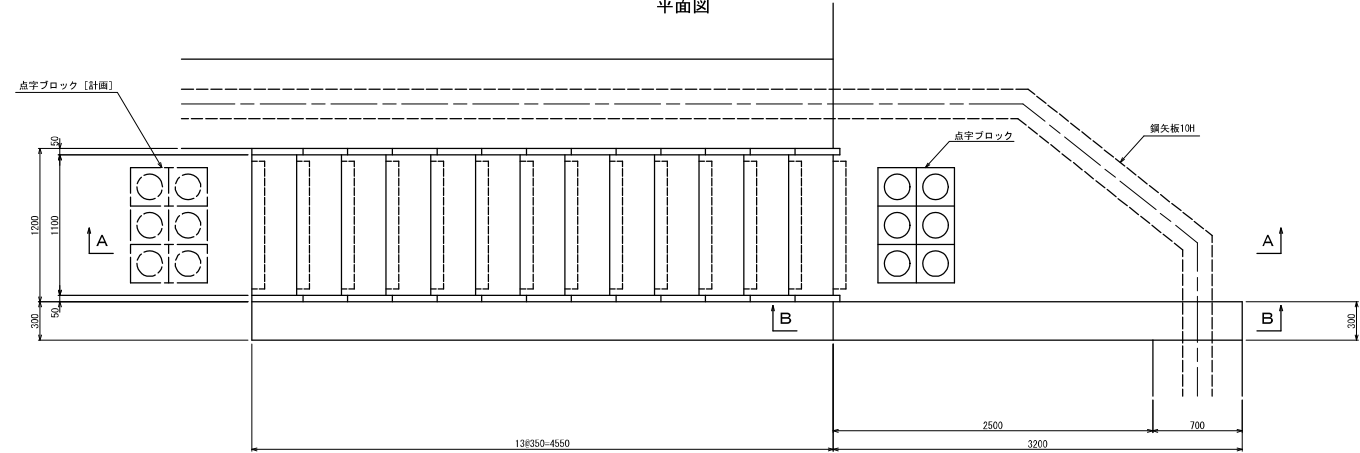


※基礎コンクリート、コマ型ブロック基礎は別途図面とする。

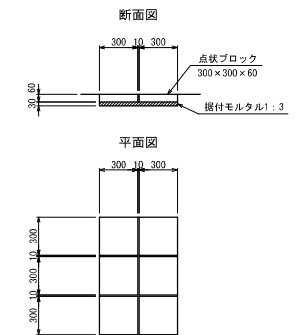
階段段鼻部 S=1/5



平面図



点字ブロック敷設図



工事名	大正地区洪水対策事業 大正調整地盤補修工事(3期工事)
図面名	階段構造図(2)
作成年月	令和6年9月
縮尺	1:20 図面番号 37 / 45
会社名	株式会社イミプラン
事業者名	竹原市



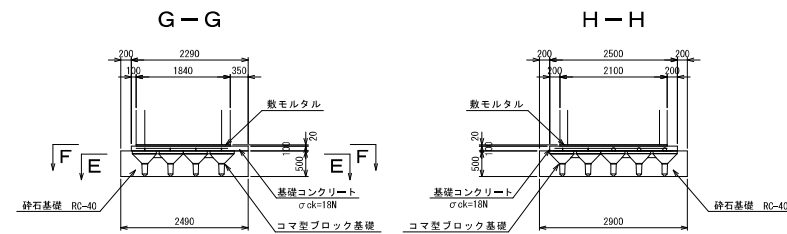
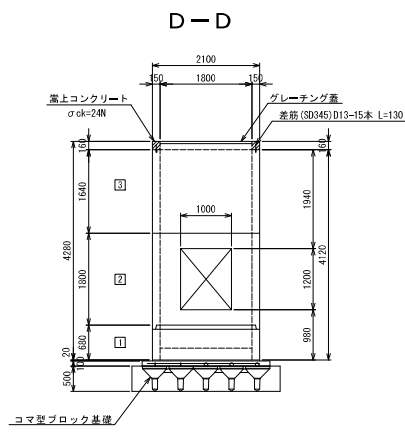
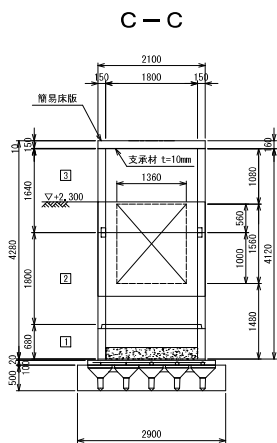
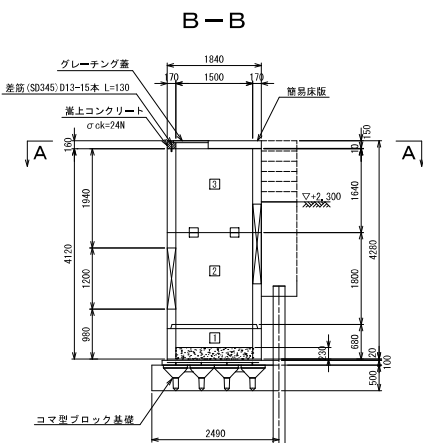
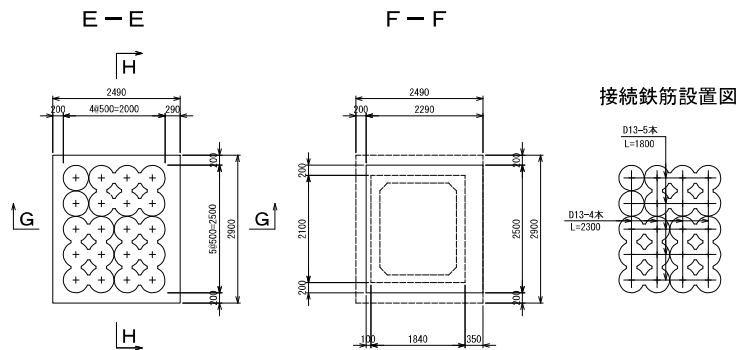
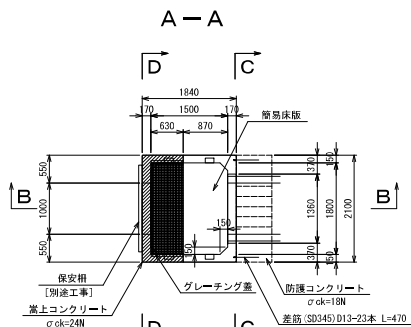




# 流入可動堰構造図(2) S=1:50

## 矩形マンホール(ボックスカルバート)割付図 [参考図]

## コマ型ブロック基礎構造図 [参考図]



### ボックスカルバート数量表

名称	規格	番号	数量
ボックスカルバート	L0 = 680	1	1本
(B) 1800 × (H) 1500	LM = 1800 開口1000 × 1200 開口1360 × 1560/2 差筋付	2	1本
t=25	LMO = 1640 開口1360 × 1560/2 差筋付	3	1本
合計			3本

L0: 凸換しの平面斜切及び短切 LM: 凹換しの平面斜切及び短切 LMO: 凹凸無し平面斜切及び短切  
 ※差筋はボックスカルバート付属(φ250)とする。

### 床版数量表

名称	規格	数量
簡易床版	(L)2100 × (B)1040 × (t)150 開口φ114	1枚

※グレーティング蓋は簡易床版付属とする。

### 支承材料表

名称	規格	算式	数量
支承材	B=150 t=10mm	1,040 × 2	2,080 m
	B=170 t=10mm	1,800 × 1	1,800 m

### 嵩上コンクリート数量表

名称	規格	算式	数量
コンクリート	σck = 24N/mm <sup>2</sup>	(2,10 × 0,80 - 1,80 × 0,63) × 0,160	0,087 m <sup>3</sup>
同上型枠		(0,800 × 2,100 + 0,300) × 0,160 + (0,630 + 1,800 + 0,630) × 0,160	1,082 m <sup>2</sup>
差筋	SD345 D13 L=130	-	15本

※差筋はボックスカルバート付属(φ250)とする。

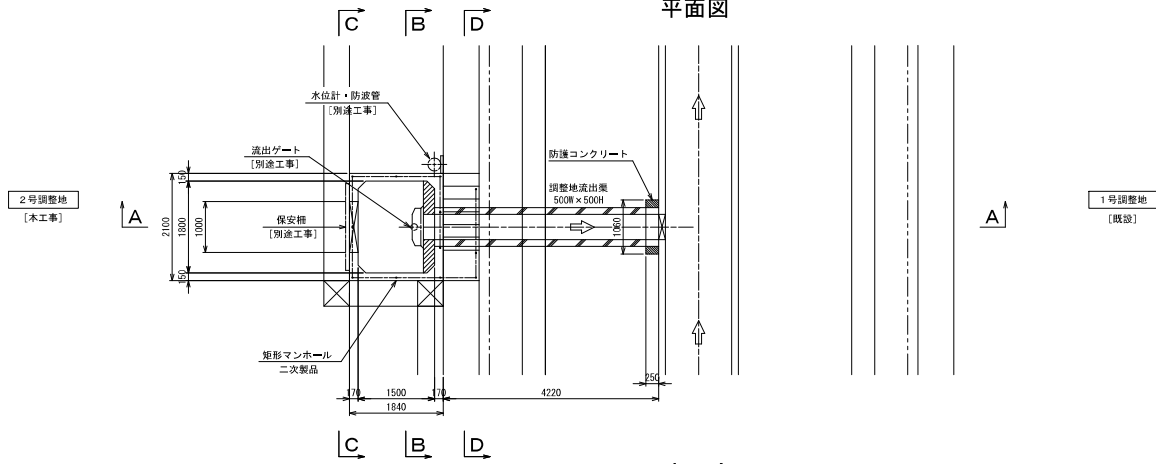
### 材料表

品名	規格	算式	数量
コマ型ブロック基礎	φ500型(連結3×7)	-	3 基
コマ型ブロック基礎	φ500型(単独3×7)	-	2 基
基礎コンクリート	18N/mm <sup>2</sup>	2,29 × 2,50 × 0,10	0,573 m <sup>3</sup>
基礎コンクリート型枠		(2,29 × 2 + 2,50) × 0,10	0,708 m <sup>2</sup>
砕石基礎	RC-40	2,49 × 2,90 × 0,50 - (2 × 0,02774 + 3 × 0,1715)	3,041 m <sup>3</sup>
接続鉄筋	D13 L=1800	-	5 本
	D13 L=2300	-	4 本
合計	D13	(1,80 × 5 + 2,30 × 4) × 0,995	18,109 kg

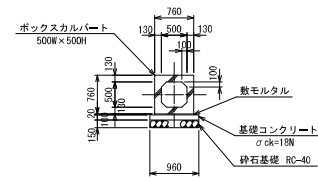
工事名	大王地区浸水対策事業 大王調整池整備工事(3期工事)		
図面名	流入可動堰構造図(2)		
作成年月	令和6年9月		
縮尺	1:50	図面番号	41 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

# 流出ゲート構造図(1) S=1:50

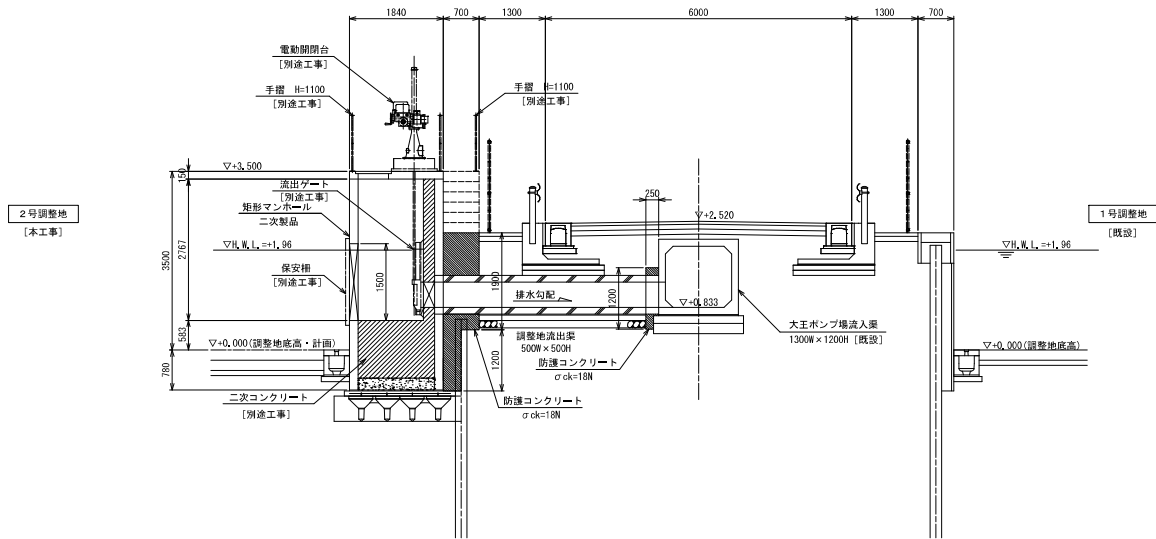
平面図



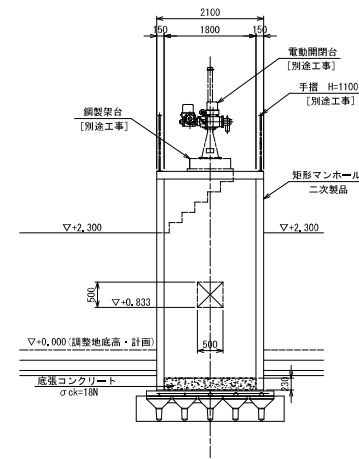
調整地流入渠構造図



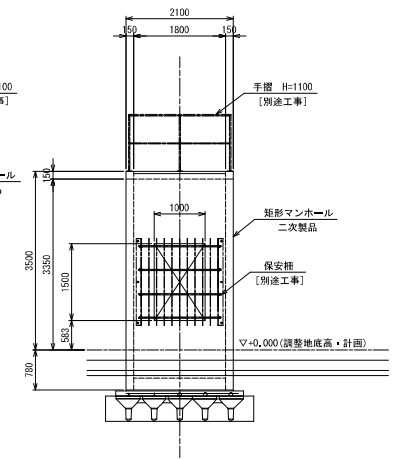
A-A



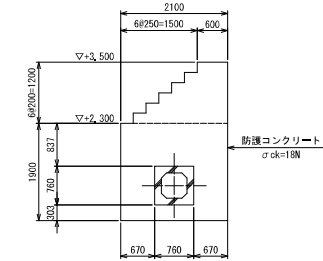
B-B



C-C



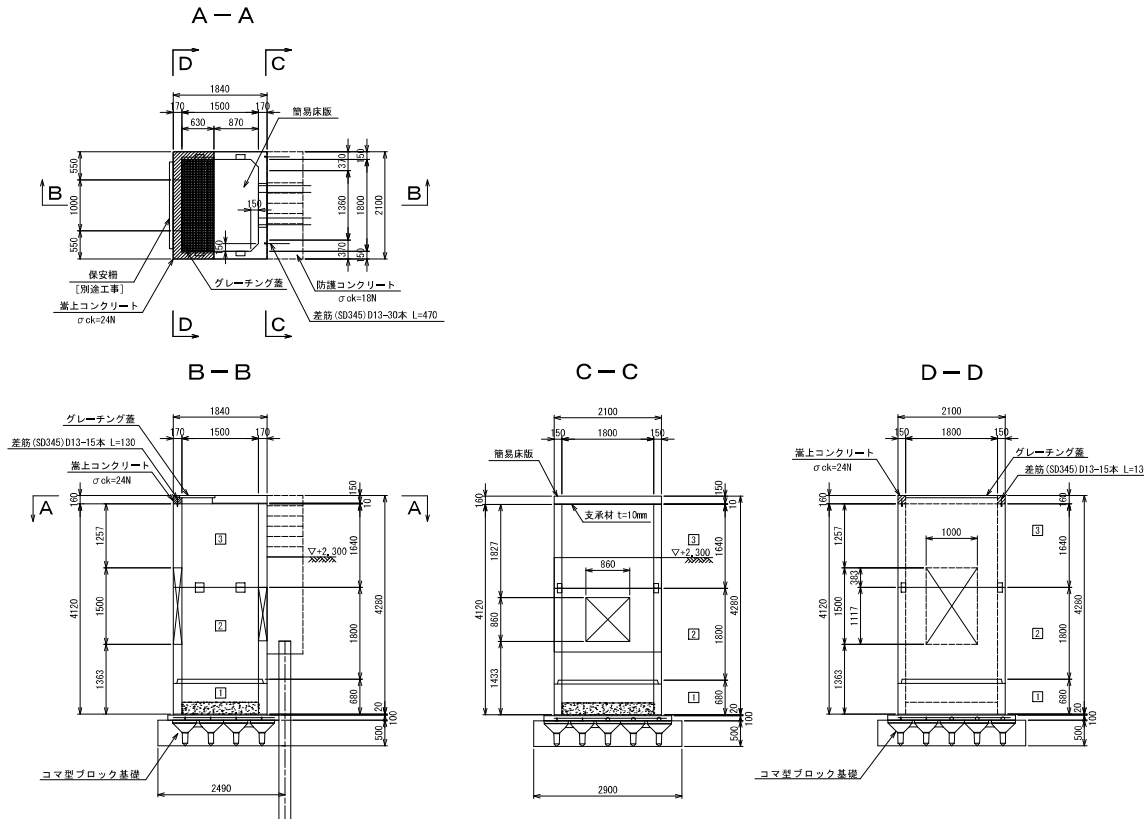
D-D



工事名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事(3別工事)
図面名	流出ゲート構造図(1)
作成年月	令和6年9月
縮尺	1:50 図面番号 42 / 45
会社名	株式会社イミプラン
事業者名	竹原市

# 流出ゲート構造図(2) S=1:50

## 矩形マンホール(ボックスカルバート)割付図 [参考図]



### ボックスカルバート数量表

名称	規格	番号	数量
ボックスカルバート (B)1800×(H)1500 I=25	L0 = 680	1	1本
	LM = 1800 開口860×860 開口1000×1500/2 差筋付	2	1本
	LMO = 1640 開口1000×1500/2 差筋付	3	1本
合計			3本

L0: 凸残しの平面斜切及び短切 LM: 凹残しの平面斜切及び短切 LMO: 凹凸無しの場合の平面斜切及び短切  
※差筋はボックスカルバート付属(φ250)とする。

### 床版数量表

名称	規格	数量
簡易床版	(L)2100×(B)1040×(C)150 開口φ114	1枚

※グレーチング蓋は簡易床版付属とする。

### 支承材料表

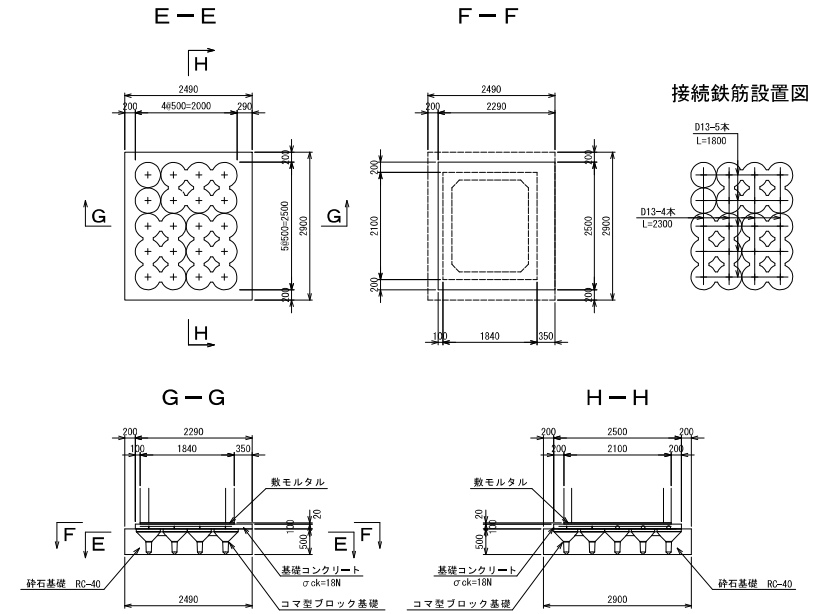
名称	規格	算式	数量
支承材	B=150 t=10mm	1,040×2	2,080 m
	B=170 t=10mm	1,800×1	1,800 m

### 嵩上コンクリート数量表

名称	規格	算式	数量
コンクリート	σck = 24N/mm <sup>2</sup>	(2,10×0,80+1,30×0,63)×0,160	0,867 m <sup>3</sup>
同上型枠		(0,800+2,100+0,800)×0,160	1,082 m <sup>2</sup>
差筋	SD345 D13 L=130	(0,630+1,800+0,630)×0,160	15本

※差筋はボックスカルバート付属(φ250)とする。

## コマ型ブロック基礎構造図 [参考図]



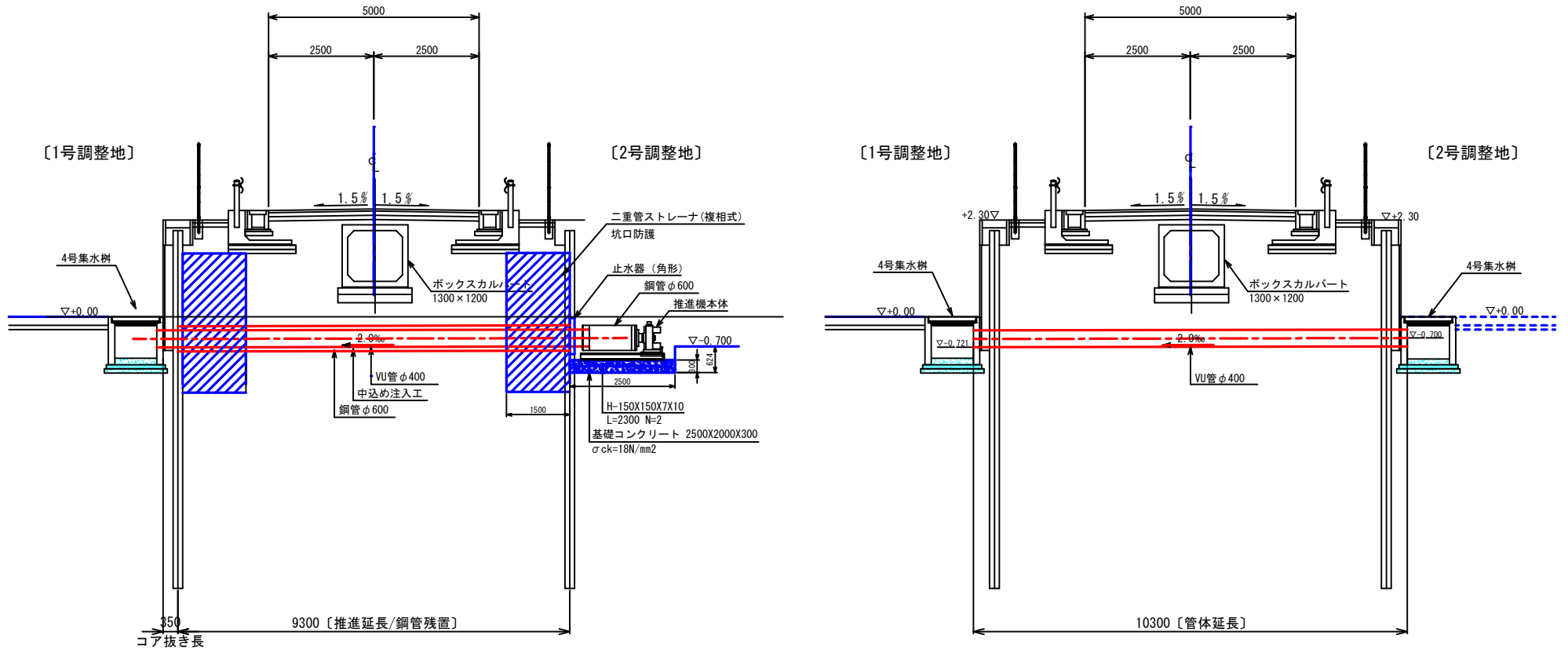
### 材料表

品名	規格	算式	数量
コマ型ブロック基礎	φ500型(連結347')	-	3 基
コマ型ブロック基礎	φ500型(単独347')	-	2 基
基礎コンクリート	18N/mm <sup>2</sup>	2,29×2,50×0,10	0,573 m <sup>3</sup>
基礎コンクリート型枠		(2,29×2+2,50)×0,10	0,708 m <sup>2</sup>
砕石基礎	RC-40	2,49×2,90×0,50-	3,041 m <sup>3</sup>
		(2×0,02774+3×0,1715)	
接続鉄筋	D13 L=1800	-	5 本
	D13 L=2300	-	4 本
合計	D13	(1,80×5+2,30×4)×0,995	18,109 kg

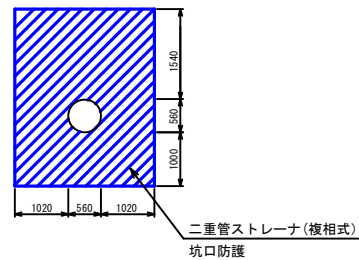
工事名	大王地区浸水対策事業 大王調整池整備工事(3期工事)		
図面名	流出ゲート構造図(2)		
作成年月	令和6年9月		
縮尺	1:50	図面番号	43 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

【図面縮尺は表示の50%とする】

連通管推進工詳細図 S=1:50



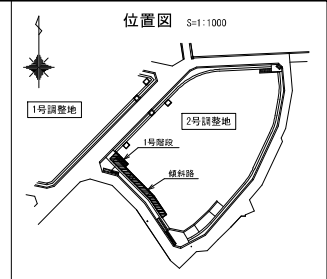
補助工法  
断面図



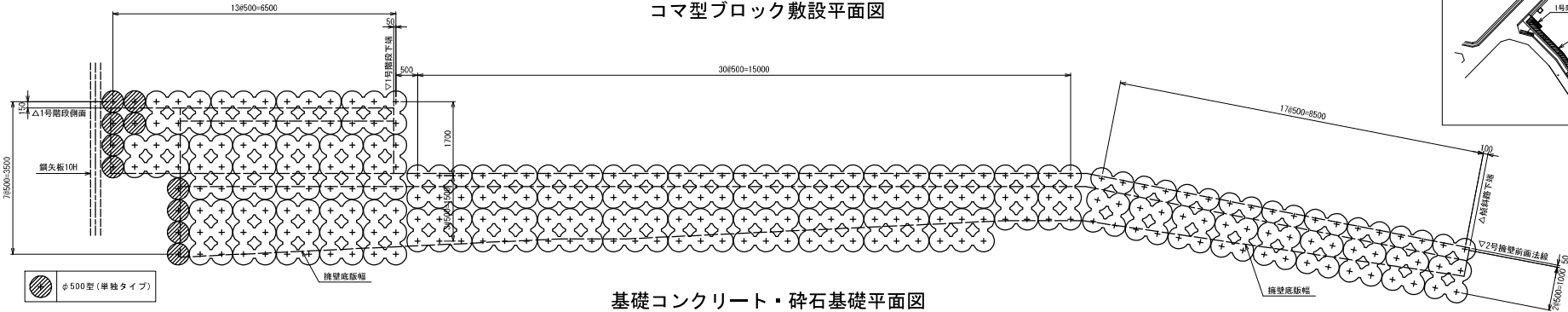
工事名	大正地区浸水対策事業 大王調整地整備工事(3期工事)		
図面名	連通管推進工詳細図		
作成年月	令和6年9月		
縮尺	1:50	図面番号	参-2
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

コマ型ブロック基礎構造図(1) [参考図] S=1:50

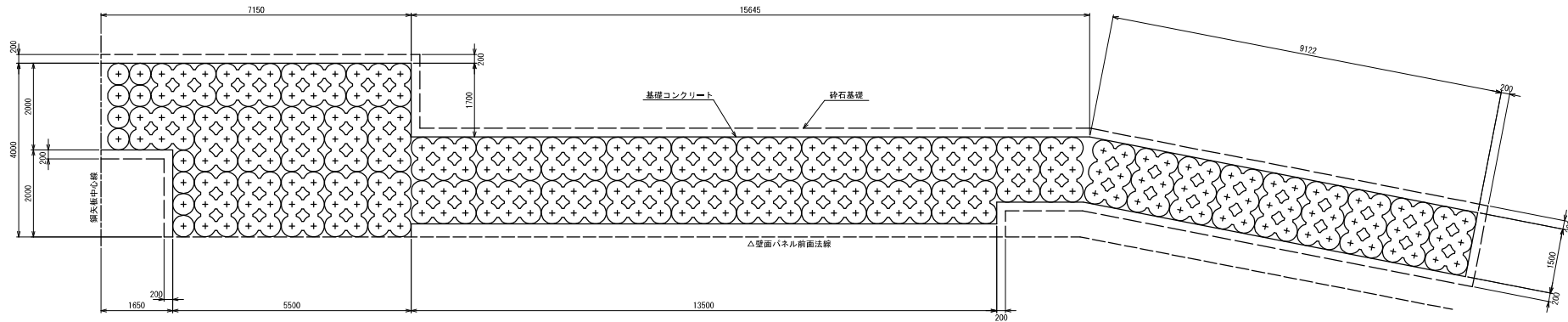
[1号階段・傾斜路2号擁壁部]



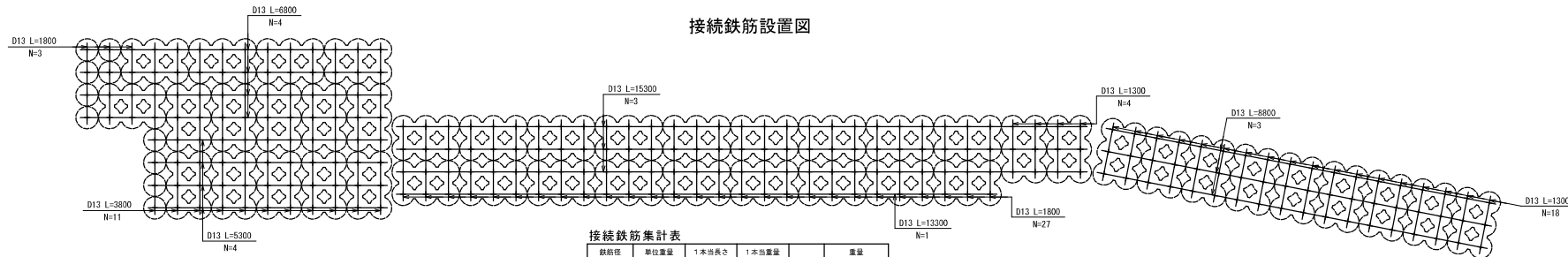
コマ型ブロック敷設平面図



基礎コンクリート・砕石基礎平面図



接続鉄筋設置図



材料表

品名	規格	算式	数量	単位
コマ型ブロック基礎	φ500型(単独タイプ)	—	44	基
コマ型ブロック基礎	φ500型(単独タイプ)	—	10	基
基礎コンクリート	18N/m <sup>2</sup>	68.98m <sup>2</sup> × 0.10	6.90	m <sup>3</sup>
基礎コンクリート型枠		64.04m × 0.10	6.40	m <sup>2</sup>
砕石基礎	RC-40	83.14m <sup>2</sup> × 0.50 (44 × 0.1715 + 10 × 0.02774)	33.75	m <sup>3</sup>
接続鉄筋	D13	—	257.12	kg

※基礎コンクリート、砕石基礎平面積はCAD測定による

接続鉄筋集計表

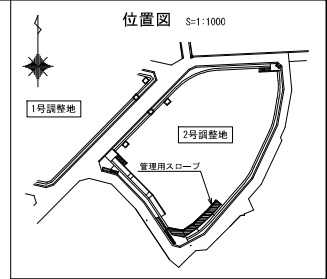
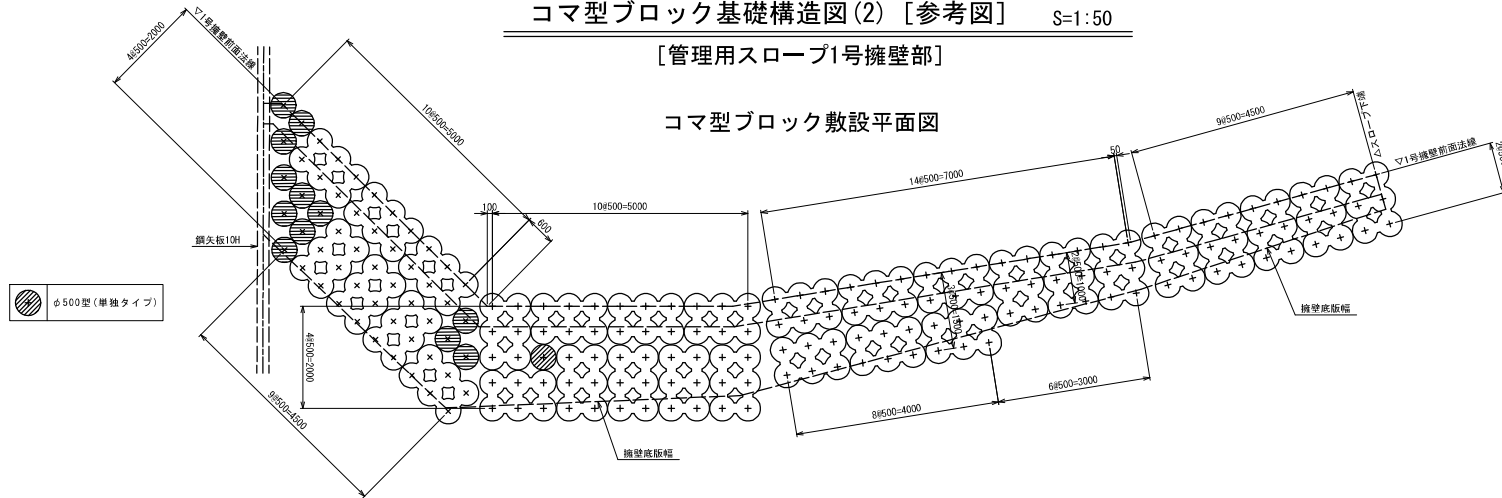
鉄筋径	単位重量	1本当長さ	1本当重量	本数	重量
(mm)	(kg/m)	(mm)	(kg)		(kg)
D13	0.995	1300	1.294	22	28.47
D13	0.995	1900	1.791	30	53.73
D13	0.995	3800	3.781	11	41.59
D13	0.995	5300	5.274	4	21.10
D13	0.995	6800	6.766	4	27.06
D13	0.995	8800	8.756	3	26.27
D13	0.995	13300	13.234	1	13.23
D13	0.995	15300	15.224	3	45.67
				合計	257.12

工事名	大玉地区治水対策事業 大玉調整地整備工事(3期工事)		
図面名	コマ型ブロック基礎構造図(1)		
作成年月	令和6年9月		
縮尺	1:50	図面番号	参-3
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

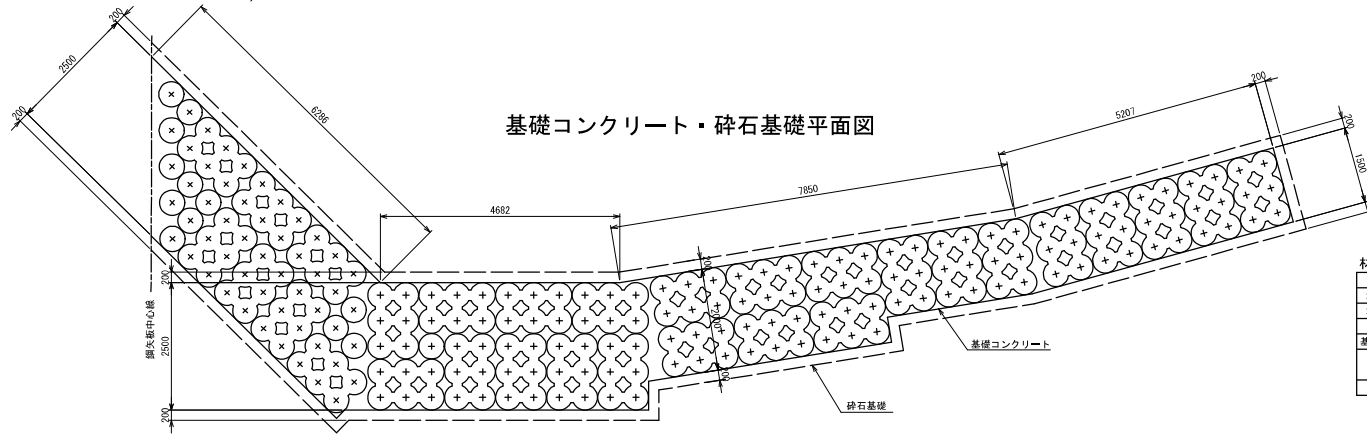
コマ型ブロック基礎構造図(2) [参考図] S=1:50

[管理用スロープ1号擁壁部]

コマ型ブロック敷設平面図



基礎コンクリート・砕石基礎平面図

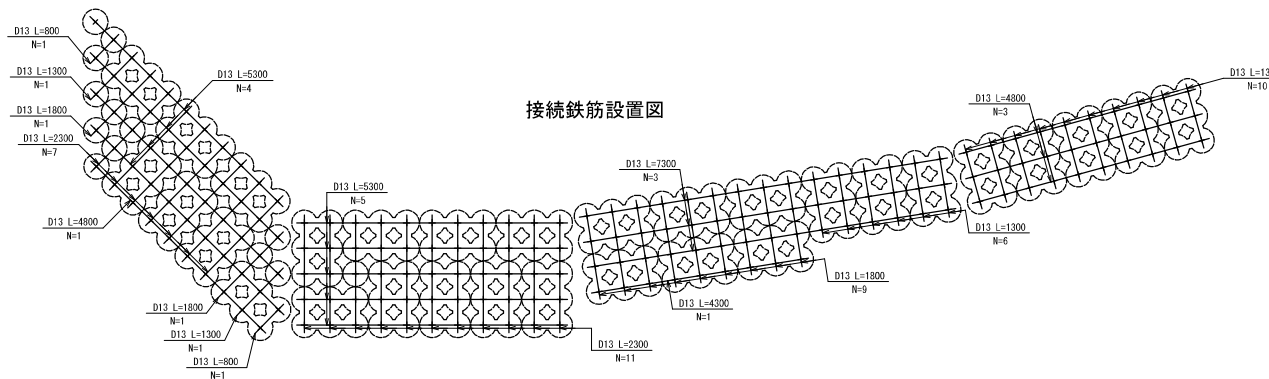


材料表

品名	規格	算式	数量
コマ型ブロック基礎	φ500型(溝継タイプ)	—	30 基
コマ型ブロック基礎	φ500型(単独タイプ)	—	13 基
基礎コンクリート	18N/m <sup>2</sup>	49.97m <sup>2</sup> ×0.10	4.98 m <sup>3</sup>
基礎コンクリート型枠		50.85m <sup>2</sup> ×0.10	5.09 m <sup>2</sup>
砕石基礎	RC-40	60.97m <sup>2</sup> ×0.55-(30×0.1715+13×0.02774)	24.53 m <sup>3</sup>
接続鉄筋	D13	—	178.42 Kg

※基礎コンクリート、砕石基礎平面積はCAD測定による

接続鉄筋設置図



接続鉄筋集計表

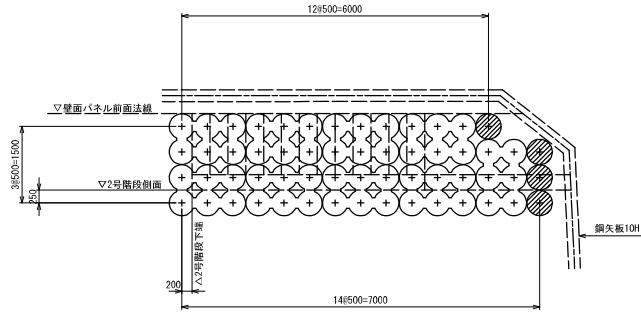
鉄筋径	単位重量	1本当長さ		本数	重量
		(mm)	(Kg/m)		
D13	0.995	900	0.796	2	1.59
D13	0.995	1300	1.294	18	23.29
D13	0.995	1800	1.791	11	19.70
D13	0.995	2300	2.289	18	41.20
D13	0.995	4300	4.279	1	4.28
D13	0.995	4800	4.776	4	19.10
D13	0.995	5300	5.274	9	47.47
D13	0.995	7300	7.264	3	21.79
				合計	178.42

工事名	大正地区浸水対策事業 大正調整地整備工事(3期工事)		
図面名	コマ型ブロック基礎構造図(2)		
作成年月	令和6年9月		
縮尺	1:50	図面番号	参-4
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

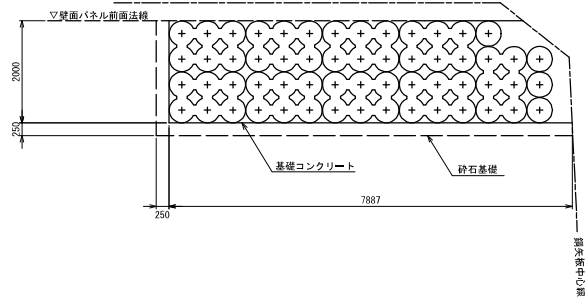
コマ型ブロック基礎構造図(3) [参考図] S=1:50

[2号階段部]

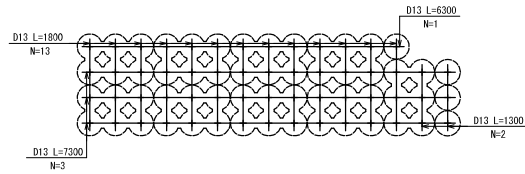
コマ型ブロック敷設平面図



基礎コンクリート・砕石基礎平面図



接続鉄筋設置図



φ500型(単独タイプ)

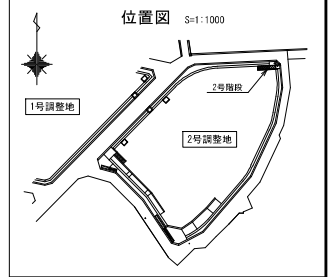
材料表

品名	規格	算式	数量
コマ型ブロック基礎	φ500型(連結タイプ)	—	9 基
コマ型ブロック基礎	φ500型(単独タイプ)	—	4 基
基礎コンクリート	18N/mm <sup>2</sup>	15.37m <sup>2</sup> × 0.10	1.54 m <sup>3</sup>
基礎コンクリート型枠		9.89m × 0.10	0.99 m <sup>2</sup>
砕石基礎	RC-40	17.90m <sup>2</sup> × 0.50- (9 × 0.1715 + 4 × 0.02774)	7.30 m <sup>3</sup>
接続鉄筋	D13	—	53.93 Kg

※基礎コンクリート、砕石基礎平面積はCAD測定による

接続鉄筋集計表

鉄筋径	単位重量	1本当長さ	1本当重量	本数	重量
(mm)	(Kg/m)	(mm)	(Kg)		(Kg)
D13	0.995	1300	1.294	2	2.59
D13	0.995	1800	1.791	13	23.28
D13	0.995	6300	6.269	1	6.27
D13	0.995	7300	7.264	3	21.79
				合計	53.93



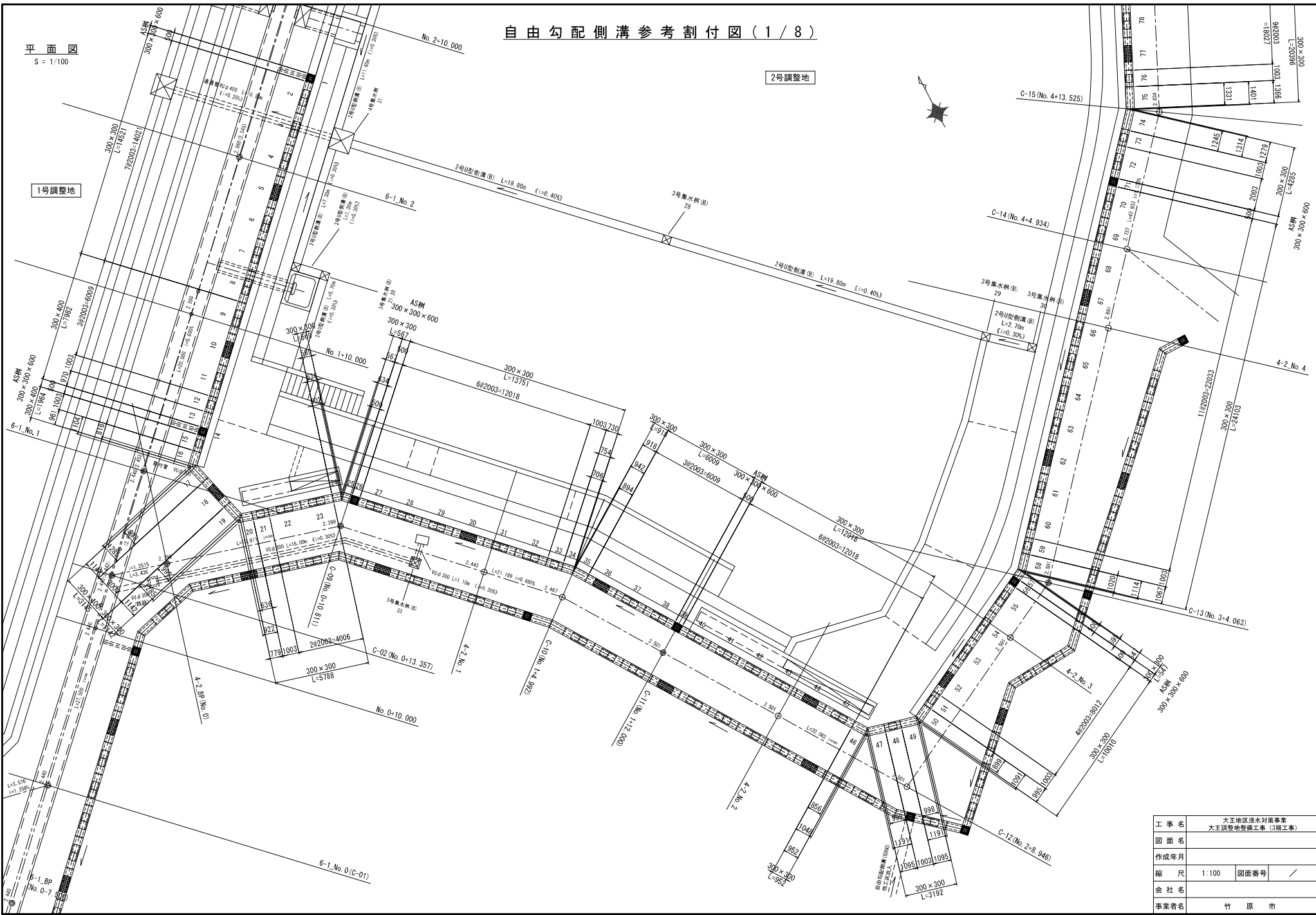
工事名	大玉地区治水対策事業 大玉調整地整備工事(3期工事)		
図面名	コマ型ブロック基礎構造図(3)		
作成年月	令和6年9月		
縮尺	1:50	図面番号	参-5
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

自由勾配側溝参考割付図(1/8)

平面図  
S = 1/100

2号調整地

1号調整地

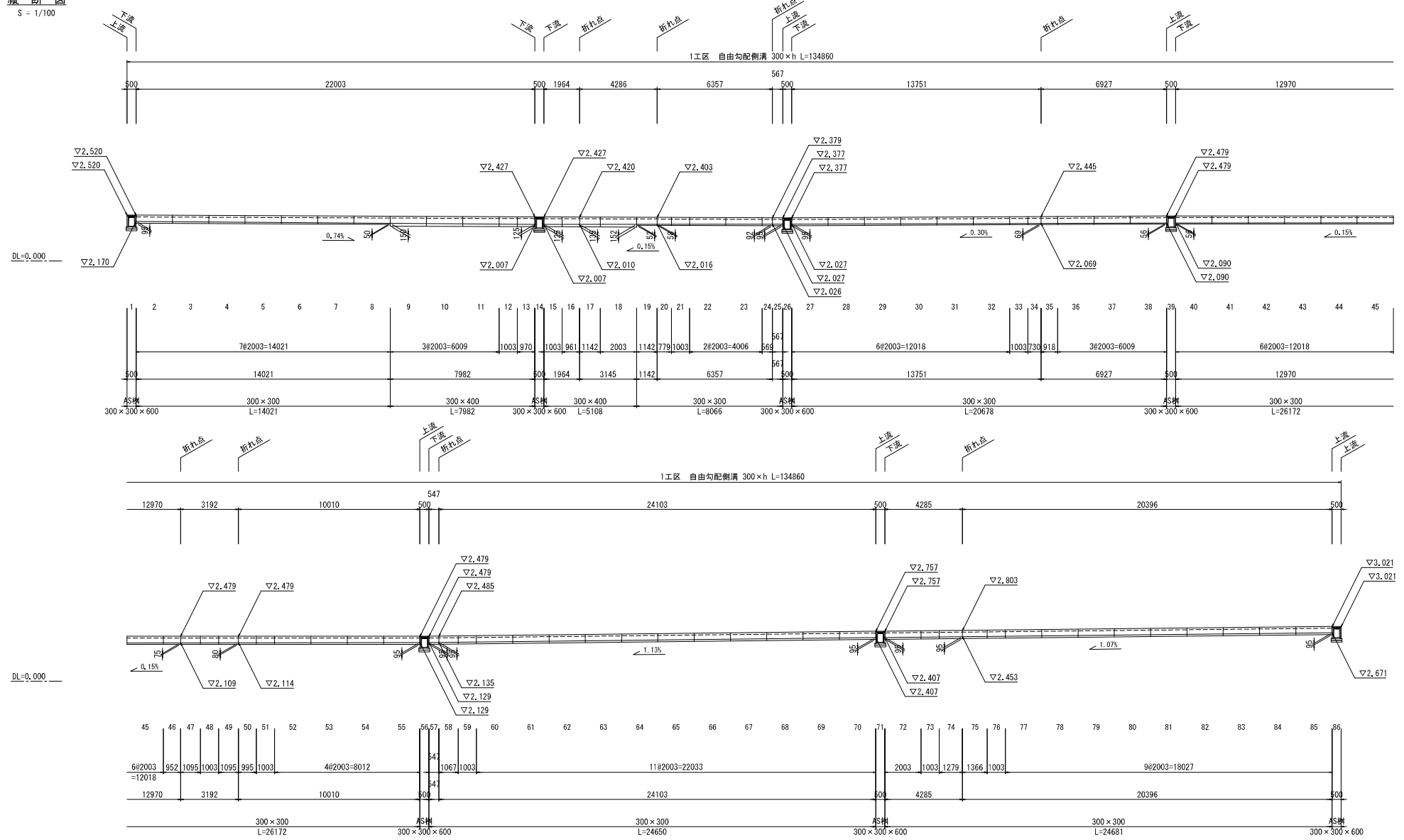


工事名	大王地区浸水対策事業
図面名	大王調整地整備工事(3期工事)
作成年月	
縮尺	1:100 図面番号 /
会社名	
事業者名	竹原市



# 自由勾配側溝参考割付図 (3 / 8)

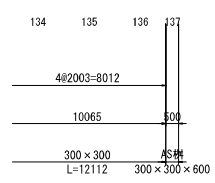
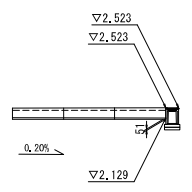
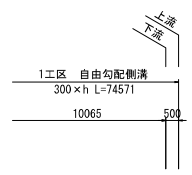
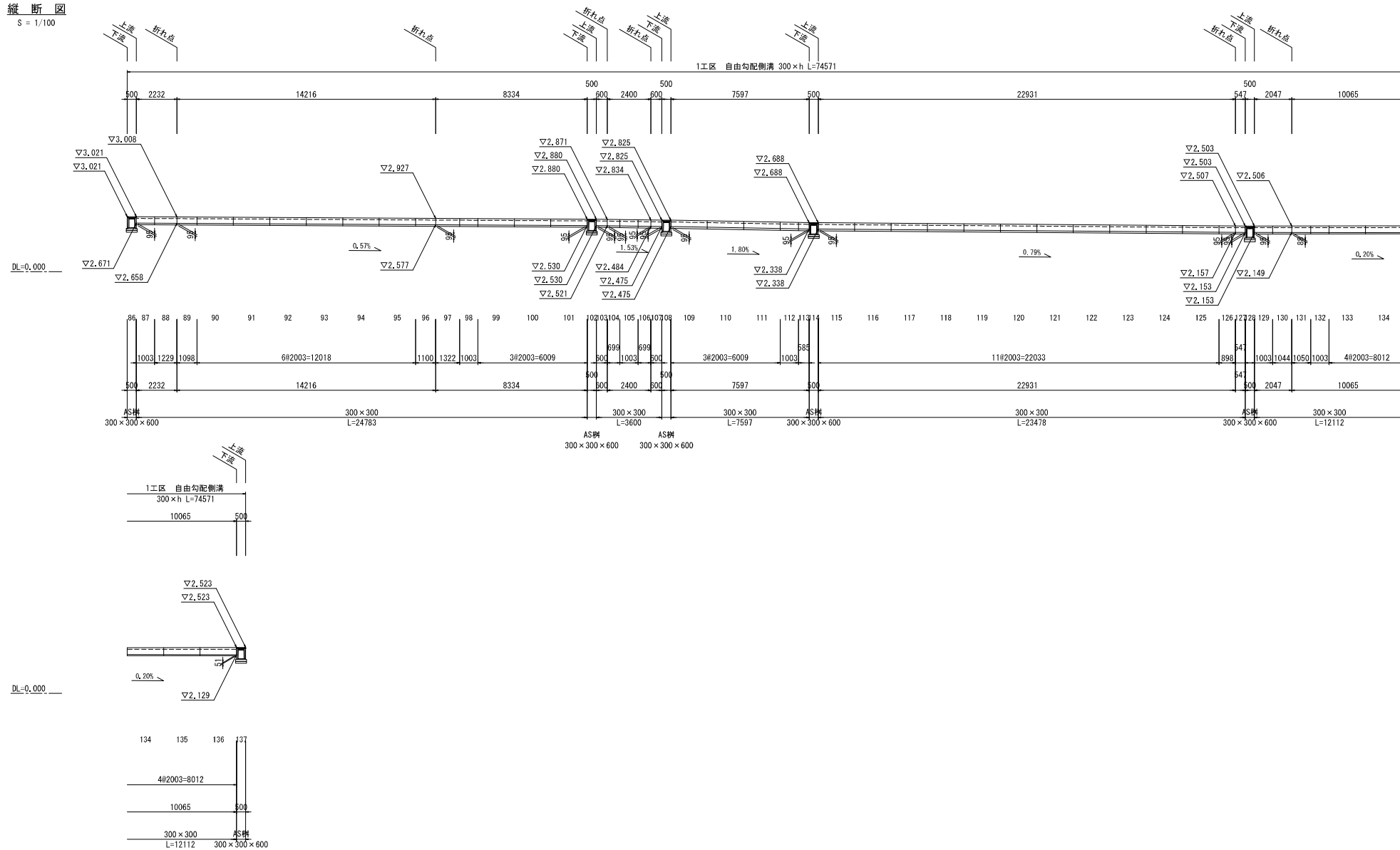
縦断図  
S = 1/100



工事名	大王地区排水対策事業 大王調整池整備工事(3期工事)		
図面名			
作成年月			
縮尺	1:100	図面番号	/
会社名			
事業者名	竹原市		

# 自由勾配側溝参考割付図 (4 / 8)

縦断面  
S = 1/100



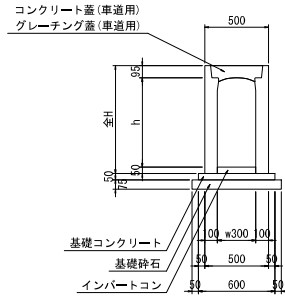
工事名	大玉地区浸水対策事業 大玉調整池整備工事 (3期工事)		
図面名			
作成年月			
縮尺	1:100	図面番号	/
会社名			
事業者名	竹原市		

# 自由勾配側溝参考割付図(5/8)

標準断面図

S = 1/20

標準 w300×h



※暗渠製品は、蓋掛がありません

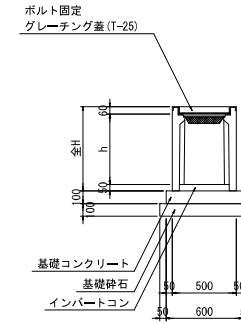
標準用寸法表(1工区)

規格	全H	製品幅 B
w300×h300	445	500
w300×h400	545	500

標準断面図

S = 1/20

AS樹  
300×300×h



AS樹寸法表(1工区)

規格	全H	製品幅 B
300×300×600	660	500

自由勾配側溝数量表(1工区)

名称	規格	長さ	タイプ	数量	単位	製品番号	備考		
FV側溝	300×300	2000	標準	76	本				
		1000	標準	13	本				
		996/1282	暗渠	1	本	19			
		919/633	暗渠	1	本	20			
		633/499	暗渠	1	本	24			
		497/631	暗渠	1	本	25			
		751/703	暗渠	1	本	34			
		891/939	暗渠	1	本	35			
		853/1045	暗渠	1	本	46			
		1188/996	暗渠	1	本	47			
		995/1188	暗渠	1	本	49			
		896/1088	暗渠	1	本	50			
		497/592	暗渠	1	本	57			
		1111/1017	暗渠	1	本	58			
		1242/1311	暗渠	1	本	74			
		1398/1328	暗渠	1	本	75			
		1194/1259	暗渠	1	本	88			
		1128/1063	暗渠	1	本	89			
		1063/1131	暗渠	1	本	96			
		1354/1285	暗渠	1	本	97			
		497/697	暗渠	1	本	103			
		796/596	暗渠	1	本	104			
		595/796	暗渠	1	本	106			
		697/497	暗渠	1	本	107			
		582	暗渠	1	本	113			
		848/942	暗渠	1	本	126			
		592/497	暗渠	1	本	127			
		994/1089	暗渠	1	本	130			
		1094/999	暗渠	1	本	131			
		合計	300×300	2000	標準	4	本		
				1000	標準	2	本		
				967	暗渠	1	本	13	
				815/1101	暗渠	1	本	16	
1282/995	暗渠			1	本	17			
合計				125	本				
蓋板	300	500	車道	144	枚				
		500	車道・T-25	1	枚				
		1000	車道・T-25	15	枚				

※施工の伸びを、3mm見込んでいます。

※斜切製品は、斜切角度の緩い方から見て、L=左側/右側とします。

自由勾配側溝材料表(1工区)

名称	規格	数量	単位
インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	5.450	m3
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	6.088	m3
同上型枠	均し基礎型枠	20.293	m2
基礎砕石	RC-40	142.050	m2

AS樹数量表(1工区)

名称	規格	長さ	タイプ	数量	単位	製品番号	備考
AS樹	300×300×600			12	本	1, 14, 26, 39, 56, 71, 86, 102, 108, 114, 128, 137	
合計				12	本		
グレーチング	300×300		ボルト固定(細目)	12	枚		

※施工の伸びを、見込んでいません。

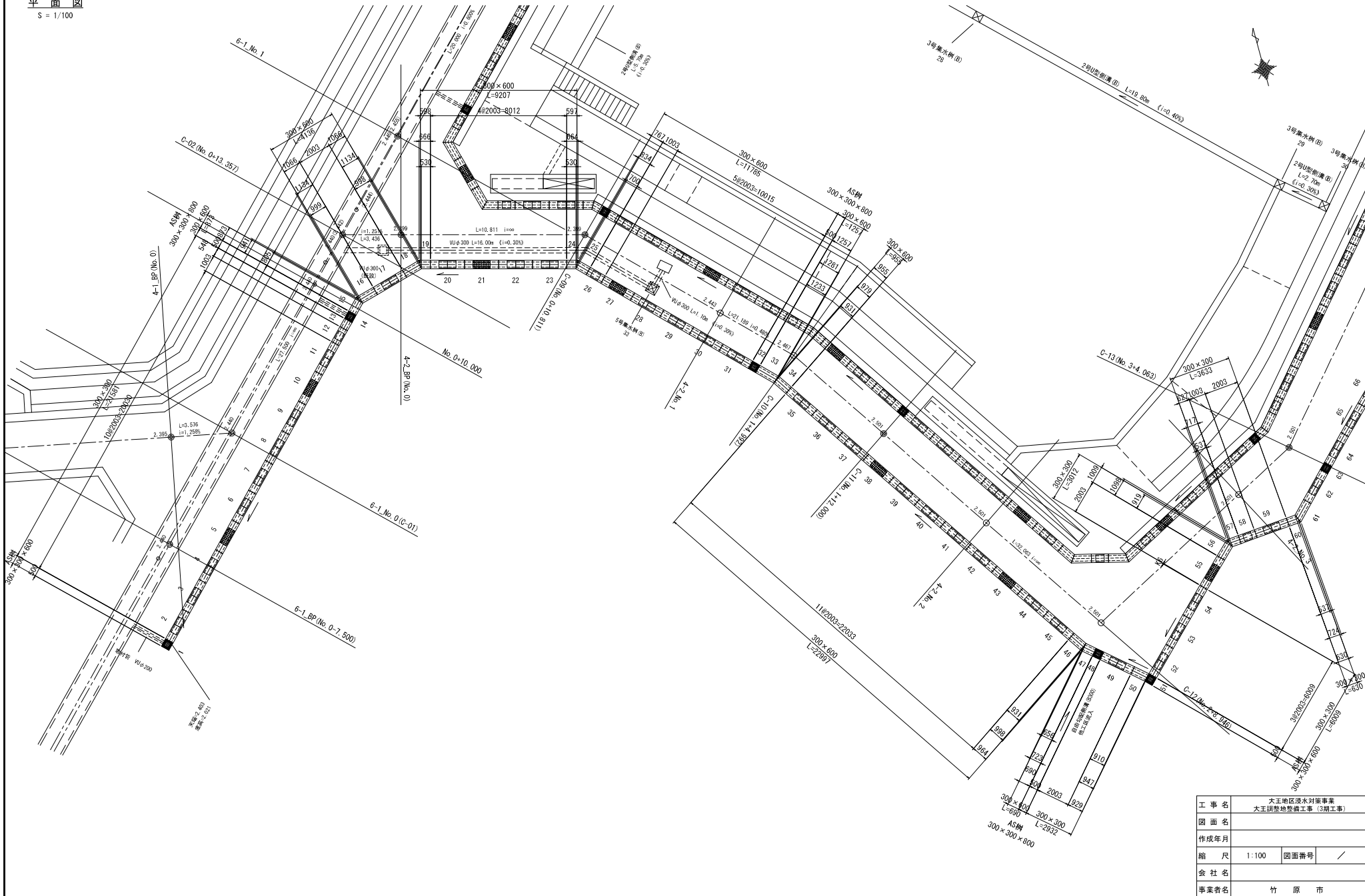
AS樹材料表(1工区)

名称	規格	数量	単位
インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.054	m3
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.432	m3
同上型枠	均し基礎型枠	2.880	m2
基礎砕石	RC-40	5.880	m2

工事名	大正地区浸水対策事業 大正地区地盤補修工事(3期工事)		
図面名			
作成年月			
縮尺	図面番号	/	
会社名			
事業者名	竹原市		

自由勾配側溝参考割付図(6/8)

平面図  
S = 1/100

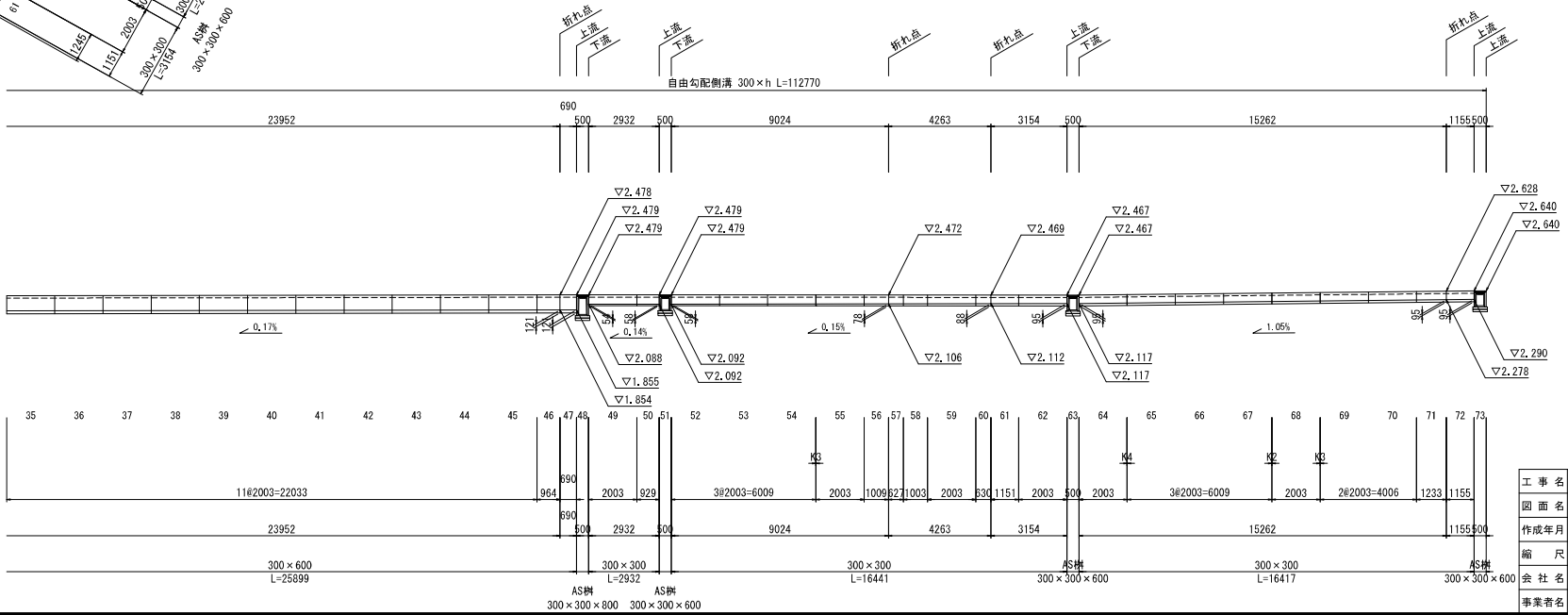
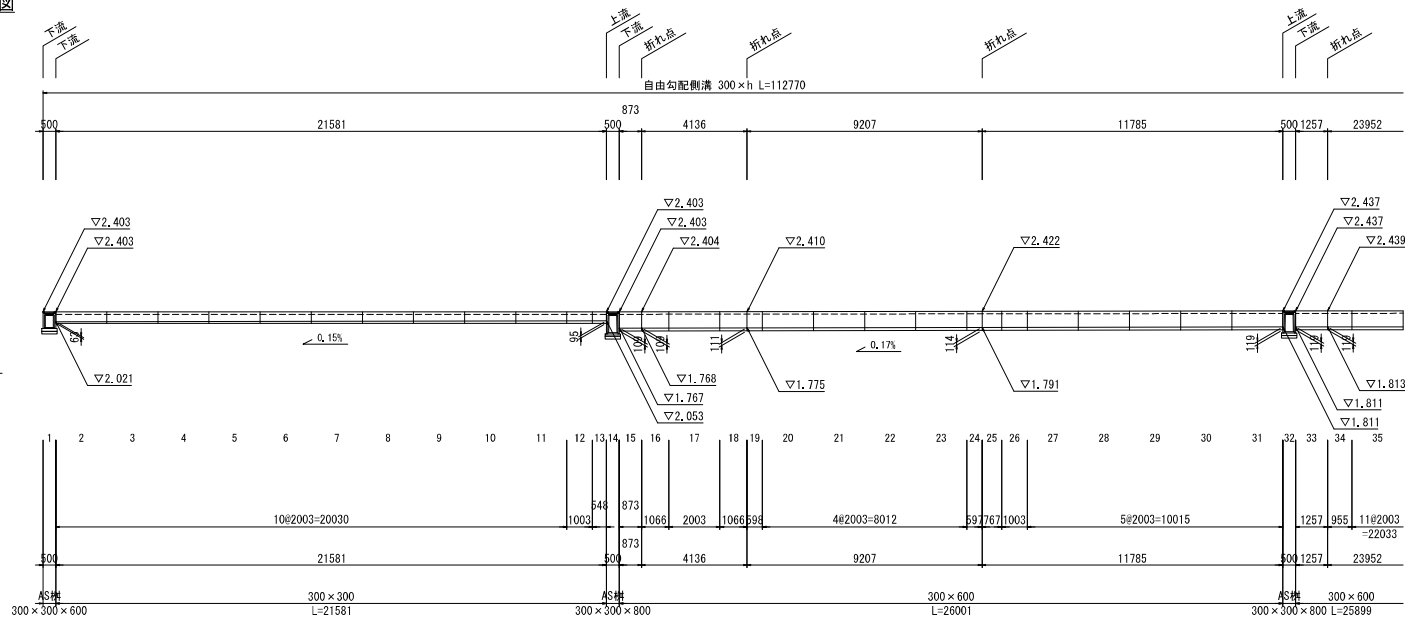
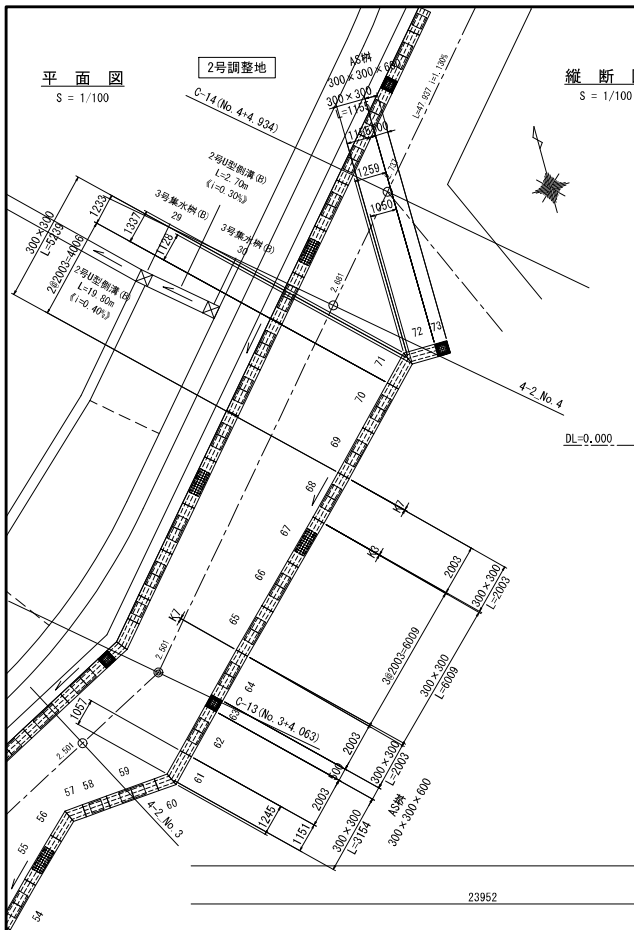


工事名	大正地区浸水対策事業 大正調整地整備工事(3期工事)		
図面名			
作成年月			
縮尺	1:100	図面番号	/
会社名			
事業者名	竹原市		

# 自由勾配側溝参考割付図(7/8)

平面図  
S = 1/100

縦断面図  
S = 1/100



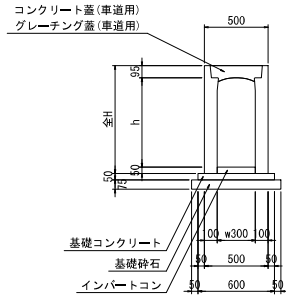
工事名	大王地区浸水対策事業		
図面名	大王調整地整備工事 (3期工事)		
作成年月			
縮尺	1:100	図面番号	/
会社名			
事業者名	竹原市		

# 自由勾配側溝参考割付図(8/8)

標準断面図

S = 1/20

標準 w300 × h



標準用寸法表(2工区)

規格	全H	製品幅 B
w300 × h300	445	500
w300 × h600	745	500

※暗渠製品は、蓋掛がありません

自由勾配側溝数量表(2工区)

名称	規格	長さ	タイプ	数量	単位	製品番号	備考
FV側溝	300 × 300	2000	標準	24	本		
		1000	標準	2	本		
		545	暗渠	1	本	13	
		944/907	暗渠	1	本	50	
		1095/916	暗渠	1	本	56	
		534/714	暗渠	1	本	57	
		534/721	暗渠	1	本	60	
		1242/1054	暗渠	1	本	61	
		1334/1125	暗渠	1	本	71	
		1047/1256	暗渠	1	本	72	
	300 × 600	2000	標準	21	本		
		1000	標準	1	本		
		938/802	暗渠	1	本	15	
		996/1131	暗渠	1	本	16	
		1131/995	暗渠	1	本	18	
		527/663	暗渠	1	本	19	
		661/527	暗渠	1	本	24	
		697/831	暗渠	1	本	25	
		1278/1230	暗渠	1	本	33	
		928/976	暗渠	1	本	34	
928/995	暗渠	1	本	46			
		720/653	暗渠	1	本	47	
合計				66	本		
蓋版	300	500	車道	77	枚		
グレーチング		1000	車道・T-25	8	枚		

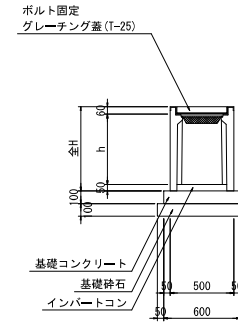
※施工の伸びを、3mm見込んでいます。

※斜切製品は、斜切角度の縦い方から見て、L=左側/右側とします。

標準断面図

S = 1/20

AS樹  
300 × 300 × h



AS樹寸法表(2工区)

規格	全H	製品幅 B
300 × 300 × 600	660	500
300 × 300 × 800	860	500

自由勾配側溝材料表(1工区)

名称	規格	数量	単位
インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	3,255	m3
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	3,278	m3
同上型枠	均し基礎型枠	10,927	m2
基礎砕石	RC-40	76,490	m2

AS樹数量表(1工区)

名称	規格	長さ	タイプ	数量	単位	製品番号	備考
AS樹	300 × 300 × 600			4	本	1,51,63,73	
	300 × 300 × 800			3	本	14,32,48	
合計				7	本		
グレーチング	300 × 300		ボルト固定(細目)	7	枚		

※施工の伸びを、見込んでいません。

AS樹材料表(2工区)

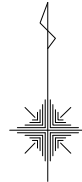
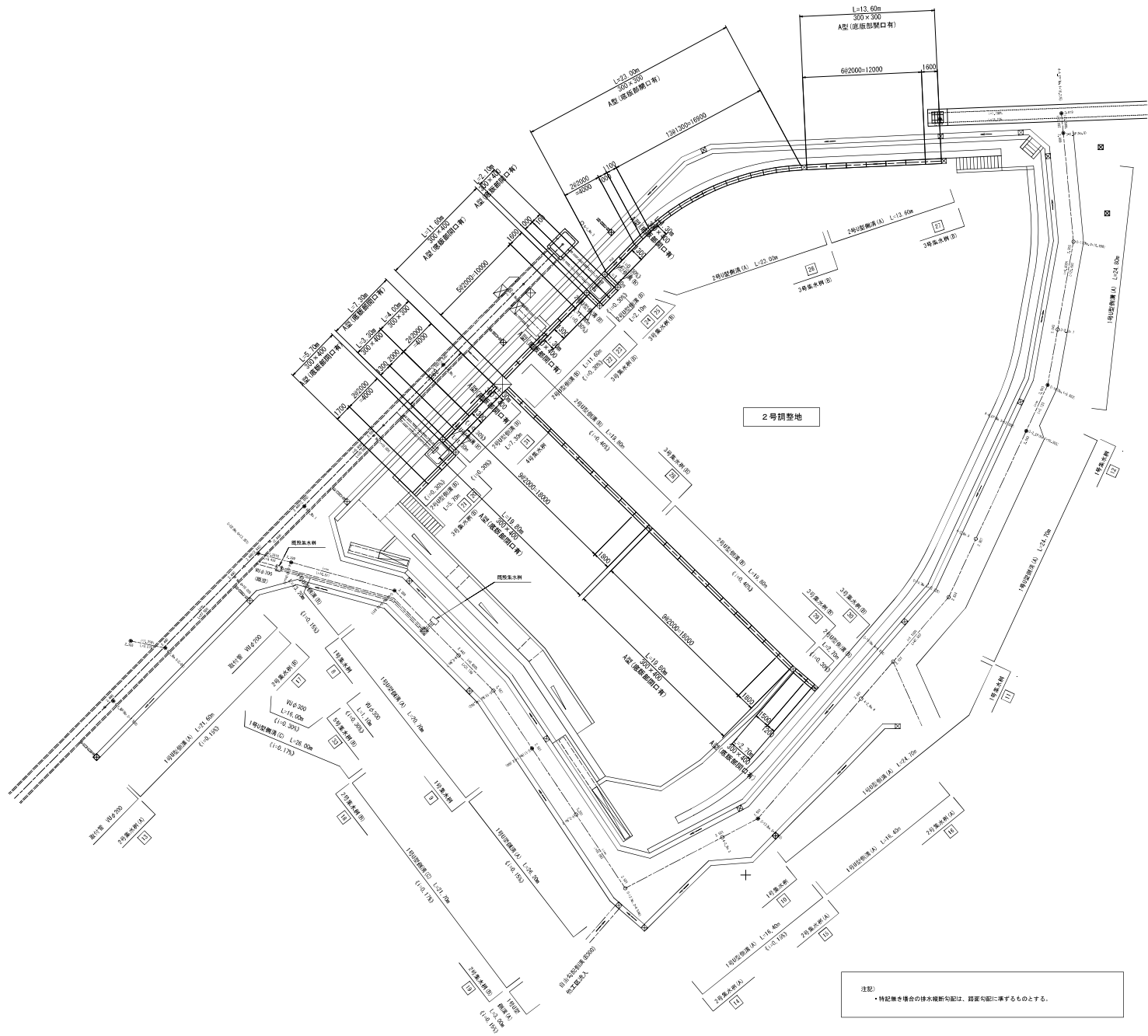
名称	規格	数量	単位
インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0,032	m3
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0,252	m3
同上型枠	均し基礎型枠	1,680	m2
基礎砕石	RC-40	3,430	m2

工事名	大王地区浸水対策事業 大王調整池整備工事(3期工事)		
図面名			
作成年月			
縮尺	図面番号	/	
会社名			
事業者名	竹原市		

排水計画平面図

S=1:200

NO. 48284-1-1  
物30786

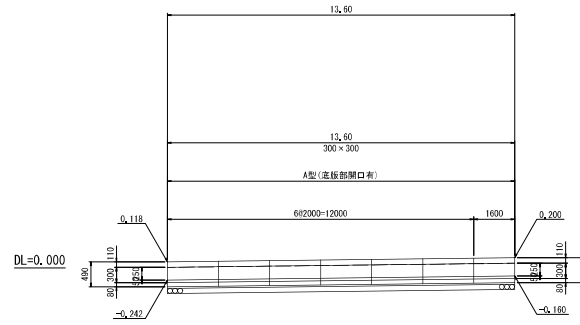


注記  
・特記なき場合の排水継手勾配は、断面勾配に準ずるものとする。

工事名	大正地区排水対策事業 大正調整池整備工事 (3期工事)		
図面名	排水計画平面図		
作成年月	令和 6 年 9 月		
縮尺	1:200	図面番号	26 / 45
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹 原 市		

# 自由勾配側溝

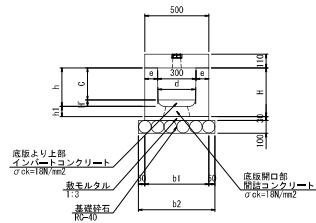
縦断面図 SH=1:100  
SV=1:50



呼び名	300×300
側溝延長 (m)	13.60
製品個数 (個)	7
インバートコンクリート量 (m <sup>3</sup> )	0.186
敷モルタル量 (m <sup>3</sup> )	0.204
基礎砕石量 (m <sup>2</sup> )	8.160

※インバートコンクリート量は、底版より上部とする。

A型(底版部開口有) S=1:20



寸法表

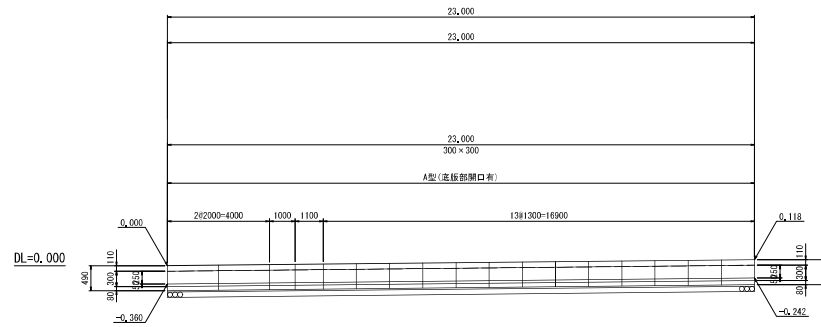
呼び名	H	h	h1	d	e	b1	b2	底版開口部 間隔コンクリート量 (m <sup>3</sup> /2m)	参考質量 (kg)
300×300	380	300	80	294	100	500	600	0.01104	369

数量表

呼び名	個数	延長 (m)	製品長 (m)	備考
自由勾配側溝	6	12.00	2.00	A型(底版部開口有)
	1	1.60	1.60	A型(底版部開口有)
フラット蓋	6	12.00	L=2.00m	標準部用
グレーティングタイプ	1	1.60	L=1.60m	標準部用
インバートコンクリート量 (m <sup>3</sup> )		0.186	底版より上部	
間隔コンクリート量 (m <sup>3</sup> )		0.075	底版開口部	
敷モルタル量 (m <sup>3</sup> )		0.204	t=30mm	
基礎砕石量 (m <sup>2</sup> )		8.160	t=100mm	
床版 (m <sup>3</sup> )				
埋戻 (m <sup>3</sup> )				
土工				
基準整正 (m <sup>2</sup> )				

# 自由勾配側溝

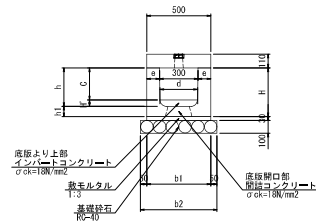
縦断面図 SH=1:100  
SV=1:50



呼び名	300×300
側溝延長(m)	23,000
製品個数(個)	17
インバートコンクリート量(m <sup>3</sup> )	0,315
敷モルタル量(m <sup>3</sup> )	0,345
基礎砕石量(m <sup>2</sup> )	13,800

※インバートコンクリート量は、底版より上層とする。

A型(底版部開口有) S=1:20



寸法表

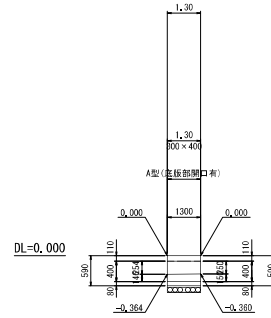
呼び名	H	h	h1	d	e	b1	b2	底版開口部 間隔コンクリート量(m <sup>3</sup> /2m)	参考質量(kg)
300×300	380	300	80	294	100	500	600	0.91104	369

数量表

呼び名	個数	延長(m)	製品長(m)	備考
自由	13	16,900	1,300	A型(底版部開口有)
自由	2	4,000	2,000	A型(底版部開口有)
自由	1	1,100	1,100	A型(底版部開口有)
自由	1	1,000	1,000	A型(底版部開口有)
配				
側				
溝				
フラット蓋	13	16,900	L=1,300m	標準部用
グレーティングタイプ	2	4,000	L=2,000m	標準部用
	1	1,100	L=1,100m	標準部用
	1	1,000	L=1,000m	標準部用
インバートコンクリート量(m <sup>3</sup> )		0,315	底版より上部	
間隔コンクリート量(m <sup>3</sup> )		0,127	底版開口部	
敷モルタル量(m <sup>3</sup> )		0,345	t=30mm	
基礎砕石量(m <sup>2</sup> )		13,800	t=100mm	
床 掘 (m <sup>3</sup> )				
埋 戻 (m <sup>3</sup> )				
土工				
基準整正(m <sup>2</sup> )				

# 自由勾配側溝

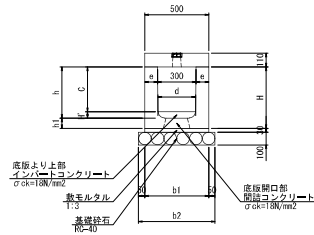
縦断面図 SH=1:100  
SV=1:50



呼び名	300×400
側溝延長 (m)	1.30
製品個数 (個)	1
インバートコンクリート量 (m <sup>3</sup> )	0.055
敷モルタル量 (m <sup>3</sup> )	0.020
基礎砕石量 (m <sup>2</sup> )	0.780

※インバートコンクリート量は、底版より上部とする。

A型(底版部開口有) S=1:20



寸法表

呼び名	H	h	h1	d	e	b1	b2	底版開口部 間隔コンクリート量 (m <sup>3</sup> /2m)	参考質量 (kg)
300×400	480	400	80	294	100	500	600	0.01104	424

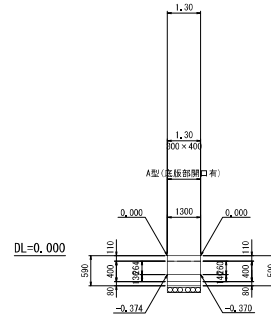
数量表

呼び名	個数	延長 (m)	製品長 (m)	備考
自由勾配側溝	1	1.30	1.30	A型(底版部開口有)
フラット蓋 グレーディングタイプ	1	1.30	l=1.30m	標準部用
インバートコンクリート量 (m <sup>3</sup> )		0.055	底版より上部	
間隔コンクリート量 (m <sup>3</sup> )		0.007	底版開口部	
敷モルタル量 (m <sup>3</sup> )		0.020	t=30mm	
基礎砕石量 (m <sup>2</sup> )		0.780	t=100mm	
床 塵 (m <sup>3</sup> )				
土 埋 戻 土 (m <sup>3</sup> )				
基礎整正 (m <sup>2</sup> )				



# 自由勾配側溝

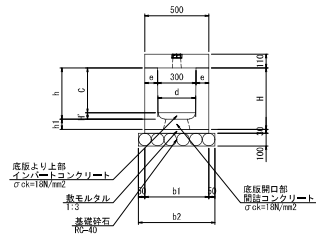
縦断面図 SH=1:100  
SV=1:50



呼び名	300×400
側溝延長 (m)	1.30
製品個数 (個)	1
インバートコンクリート量 (m <sup>3</sup> )	0.052
敷モルタル量 (m <sup>3</sup> )	0.020
基礎砕石量 (m <sup>2</sup> )	0.780

※インバートコンクリート量は、底版より上部とする。

A型(底版部開口有) S=1:20



寸法表

呼び名	H	h	h1	d	e	b1	b2	底版開口部 間詰コンクリート量 (m <sup>3</sup> /2m)	参考質量 (kg)
300×400	480	400	80	294	100	500	600	0.01104	424

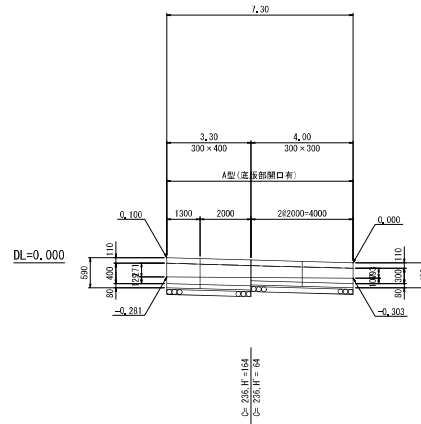
数量表

呼び名	個数	延長 (m)	製品長 (m)	備考
自由勾配側溝	1	1.30	1.30	A型(底版部開口有)
フラット蓋 グレーディングタイプ	1	1.30	l=1.30m	標準部用
インバートコンクリート量 (m <sup>3</sup> )		0.052	底版より上部	
間詰コンクリート量 (m <sup>3</sup> )		0.007	底版開口部	
敷モルタル量 (m <sup>3</sup> )		0.020	t=30mm	
基礎砕石量 (m <sup>2</sup> )		0.780	t=100mm	
床 掘 (m <sup>3</sup> )				
土 埋 戻 (m <sup>3</sup> )				
基礎整正 (m <sup>2</sup> )				



# 自由勾配側溝

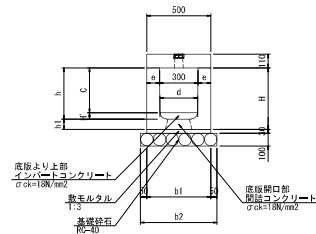
縦断面図 SH=1:100  
SV=1:50



呼び名	300×400	300×300
側溝延長 (m)	3.30	4.00
製品総数 (個)	2	2
インバートコンクリート量 (m <sup>3</sup> )	0.139	0.097
敷モルタル量 (m <sup>2</sup> )	0.050	0.040
基礎砕石量 (m <sup>2</sup> )	1.880	2.400

※インバートコンクリート量は、底版より上部とする。

A型(底版部開口有) S=1:20



寸法表

呼び名	H	h	h1	d	e	b1	b2	底版開口部 閉鎖コンクリート量 (m <sup>3</sup> /2m)	参考質量 (kg)
300×300	380	300	80	294	100	500	600	0.01104	369
300×400	480	400	80	294	100	500	600	0.01104	424

数量表

呼び名	根数	延長 (m)	製品長 (m)	備考
自由	2	4.00	2.00	A型(底版部開口有)
自由	1	2.00	2.00	A型(底版部開口有)
自由	1	1.30	1.30	A型(底版部開口有)
勾配				
側溝				
フラット蓋	3	6.00	L=2.00m	標準部用
グレーティングタイプ	1	1.30	L=1.30m	標準部用
インバートコンクリート量 (m <sup>3</sup> )		0.236	底版より上部	
閉鎖コンクリート量 (m <sup>3</sup> )		0.040	底版開口部	
敷モルタル量 (m <sup>2</sup> )		0.110	t=30mm	
基礎砕石量 (m <sup>2</sup> )		4.300	t=100mm	
床 掘 (m <sup>3</sup> )				
土 埋 (m <sup>3</sup> )				
基礎整正 (m <sup>2</sup> )				

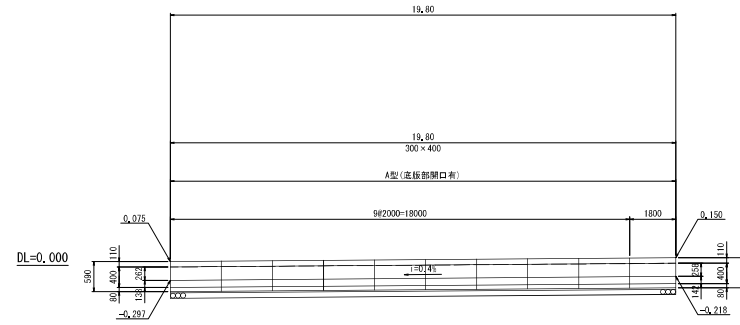






# 自由勾配側溝

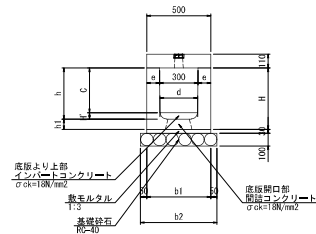
縦断面図 SH=1:100  
SV=1:50



呼び名	300×400
側溝延長 (m)	19,80
製品個数 (個)	10
インバートコンクリート量 (m <sup>3</sup> )	0,797
敷モルタル量 (m <sup>3</sup> )	0,297
基礎砕石量 (m <sup>2</sup> )	11,880

※インバートコンクリート量は、底版より上部とする。

A型(底版部開口有) S=1:20



寸法表

呼び名	H	h	h1	d	e	b1	b2	底版開口部 間詰コンクリート量 (m <sup>3</sup> /2m)	参考質量 (kg)
300×400	480	400	80	294	100	500	600	0,91104	424

数量表

呼び名	個数	延長 (m)	製品長 (m)	備考
自由勾配側溝	9	18,00	2,00	A型(底版部開口有)
	1	1,80	1,80	A型(底版部開口有)
フラット蓋	9	18,00	L=2,00m	
グレーチングタイプ	1	1,80	L=1,80m	
インバートコンクリート量 (m <sup>3</sup> )		0,797	底版より上部	
間詰コンクリート量 (m <sup>3</sup> )		0,109	底版開口部	
敷モルタル量 (m <sup>3</sup> )		0,297	t=30mm	
基礎砕石量 (m <sup>2</sup> )		11,880	t=100mm	
床 掘 (m <sup>3</sup> )				
埋 戻 (m <sup>3</sup> )				
土工				
基準整正 (m <sup>2</sup> )				

